大正六年九月十四日　第三種郵便物認可・昭和八年七月二十五日　印刷納本・昭和八年八月一日發行　（毎月一回一日發行）

建築と社會

都市計畫 1

第十六輯
第八號

日本建築協會

昭和八年
八月一日



日米特許一二個・實用新案登錄四六個併用

大野式防火捲上ケ戸

〔特許大野式シヤッター〕

主要製品

大野式シヤッター
大野式ルーブルシヤッター
大野式工場用軸承
大野式轉子入軸筐
大野式轉子入戸車
大野式廻轉軸抵抗測定機
各種防火扉

日英米佛特許三一個・實用新案五九個併用

特許不二サッシ

受托營業

合資會社 大野製作所

東京市芝區三田四國町二番地・電話三田(45)三七三七 三七二八

販賣出張員駐所・大阪市北區花園上福島中二・電話福島(45)五八八

會　告

建築法規に關する質疑應答欄設置に付豫告

來る十月發行本誌第十六輯第十號より『建築法規』に關する質疑應答欄を設け讀者各位よりの質疑に應答するここに致しましたから自今御遠慮なく上記に關し御質問(書面にて)あらん事を希望致します

昭和8年8月

社團法人 日本建築協會

暑中御伺

昭和八年盛夏

社團法人 日本建築協會

大阪市の「シビック・センター」計畫理想案懸賞募集

趣　旨

大阪市は我國商工業の中心として最近その發展特に著しきものあり諸般の施設亦漸く大都市の面目を備へつゝありと雖も都市構築の上より見れば遺憾の點尠なからず殊に都市の中心をなすべき適當なる「シビック・センター」なく且天惠の河岸の利用せらるゝこと亦甚だ少きは世人周知の事實なり。輓近當局に於ても大阪驛改築に伴ひ大阪驛附近一部の整理を實施せられつゝあるも近代的大都市各般の要求に應ぜんが爲には更に進んでより廣汎に亘る大計畫を樹立する必要あり。

本協會は此趣旨に基き左の區域を指定し大阪市の「シビック・センター」の理想的計畫案を募集し以て市民の注意を喚起せんとす。

大阪市ノ「シビック・センター」計畫理想案懸賞募集規程

1，指定地概要

御堂筋、南北線ノ二大街路ニ挾マレタル地區ニシテ大阪驛以南土佐堀川南岸ヲ含ム樞要ノ地帶（附圖參照）

2，應募設計要件

驛前廣場ハ諸般ノ交通ヲ圓滑ナラシムベク留意シ驛前ニハ適切ナル建築物ヲ配置シソノ他ニハ將來實現セラルベキ想定都廳舍ヲ中心トセル公共諸建築物並ニ遊歩場、廣場等ノ自由空地及道路ヲ配スベシ。

3，所要圖書

（イ）主要建築物、道路、廣場等ノ配置圖　縮尺 1000分ノ1
（ロ）鳥瞰圖
（ハ）說明書

4，入選者ノ等級並ニ賞與

1等	（金牌）	副賞 300圓	1名
2等	（銀牌）	副賞 100圓	1名
3等	（青銅牌）	副賞 50圓	1名
佳作	（褒狀）		若干名

5，締切期日

昭和8年9月30日正午

6，當選者發表

審査ノ結果ハ雜誌「建築と社會」昭和8年11月號ニ發表ス

7，審査員

日本建築協會副會長　池田　寶氏
日本建築協會會長工學博士　片岡　安氏
阪神急行電鐵株式會社社長　小林　一三氏
工學博士　武田　五一氏
京都帝國大學教授　武居高四郎氏
工學博士　直木倫太郎氏
阪神電氣鐵道株式會社社長　堀　啓次郎氏
大阪鐵道局長　前田　穰氏
日本建築協會監事　松室　重光氏
（五十音順）

8，應募者心得

（イ）配置圖、鳥瞰圖共用紙仕上等凡テ應募者ノ自由トス
說明書ハ半紙大罫紙ヲ用ヒ計畫ノ概要ヲ簡單ニ說明スベシ。

（ロ）各圖面ニハ暗號（文字ニ限ル）ヲ附シ別ニ暗號並ニ住所氏名職業（勤務先共）ヲ記セル紙片ヲ密封シ、封書ノ表面ニ前記暗號ヲ記シタルモノヲ添附スベシ。

（ハ）審査ノ結果ニ對シ說明ヲ求メ、又ハ異議ヲ申立ツルコトヲ得ズ。

（ニ）當選圖案ニ關スル一切ノ權利ハ本協會ニ歸屬スルモノトス。

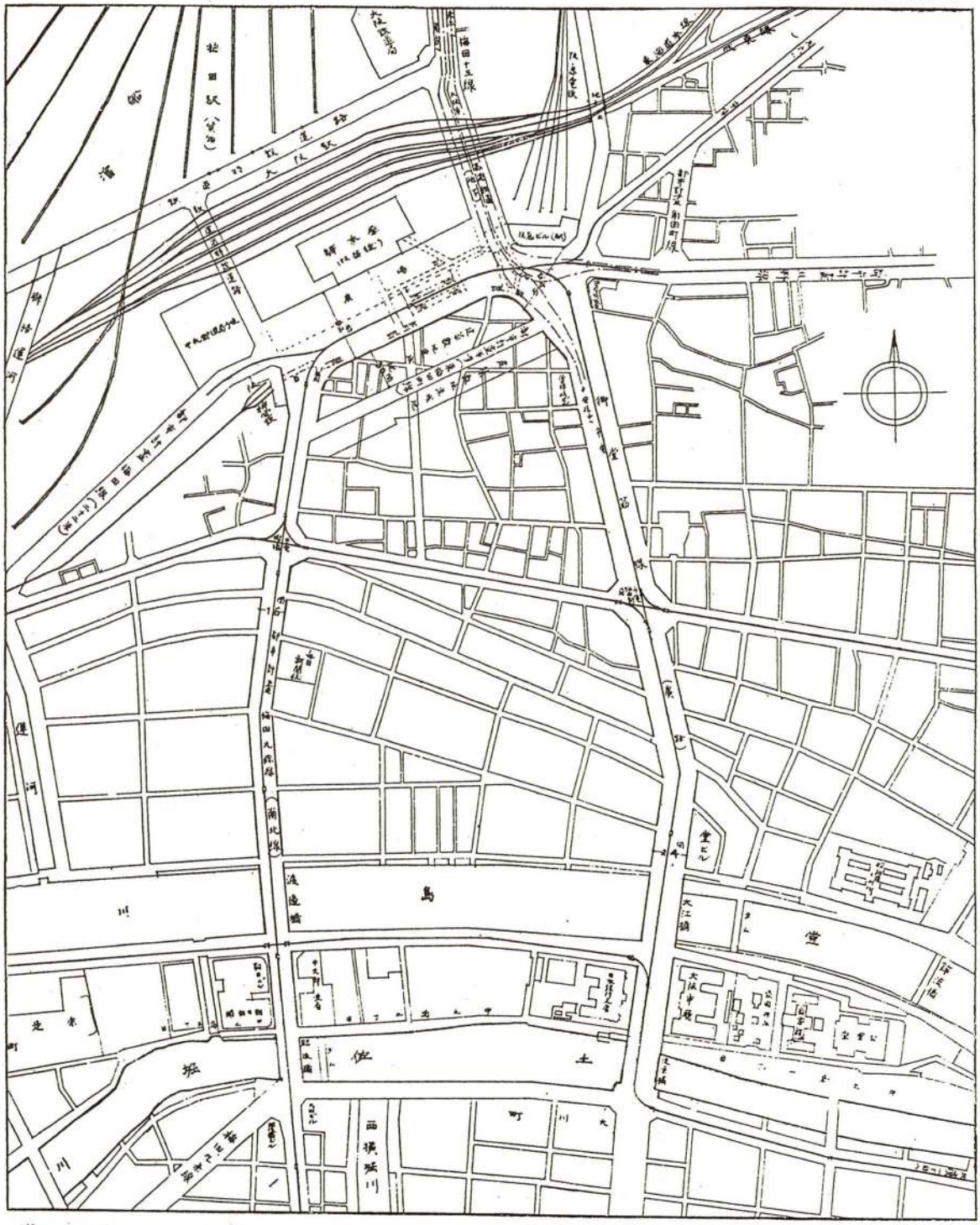
（ホ）應募圖案發送先

大阪市北區中之島三ノ三朝日ビル四〇五
日本建築協會內「シビック・センター」
計畫案懸賞係宛

昭　和　8　年　8　月

社團法人 **日本建築協會**

大阪市「シビックセンター」想定地域圖



建築と社會

第16輯第8號　昭和8年8月發行

都市計畫 I

目　次

國家の更生を目標とする集團生活機構としての都市村落の分布統制 …… 松室重光（1）

都市の防火 …… 片岡安（11）

都市の防空施設 …… 中村濱作（13）

實際問題としての地方計畫と地域制 …… 加藤善吉（25）

都市と不良住宅問題 …… 新名種夫（36）

大阪都制の問題 …… 小川市太郎（47）

海港都市神戸の片貌 …… 宮本長治（52）

横濱市に於ける港灣都市としての特殊計畫に就て …… 丸山照六（57）

奈良市に於ける遊覽都市としての特殊計畫に就て …… 藥師神榮七（61）

クキーンス大通り懸賞設計競技圖案 …… （70）

都市に關する資料三四 …… （75）

國際新建築 …… （79）

本誌「都市計畫號」第二輯發行に就て …… （89）

會　報 …… （90）

國家の更正を目標とする集團生活機構としての都市と村落の分布統制

松室重光

（1）

人間生活の科學的研究を志す人達に提示して其眞摯なる經世的考察を希望する所のものなり。敢て予の一家言を立てんとするが爲に撰べるにあらず。

此題材は頗る大にして其叙述の範圍も又甚だ廣汎なれば、斯る雜誌の取材として簡單に取扱はるべき性質のものにあらず。たゞ看過し難き重要性ありと認め茲に先づ叙文を草して出題者は其責を塞がんとする也。

予は本題の論述に當り、歐米の文獻に取材し、例示し、又は說明するが如き尋常從屬的學究の態度を執ることを避けんとす。是決して自ら矜恃する所の高きが故にあらず、凡そ獨立國家日本の更正には亦自ら獨別なる方法ありと信じ、よりて獨立文化の建設に努力せられむことを特に建築家諸子に冀求するが故なり。

（2）

現時世界の各國は悉く皆經濟難に墮して正に瀕死の狀態に置かる。而して此苦境より脫却して更正せんが爲に軍備の縮少や通貨の安定などと會議に重ぬるに會議を以てし、努力に繼ぐに努力を用ひ、必死に奮鬪しつつありながら一事成功したるものなき理由や如何。

茲に予は無理想なる文化生活工作を濫設して人類を疲弊せしめつくしたる結果を見るものなり。國家の經營に一貫したる理想主張を持たずして都市偏重の經營が然らしめたる結果に外ならざる事を思ふ。而して我日本の如きも不幸にして同一經路を踏み其先蹤を逐ひて同じ危險に面しつゝあるを遺憾とす。

國家の更正は我日本に於て特に重要なるものあり。蓋し日本の嚴乎たる存在と其興隆とは全亞細亞民族の存在興隆を意味するによる。而して此更正は我建國の大精神に還元して其根本理想的なる建設をなし直す事によりて始めて完成し得らるゝものとす。

（3）

今都市村落の數字的性質と其價値如何を考へんとす。先づ我國土の全面積を幾平方「キロメートル」なりと擧げ、之を本土と四國と九州と北海道と樺太と朝鮮と台灣と南洋等々に區分し、夫々其面積を擧げて其各面積對各包擁人口の比率を求めん。

所謂我邦人口の密度は世界の國々と比較して最も大にして其國土は又甚だ狹きことを語るべし。

此人口が過多なりと云へる事實はよりて我民族の海外進出發展を絕對に必要なりとする見地を確めしめ、其進出を策する上に於て根本的に最も了解せしめ易き論據の一端を示すべし。

更に其山林と農耕地と池沼と河川と居住地と工場地と道路等々との掩有する地積を區分し其各種の生產量を知り、猶居住地に對する總人口の比率を求むる時は、實際我國民生活の根本數字は其地積と物量とによりて幾何なるかを知られ得べし。

一步を進めて各都市の面積と其人口との對比を考ふる時は一層明瞭に其密度を知り得べく、二步を進めて都市町村の數と之を包有する府縣（比較的根據なき行政區劃）とを對照する時は是等地方の部分的生活機構の如何なる狀態にあるやを推知し得べし。

（4）

而して又た其步を進めて人口500萬以上の都、200萬以上の都市、100萬以上の都市、80萬以上、50萬以上、30萬以上、より以下幾萬等々の市に區分して其數量を尋究する時は、更に明瞭に我國民生活の基準を知ることを得む。

斯數字の表示する所によりて所謂國勢の動向は察知し得らるべく、よりて都市は次第に膨脹しつゝありて、其或地方は倍々富みて榮へゆき、或地方は其狀態に格別の變化なく、而して或地方特に村落の多くは其貧しさを加へて漸く衰へゆきつゝある姿態を見極めることを得べし。

人間生活の聚團體系を、斯くして統計的に或は科學的に律しゆくも其更正の基礎として考察に値する一資料たり得るや勿論なり。

（5）

次に人口の過剩、正常、稀薄が是等數字の上に如何に表現せらるゝかを見んとす。

現狀日本人口の全般的に過剩なる事は我國自體の生產する所の資材によりて充分に供給自足し能はざる一事によりても既に極めて明白にして、殊更に他に徵證を求むる迄もなきこととす。

而して此反對に日本國土の狹隘なるは其生產する所の資財によりて滿足に其人口を養ふこと能はざるによりても知らるる也。

併しながら此日本の國土と人口とが正常に安定の狀態にあるものなりや否やは唯其現狀のみを以てしては確定し難きものあり。此國土の生產する所の資材の量は決して不變にあらず、現在の農耕地が今後に於て更に米穀に二倍の收獲を擧げ、其河海が漁鹽に於て五倍の收量となるの時來らば、叙上の關係は又從ひて變化し、依て國家の正常安定狀態は必ずしも其國土の面積と正比例するもののみにあらざる事を知り得べく、其決して不易なるものにあらざるや勿論なり。

斯くして其增產せらるゝものの生產費が從來のものに比して高價ならざる場合に於てのみ增加しゆく人口は幾分の緩和を見る事を得べしと雖も、人口の增殖率急速甚大にして生產之に伴はざる場合は結局他に進出し行くことの必要さに於て變りなきことを知る也。

されば人口の飽和狀態と稱する事に幾何程度迄科學的正確さを認め得べきやと問へば明答し難き事叙上の如し。

（6）

日本の山林は實に國土の大半を占む。然れども其林產物は國民生活に滿足を與ふるの量なし。但如斯の狀態は現在に於ける其經營の宜しからざる結果にして、我國土の氣候風土が山林の經營に頗る有利なる狀態にある事を知る時は其經營にして宜しきを得ば、遂に克く山林の富を以て國用を足し得るの時到らん矣。

我人口は樺太や北海道にありては遙かに本洲の下位に置かる。然れども此等の地方は猶多くの人口を收容し得る事情にありとは言ふべからす。蓋し其山林の資源が次第に枯渴しゆきつゝあるを知り、其國用甚だしく不足なる事を見る時は此等の地域の農耕擴張は愼重考慮を要して決して包擁の力大なるものにあらざる事を覺悟せざる可らず。

即ち此方面の生活狀態も又決して理想的のものにあらずして既に飽和の線を超え居れるものと見る事を得可し。

都市村落の科學的解說に人口が必ずしも其生活內容の具足狀態を語らざる事斯くの如し、自ら生產せざる都市が其消費人口を如何に多大に包擁すると雖も其都市が飽和の狀態にありや否やは實際判定の基礎なきものとす。

（7）

我國に於ては都市は其地域の大なると、其人口の多きとによりて大都市と認められ、之に種々なる生活機構としての便宜が架設せられ、從ひて世間之を觀て大と信ずるものあり

凡そ世間に於て此類の大の冠稱程人を謬る宣傳尠なく、都市いたづらに大にして國家の構成體系は益々偏倚す、是甚だしき危險なり。

都市は單に人口の多きのみによりて大ならず、其資質充足して人間生活を理想に近からしめ得るものを以て大とす。所謂大都市としての東京や大阪が政治に產業に夫々の中心地たるは其大をなす理由の一なれども、其處に行はるゝ一般生活の半面に悲慘暗憺たるもの多き事を見る時は、是等の都市は寧ろ其大を誇るの資格を失ふ。

都市民が募債によりて其文化生活事業を營み、其利子の支拂負擔に耐ふる範圍に於て漸くに其生活形式を維持しゆきつゝある狀態は頗る危險なり。

都市は人間の聚團生活機構として、現代國家の重要なる表現なれども、此都市が國家の生活機構として必要にして且つ滿足なる健全狀態の存在なるや否やは頗る疑しきものあり

（8）

今の都市は國家の大病竈なり。辛ふじて絕えず無理に所謂表相の文化施設を續け、市民

を搾取して之を疲弊せしめつゝある結果を想ふ時は國家の滿足なる發展興隆は斷じて望まれ難し。

都市の文化建設の完成と共に都市を包擁する國家も又疲弊して遂に斃れずんば止まず。國家の更正を念ふの時、都市の現狀を根本より改造するの策を立つることは正しく緊要の事とす。即ち現狀都市の擴大計畫と其修飾實施は國家の普遍圓滿なる發達充足を害するものにして國運を危ふくするもの也。

都市をして衰亡の因たらしめつゝある者は歷代の官僚政治家と其從屬的位置に立つ不見識なる技術者達なり。

是等の人々が我建國の根本大精神を知らず、從つて眞の建設的理想を求めんともせず、何等反省自覺する事なくして唯表面に新奇と變化とを逐ひて無意義に歐米を模倣して進み來れる結果を見よ。

之を遡及して見る時は明治維新の大變革に際して之が建設指導の任務を無學なる破壞者の手に委ねられたるによる。此無學なる破壞者等は勤王討幕を唯一の目標として進みたる外、少しも建國根本の理想省察をなさず、よりて眞の精神建設に進むこと能はず、唯舊政權の打壞をのみ目標として奔馳し、我國家一切の善行美事良風優俗を併せて破壞しつくして我國家の構成に特有なる精神形體の存する事を知らざりし。

依て極端なる中央集權を爲し、一切の文化施設を都市中心として行ひ、徒らに其生活機構を外面的に修飾擴張して之に莫大なる國費を投じ、自らは其表相文化の浮華に醉ひつゝ地方の國民生活の機構を敗頽せしめて顧みざりし結果が實に今日の危險狀態を發生せしめたるものとす。

（9）

都市を定義して何と言ふ事を得るや、又村落を之と對比的に定義して何と語り得るや。試みに此都市と村落とが文化史中如何に解釋せられて近代生活機構が說明せらるべきやを見んとす。

都市も村落も一樣に人類の聚團して其生活を營む所なり、而して都市と村落との聚團生活機構としての相違差別又區分如何と見るに、（イ）は其人口の多寡にして都市は村落に比すれば遙かに多數の人を抱擁する事は最も明白なる所なり。（ロ）は其規模にして都市は其地域大に村落は其地域少なり。但此義は人間の聚團生活する本據的住居を基礎として言ひ農耕地の如きは從ひて此中に含まれず。（ハ）は其生活機構の形式にして其單純性は村落に有之、其複雜性は都市に之を存す。即ち前者が主として農、耕、山林、漁鹽等の比較的限定せられたる單純生產基礎一部の事業を經營せるに反し、後者は之を集めて更に加工し、製造し、整理し、分類して之を他に給附し、依て工業あり商業ありしが、最近都市域の無謀なる大擴張ありて更に農林の業も又都市生活機構中の一形式をなすに到れり。（ニ）は其地理的區分なり。都市は比較的平坦部にありて、自然人爲的交通の要衝便宜の中心地に存

在するに反し、村落は其周邊に散在し、或は海濱山林中に介在して交通の便を缺く處尠なからず。(ホ)は其人爲的政治的に附與せらるゝ所の法律的權利の大小なり。都市が多數の人を包擁し、從ひて其富を集積する事も又多くして比較的重要なる生活機構をなすが故に、行政上之に附與せられたる權益は相當廣汎にして大なれども、村落にありては然らず。

叙上の區別は從來の都市と村落とに於て見る所なりしが、曩にも言へる如く、隣接町村を併合して新たに形成せられたる大都市にありては人間生業の殆んど一切が行はるゝ處ありて、其都市中既に村落ありて又都市と村落との截然たる區分を見る事能はず、其政治的方面より觀る時は其内容に於て更に府縣と異ならざるものあり、東京や京都の如き此一例にして近時他の都市も又競ひて村落の併合を策し其所謂大を計りつゝあるを以て都市と村落とは遂に其區別を失ふに至らんとしつゝあり。

(10)

更に都市成生の歴史を考察する時は一煙一戸の住居より次第に增加進展したる聚落即ち邑落を第一とし、此部落が漸次擴大せられたる町村を第二とし、更に其大を加へて形式の齊へられたる市を第三とし、最後に人爲的に特別なる目的の下に國家生活機構として形成建設せられたる都城を以て第四とす。

よりて村落にありては實際上の生活に則したる便宜の工作以外其形貌の整へられざるものなる事言を俟たず、しかも此村落中に於ては特に時の政治競爭又は生活競爭に失敗して其强者の壓迫を蒙れて深く山林幽谷中に逃避し形成せられたるものあり。飛彈や越中や或は肥後阿波等の山中に於ける平家の遺族等の聚落之なり。

斯る邑落にありては久しく世間との交渉を絶ちてたゞ其歴史傳統を維持し來れるが故に文化史中の遺漏を拾ふの利あれども殆んど國家構成上の要素の値なし。

其他の町村の如きも單純なる自然生活の便によりて形成せられたるものには元來其建設的理想ある事なし、たゞ其古きものは自然の迫害(風、水等による)を避くるが爲に稍高きに位置したれど、後世之を避くる方法を知るに及びては又風水の害を恐れず依て平坦部の邑落中には殆んど周期的に風水の害を蒙りて之に困みつゝも猶平然たるものあり。我國の農村(漁村をも含む)には此類可なり多くよりて國家が其損害を蒙りつゝある量は莫大なり。村落の分布が如何に國家經濟に重大なる關係を有するかは此一事によるも明瞭にして國家の更正の爲には眞面目に其分布を考究するの要あるものとす。

(11)

市邑中には又時の强權者が營みたる防禦營造物を中心として成れるものあり。此營造物を眞軸に其生活によりて利せんとして環狀集合をなして其形體を膨脹發展せしめるものあり、所謂城下町と云ふもの之なり。

我國の市邑中には此類に屬するもの多く、其封建の時代に於ては其中眞强權者は自ら生產せず、從ひて其生活物資の供給を從屬民に受け、此從屬民は其供給の便宜の爲に城下に集

り來りて茲處に市業起りて其支配統制に服するに至りて次第に都市の形體を執り、其性質を單純より複雜に變化し、其規模を小より大に廣けて益々其範圍を擴張し來れるものあり

特に權力者の營みたる單純防禦的城市中には古くは鎌倉の如きものあり、全く武門政權の基礎として一種の聚落を成したる以外何等生產的に開發せらるゝ事なく、又開發するの素地なかりし事は現に此地に四五の神社と寺院の存在して世に著聞し、史蹟遊覽の勝地として存在する以外、其產業的價値なきものなり。

小田原が函嶺扼守の目的以外產業市邑としての資格なかりし事も其現狀によりて知る可く、防長中の萩山口の市邑も毛利氏の本據と云ふ以外何の重要性存せざりし事も同樣なり

（12）

政治的國都の建設が古く我國に行はれたる事は歷史の證明する所にして、三韓攻略以後外藩との交涉上特に國都の重要性の認めらるゝものありて、難波京、滋賀京、平城京、恭仁京、等より平安遷都に至るの間實に數百年を經たり。此間形勝の土地を物色して朝野の其建設に苦心したる蹟猶歷々徵すべきものあり、遂に平安遷都によりて其建設的理想は漸くにして實現せらるゝに至れり、所謂山河襟帶にして四神相應の地と云ふものは實に此理想の一端なりし。

是よりさき我分國には奈良の朝既に夫々に國府の建設ありしも、平安遷都の後は地方政務の次第に閑却せられ、從ひて其國府の完全建設を見る事なくして頽亡に歸したるもの多かりしが、此國府の建設の趾を探究する時は當時の分國統治上の府政の存在としての位置の選定が今日に行はるゝ府縣治の存在よりも遙かに當を得たりと思はるゝものあり。たゞ此分國政治の顧みられざりしが爲に地方の開發が中央と隔たる事多きに從ひて遲れたるは甚だ遺憾なりとす。

（13）

我國都市の分布は皇權振張の時代のもの殆んど其趾なく、多くは封建城市の後にして、先づ悉くが德川幕府設定後のものに屬す。

德川治代に於ける各藩治の主體は大體其地方の征壓を目的として民衆に臨むものとし、萬一の反亂に備ふる事のみ考へられたる外、其地の產業的價値は其生活機構の要求によりて次第に加へ來られし而已。

江戶は幕府より見たる主都として其主權者と從屬者（大小名旗下等々）の幾十萬人の生活體として之に商工市民の纏付を見たりと雖も其消費の大量は其處に生產せられずして他の地方よりの供給を見たり。

それより東北地帶の市邑の如き水戶と云はず會津と云はず或は仙台、福島、米澤、南部等々、其守禦的方略の爲を主旨として特殊地形が擇ばれて、藩治の根本をなしたれども、其處には物資の生產せらるるもの甚だ尠なくして今猶產業國家の一部としては不振の狀態に置かる。

（14）

德川氏も又中央集權の策を持して、其從屬大小名の各藩治を振興し其產業を開發して其富み來りて主體を壓迫し來らん事を虞れ、よりて其地方の產業の興隆を希はず、富める者あれば之に賦科課役して之を弱むる事を忘れず、名古屋城は斯くして其堂々たる雄姿を維持し日光廟は斯くして其輪奐の美に輝きたり。

親藩水戸に賢明の主ありながら何の產業起らずして僅に修史學のみが大成せられたる所以は何ぞや。會津山中には其武士道と僅少の漆器の生產の外又產業らしきものなく仙臺然り、南部然り、米澤藩が農業の事に特に超へたる理由は其轉封の結果が多數の從屬士卒に滿足なる給與をなし能はざるによりて不得止して其產業を興隆せしめたるが爲なり。信濃山中に養蠶業の盛行せしも又貧弱なる各藩が其生存の爲の必要上の努力に外ならざる也。始めより此地が生產的に充分なる資質ありしによるにあらず。

抑も武藏より東北は桓武天皇が征討の軍を進めて大に其開發を期し玉ひし處なれど、其後の實際の政權把握者たりし藤原氏は殆んど其國土の產業的價値を認むるの明なく、申譯的に其地方の政權を人に分ちたれども猶將門や興世王等の反亂と云ふ事あり、安部氏や清原氏や又秀衡三代の地方開發による中央壓迫の氣勢揚るや忽ち討平の軍は進められて其根據は覆へされたり。

東北地方に市邑の分布發達尠なく、從ひて其產業の開發が大に遲れたるは平安朝、鎌倉幕府より德川幕府が態々東北に偉大なる力の興隆して自家政權の奪取せられん事を恐れ、百方其開發を阻碍し來れる結果也。

（15）

江戸より西、靜岡濱松岡崎等の市邑が發展し來れる事も全く明治以後に屬す、此一帶の城地は江戸掩護の前砦なりしが明治の變革に際しては遂に何の用をもなさゞりし。名古屋が中部日本の最も豐沃の地にありながら其產業開發の遲れたるも又本屬幕府への遠慮に外ならざりし。

實に德川氏治下の市邑の分布は一は德川幕府の防禦を目的とし、二は親藩と外樣とに論なく其各藩の互の競爭扞挌する事によりて其各の力を弱めて夫々に孤立し、直接に幕府に壓迫の加へられざる事を計りたるが爲に、各藩皆其命脈維持の爲進みて藩治を擧げて其富を增益せん事を試みざりし結果、學問文藝は幕府に最も交涉尠なき京幾地方を中心として關西に興隆したり。而して此精神文化の開發は結局勤王討幕の原動力となりて遂に幕府の滅亡を見るに至れり。

德川氏の江戸中心政治を模倣したる明治政府も、其官僚政治の本據を鞏固ならしむる事を念として銳意東京の修飾を計り、震災以後更に大東京の建設に國力を窮盡し、既に振はざる地方都市と町村邑をして益々不況の底に沈湎せしむるに至れり。

（16）

日本の都市は其生因に於て人間生活の産業的方面の開發に無關係なりし結果、其數百年の歷史を有しながら今も猶少しも振はざるものあり。斯くして都市の分布は必ずしも其國土（地方）の富と資源と民衆の數に比例せず。人口の多寡、文化の厚薄皆適當なる自然的必然的條件によるにあらず、唯時の勢が全く人爲的に不得止ものたらしめたるもの多し。然るに今日の都市計畫は此事實を是正して眞の都市又は村落の根本的建設改善を計らんともせず、唯現狀の改善をなすを以て能事とす。よりて得る所は一部分の外姿の改善とはなるべしと雖も其全貌の改善たり得ざるや勿論なり。

都市を墓場と見るは村落の中眞に於て荒廢しゆく現狀を見る事によりて、其必然的に恐るべき變化の來らんとする事を期するが故也。村落が都市の營養基礎たるに關せず之を疲弊せしめて遂に都市をして孤立せしめんとす、其結果が都市の糧食を絶ちて遂に衰亡に歸せしめんとするや勿論なり。都市の擴張によりて其區域內の農耕地が其生產狀態に頗る不安なるものある事を思ふ時は國家の生產力を削減せしめんとする都市の興隆は恐れざる可らず、此生產が安全に且つ充分に他に於て保有せられざる限り、我國土を單に都市と云ふ虛名の下に變改破壞しゆくことは最も危險なりと思はざる可らず。

（17）

屢々言へるが如く我國民は名目に囚へられて其生活行動を拘束せられよりて受くる所の不便不利の大なる事を覺らざるもの多し。

唯一般的に都市と稱號しつゝも都市の如何なるものなるや其實體を明白に科學的に又文獻史的に說明したるものなく、現時の都市の名稱は一に行政的事務區分に過ぎざるが如し

本來都は現時の我國にありては唯だ東京のみ之に當り京都の如きは舊都と稱するを適當とし、其他は皆大小の市なり、今之を悉く都市と概稱して其內容外觀の極樂淨土なるが如く觀ぜしむるは爲政者の人を欺く手段に過ぎず其罪寧ろ大なり。

所謂都市の大にして其實內容の殆んど府縣と異ならざるものに東京あり、大阪あり、京都等あり、而して東京府や大阪府の如き最早其府治としての實體の頗る縮められて其資格を失へるものありて市府の行政組織は重複し混亂せんとしつゝあり。よりて國費が或部分に倍加しつゝある事は恐れざる可らず。

都市の分布を見るに概して南海岸に多く北海岸に尠なし、關西にありては近畿地方特に多く、四國には其數少なく而して新興のものなし、九州にありては古來三韓等との交通上其西海岸は早く開け之に反して其東海岸は我國發祥の根據たりながら比較的振はず、明治以後豊筑の一角は特に興隆して其新興市に門司あり、戸畑あり、八幡ありて夫々に輸出入の門戸市をなし又產業の市をなす。之に反し古來唯一の通商港たりし長崎は其交通不便として既に看却せられ僅に造船事業と學校とによりて命脈を維持しつゝあるに過ぎず。

筑豊の野に新興市邑の多きは其採炭業や製鐵事業等によりて必然的現象なりと雖も肥薩の地方が比較的開發に遲れつゝあるは蓋し舊藩治時代其城市の分布宜しからざりしが爲な

らすや。

四國は其瀬戸內海に面する方面に於て即ち讃岐と伊豫の約半部に於て興隆の態を示しつゝあるは一に其交通の便なるによるべし。而して阿波土佐に格別產業市としての發達を見ざるは蓋し其地勢の然らしむる所ならん。

大阪灣に面しては神戸、西宮、尼ケ崎、大阪、堺、岸和田等の諸市連亙して殆んど一帶の海港環狀市を形成しつゝあれ共夫々に獨立して其間產業經濟各方面に之が統制を見るを利とするも未だ行はれず。神戸と大阪が一は國費を以て他は市費によりて共に其港を修築し、互に其機能の發揮に競ひたる結果今や神戸の港灣價値が次第に減じつゝあるを見る、之れ現狀市の分布に合理性を欠く故ならん。

（18）

都市の分布と現狀產業國家の組織には可なりの矛盾ある事は既述の如し。而して都市を包擁する地方の行政區劃の如きも又何等の統制なく、全然國家の更生に利益なし。

既に大阪市の大を成しては殆んど大阪府の存在の必要なく、京都市が山城國の過半を占めて其府治を京都市中に置く事の無意味なるが如く、大和の縣治としての奈良市は其北端に偏在し、和歌山の縣治も寧ろ湯淺附近に置かるゝを便とせん、滋賀縣治は彦根附近稍好適に三重は松阪の方津より優らんか。東京市大にして東京府存在の意義を失ふ。

都市の發達獨立が所謂都制案等によりて一層明確に認められ來らば是等の都市の分布に伴ひ當然府縣の行政區劃は變更を必要とし或は合併して全然其機構を更新すべきものとす

兵庫縣が其縣治四國に跨がり、內海と日本海に濱しながら但馬方面の產業が更に開發せられざるは其縣治の偏在するによる也。京都府が兩丹地方に今猶產業の見るべきものを有せず、近時日本海方面の漁業が其沿岸各府縣によりて競爭的に行はれて何等の統制を見ざるが如きも結局其漁場を荒らすに止まらん。

都市が一方的に偏在分布しつゝあるが如く府縣の分治も又偏在するもの多し。近代國家が其交通文化の急速なる進歩によりて他の物質文化の展開に伴ひ民族生活形成に一大變化をなすべきの要あること既に明白なり。

我國家が其東北方面に於て比較的人口の少數なりと云ふ事によりて猶多數の包擁力ありとは認め難き所、此方面には產業の開發せらるべき餘地存すと雖も我國民生活を最も寬裕に理想的ならしむるが爲には寧ろ其開發を制限するの必要あり。天惠の比較的篤からざる東北に於て强て、農作を奬勵する事を廢して其山林經營に意を用ふる方國土保安の上に於て遙に有利なるものあらん。平坦地の森林を伐採しつくして農耕地となし、依て人を容れつゝある北海道の如きは眼前の人口增殖の外、其永遠の山林の利を失ふや大なり。

市町村落の分布と國土の狀勢を併せ考察して人間生活機構の最善なる形體組成に力め依て國難を匡救し益々海外に展進して更に來るべき大難に備へんとするは我等の子孫に對する當然の義務とす。

都市が其文化施設を濫設して必要なきに故らに悉くの都市民をして神經衰弱に陷入れつゝあるは警めざる可らず。

其複雜なる交通機關や眞に人間生活に不可缺のものにあらず、其衣食住の形成に於て國家自ら生産せざる幾多の資材を入れて態々其形式を混雜ならしめ之を逐ひて生活するに夜を以て日に繼ぎ適當なる休養すら得せしめざるが如き動向の持續は、聽て悉くの市民をして病弱ならしむる外國家の健全なる存在に大害を醸すものとす。

若し夫れ町村にして人間生活に最も必要不可缺なる文化施設を加ふるの外に、徒らに大を期して現代都市の形貌のみを學はば其受くる所の損害や更に大なるものあらん。

（19）

町村の分布に關しては全く自然にして寧ろ放漫の狀態に置かれ過ぎたるものあり。從ひて之が生活機構として、今日の産業國家の組織構成との間に何等科學的の連絡基礎なく、依て現時の科學生活の基準便宜を享受する爲には甚だ不便なる場合尠なからず。

併しながら自然の惠澤に浴するものとしては其利益到底都市生活の企及し難きものあり。

都市に近き平坦部、又平坦部に近き農村にありては現代文化の基礎施設を享受するに便利にして、隨つて此等の村邑が絶えず無制限に進入し來る文化設備の無反省の工作によりて其自然にして且つ安全なる生活を害損せらるゝもの甚だ多く、斯くて其形貌は次第に變化の色を帶ぶると共に此等の村落が附近の市に併合せらるゝの場合も又甚だ多きが、其必要ならざる文化設備を無理に强ひらるゝ結果として次第に其生活負擔を增大して其生活內容に苦痛を增大しつつある事實は看却すべからず。

人間生活が物質文化の充足によりてのみ行はるゝ事を眞理とする場合には、此等の施設に伴ふ負擔は固より當然の事なるべきも、若し然らざる場合に於ては斯る施設工作と夫より生ずる負擔とは寧ろ避くべきものとす。

教育が益々進みて人々が力役勞作をなす事を厭ひ、依て生ずる智識階級の失業者が日々に增加しつつある現狀を見よ。

斯く教育せられたる者が農村に安住する事を欲せずして只何と云ふ事もなくして都市に奔り出づる狀態を見よ。

畢竟彼等が教育の眞義を理解せざるの結果とは言ひながら、之によりて農村の健實なる生活基礎が動搖し來りて停止する所なきは國家の安全を期する上に於て寒聲支障なき事なるや如何。

農村の或ものに劣敗者の避難處として經營せられ來れる場合あることは既に言ふ所なるが、今や農村は悉く劣敗者のみの生棲處なるかの如く思はしめらるゝものあり、是最も遺憾にして產業國家の基礎は如何に見るも其生活に直接必要なる物質を生產する農村の存在するによりて其鞏固なるものある事を知る時は我農村の現狀はよくよく考察して最も適當なる狀態に置かるべきものとす。

（註　本論は資料を擧示して詳細に說明すべきものなれど、雜誌の取材として只此總論を掲ぐるのみ。

都市の防火

片岡安

都市生活を脅かすことの最も恐ろしきものは何と言つても火災である。地震の爲めに建物が崩壊し死傷者を多く出した實例は最も悲慘なものであるが、其の時には必ず又火災を伴ふことに依つて其の悲慘事を更に甚大ならしめるのである。古來都市は大火災の爲めに其の存在の基礎を失ふような場合が多かつたから、歐米諸國では早くより其の建築物を耐火ならしめることに全力を注ぎ都市には燃え易き木造の建物は殆んど見當らぬようになつて居るのである。彼の有名なる倫敦大火（西暦 1666 年今より 267 年前）に於て其の時の倫敦の目貫の場所は全部燒き拂はれて其の後に復興したのが現在の倫敦であつて、復興に際しては、それまでのように木造の建物は許されなかつたのである。其の後倫敦に大火が跡を絶つ樣になつたのは全く建物に一大制限を加へたからである。獨り倫敦に限らず各國の都市は大火の恐るべき此の實例と及び都市建築は殊に恒久性を必要とする近代文明の要求とに鑑み、都市に於て燃燒性の脆弱なる建物を一切建築させぬ方針を取つたから、今日に於ては都市の建築物の集團が一朝の大火に依つて全燒全滅する樣なことは絶對にないのである。

アメリカ合衆國に於ては最近まで可成り數次大火に遭遇した實例を持つのである。即ち 1835 年 12 月の紐育大火（損害約 1700 萬弗）、1871 年 10 月**シカゴ**大火（損害約 1 億 6800 萬弗）、1872 年 11 月の**ボストン**大火（損害約 7000 萬弗）、1904 年 2 月の**バルチモア**大火（損害約 4000 萬弗）、1906 年 4 月の桑港大火（損害約 3 億 5000 萬弗）を過去 100 年間の著名なる大火とするのであるが、何れも其れ等の苦き經驗に依り、それぞれ其の建築に大なる制限を加へてかゝる悲慘事を繰り返さぬ樣に注意を拂つた爲め、其の後又將來永久に大火を見ることはないのであらうと思はれる。

之を我國の都市に見るに實に遺憾に感するのは古來繰り返し繰り返し大火の惱みを受けながら、相變らず其の建築物の改良を企てず燃燒性の脆弱なる木造を以て甘んずることである。明治維新に至るまで江戸 300 年の歷史は實に大火の連續であつた、殊に明暦 3 年の大火の如きは世界に於ける最大にして且つ最も悲慘を極めたものであつたことは正史口碑に傳へられて聞くさへも戰慄に値するものである、德川幕府 300 年間江戸の都は 30 數回の驚くべき大火と百數十回の相當大の大火に襲はれたのである。京都に於ても大阪に於ても其の都市建築物の可成り大なる分量を烏有に歸せしめた實例に乏しくないので、其の都度直接に又間接に非常なる損害を被つて居るのである。尙ほ其他の中小の都市に於ても

其の程度こそ小さけれ其の回數に於て少けれ兎に角過去300年間に受けたる大火の爲めの損害は相當大のものであつたのである。

德川時代に於ける火災に對する防火は主として火の要心であつた、明治維新以來諸政改革されたけれども建築物の構造制限を徹底することにまで及ばなかつたのである。我建築學會は明治30年頃より數次建築條例を布き以てこの災害を防ぐべく當局に建議したのであるが遺憾ながら當局の採用するところとならなかつた。大正6年我日本建築協會は右學會其の他二三の團體と共同して建築物制限の一刻も猶豫すべからざるを建議して當局を動かし、遂に都市計畫調査會の設置となり、其の立案により大正8年3月議會を通過し都市計畫法及市街地建築物法が布かるゝことゝなつたのである。

市街地建築物は先づ六大都市に施行され漸次中小の都市に及び今日にて已に30有餘の都市は其法の全部又は一部を已に實施して居るのである。この法の運用により防火の目的を達成すべく各都市はそれぞれ防火地區を設定し其地區內の建築には耐火構造を强制しつゝあるので、今後其强制が完全に實現すれば最早從來の如き大火に惱まさるゝ事はない筈なのである。唯憾むらくは行政運用の當事者は緊要なるこの都市對策の實現に餘り熱心でなく、何れの都市も防火地區の設定は已に發布されながら、其地區內の建築物の構造制限を徹底的に實現すべき態度を有せず、防火地區の完成は今後果して幾年を要するやの見込さえも立たぬような實情である。折角の法律も運用宜しきを得ざればその精神も沒却さるゝの憾がある。

大正12年帝都の大震火災には其損害50億圓以上に及ぶと言はるゝが、もし其當時に防火地區の完成が出來上つて居れば其被害は其十分の一にも達せなかつたと思はれ、人命の損害も數十分の一であつたと考へらるゝのである。而して今後と雖も帝都を始め各都市とも一朝の失火に大火を引起し恐るべき大損害を招來するの危險尙常に存在するのであるから、我々は今後の其危險率を絕無ならしめる爲めにあらゆる困難を排して各都市共にそれぞれ防火地區の完成に努力せねばならぬのである。

我國の都市には概ね其人口10萬人に對し1ケ年平均30回の失火を伴ふの例である。100萬人の都市には300回、300萬人の都市には900回の失火があると考へても差支へはない。若し其失火の一つが烈風の吹き荒むに遭遇せばそれこそ一大火災を引起す事必然であつて其危險率は大都市に於ては非常に高率であると覺悟せねばならぬのである。木造建築物の集團たる我國の都市にては特に深き考慮を廻らすの緊急なるを痛感するのである。次に最近五年間の每年我國に於ける火災の度數、燒失面積及損害高等を揭げて參考とする。

	火災度數	燒火建坪（平方米）		損害見積
		住家	非住家	金額（單位千圓）
昭和1年	19,477	1,380,869	647,349	69,752
昭和2年	18,595	2,119,907	898,439	89,068
昭和3年	17,966	1,610,109	685,378	67,135
昭和4年	18,528	1,649,187	700,307	71,276
昭和5年	17,514	1,500,377	621,805	55,283

都市の防空施設

中村濱作

1 序說
2 空襲は如何にして行はるゝか
3 都市爆撃の要領
4 爆彈の種類と其威力
5 防空の要領
A 積極的防空
B 消極的防空
6 結論(將來の都市施設に就て)

1 序　說

歐洲諸國に於ては世界大戰中具に辛酸を嘗めさせられたると將た又、航空機の日に月に超スピードに進歩しある狀況に鑑み都市の防空に付ては極めて重要視し、凡ゆる近代的科學の力技術の粹を利用したる防禦施設が行はれてゐることは普く世人の知る處であるが、我邦に於ても近年殊に日支事變勃發後滿洲に於て又上海方面に於ける我軍飛行機の偉大なる威力を發揮せるを見て、今更ながら防空の忽緒に附す可らざるを看取し各地の重要都市が自ら防空施設を實施せんとするの趨向に至り、又本建築協會が8月都市計畫特輯號に於て予に寄稿を需めらる洵に國防上欣快に堪へざる處で、予素より其任に非らざるも聊か資料を蒐錄して敢て大方諸彦の叱正を乞はんとするのである。

2 空襲は如何にして行はるゝか

都市防空の爲には先づ如何にして空襲が行るゝかを知得する必要がある。

都市空襲に任するものは多く飛行機特に輕爆撃機で500～800馬力或は500馬力內外の發動機2個を備へ少くも300粁多きは800粁の行動半徑(往復)を有し、1機に200～700瓩多きは1.000瓩の爆彈を搭載し得べく晝夜を通じて多くは編隊して來るのである。夜間單機或は逐次に來て爆撃を行ふ重爆撃機にありては、450～1,000馬力のもの1個乃至數個乃ち總馬力900～2,400稀には6.000馬力の發動機を備へ少きも400粁、遠きは1.200～1.300粁の行動半徑(往復)を有し1機につき2,000瓩內外甚しきは3.000瓩時には8,000瓩の爆彈を搭載するものがある。更に近時各國の旅客機は速度と搭載力との增大に向つて邁進しつゝあつて、一朝有事の際には之を利用して往復行動半徑1.500粁以上に達する飛行機が現出すべく、昔は四面環海の故を以て桃源の夢を貪つた我邦が今や四面皆空魔の世となつたのである。

さて此の如き飛行機は凡そ如何にして何時都市に空襲し來るかと云ふに、空襲は晝夜の區別はないが其處には各利害がある。又彼我の空軍勢力防空機關の狀態やら使用する機の性能やら又は空襲後の行動等に於て將た又出發點等の狀況に依りて異なるものであるが、多くは夜間又は拂曉前一二時間のときが選ばるゝことが多かろうと豫想する。

3 都市爆撃の要領

都市に對する爆撃法としては

1 爆彈に依る破壞

2 燒　夷

3 都市內部に對する瓦斯攻撃—瓦斯包圍並に瓦斯阻絶

4 以上の併用

等で右の內何れを採用するかは目標の性質、爆撃の目的、使用し得る飛行機、都市の構造等によつて異なる。

爆撃の際目標とせらるゝものは

1 政治並警備官衙

都市を無秩序無警察の狀態に陷らしむるを主とす。

2 通信中樞

關東大震災の混亂が大部分通信線の杜絶に原因したことを見ても明である。大戰間佛國はこれらの事情を察し勞力資源の欠乏に苦しみながらも巴里市內の主要通信線を地下深く埋沒した。

3 水源地、發電所、配電所、瓦斯タンク等

4 軍需工場

5 橋梁竝交通の要點(停車場等)或は著名なる建築物地點

我が國都市に對して燒夷彈が特に恐るべき敵であることは云ふまでもない。

4 爆彈の種類と其威力

投下爆彈の種類は概ね次の通りである。

- 投下爆彈
  - 人馬殺傷用爆彈——破片爆彈
    - 普通爆彈(30瓩以下)
    - 爆彈(20瓩以下)
  - 破壞用爆彈
    - 地雷爆彈
      - 小型爆彈(50瓩級)
      - 中型爆彈(100瓩——300瓩級)
      - 大型爆彈(500瓩以上)
    - 破甲爆彈
      - 中型爆彈(200瓩——300瓩)
      - 大型爆彈(500瓩以上)
  - 特種爆彈
    - 燒夷爆彈
      - テルミット彈
      - 黃燐彈
      - ペンプール彈
      - エレクトロン彈
    - 發烟彈
    - 照明彈
    - 毒瓦斯彈
      - 毒瓦斯の種類は極めて多きも其主なるを擧ぐれば下表の如し

毒瓦斯一覽表

區別 / 種類	生理作用	代表的毒瓦斯	常態	作用時の形態	特臭
窒息性瓦斯	呼吸器を侵し窒息死に至らしむ	ホスゲン	液體	氣體	腐敗せるリンゴの臭
クシヤミ性瓦斯	氣道の粘膜を侵しクシヤミを多發し嘔吐せしむ	ヂフエニールクロールアルシン ヂフエニールシアノアルシン	固體	固體微粒子	特有の臭
催涙性瓦斯	眼を侵し涙を出さしむ	クロールアセトフエノン ブロムベンヂール クロールピクリン	固體 液體 液體	固體微粒子 氣體 氣體	特有の臭
糜爛性瓦斯	皮膚を發泡糜爛せしめ眼及呼吸器を侵す	イペリット	液體	液體及氣體	芥子の臭
中毒性瓦斯	神經中樞を侵し中毒して死に至らしむ	青酸	液體	液體及氣體	辛き排に似た臭

破壞用爆撃の効力は投下高度彈徑、彈重、彈質等により異なるも概ね次表に依りて見て頂きたい。

又爆彈の爆破効力の基礎となるものは、爆破壓力で、此壓力は爆發中心に於ては非常に大きく破裂點から距離の二乘に反比例して急速に遞減するものである。

次の表は地雷爆彈がどれ位の爆壓を生ずるかを或る假空の下に計算したものである。

爆彈種	爆發中心からの距離に應ずる壓力				
	0.01米	0.1米	1米	4米	40米
小型爆彈	1.280,000	12,800	128	8	0.08
中型爆彈	7.680.000	76,800	768	48	0.48
大型爆彈	25.600,000	256,000	2560	160	1.60

投下爆彈が土砂に命中爆發すると漏斗孔を生ずる。此の漏斗孔の大きさが土砂に對する爆彈の爆發効力を示すのであるが、爆彈の大きさや種類に依りて異なるは勿論であるが、爆彈が爆發前に於ける侵徹量の如何に依りても變化する。土砂に對する地雷爆彈の漏斗孔の半徑(威力半徑)は大體次の通りである。

爆彈種	尋常土	砂地
小型爆彈	3.0米	2.7米
中型爆彈	6.0米	5.0米
大型爆彈	8.0米	7.5米

ペトン構築物に對する爆破力は、爆彈の大きさに依て異なるは勿論であるが、尙爆彈が爆發するときの姿勢即ち爆彈が目標に對して垂直か平行姿勢かに依りて異なる。垂直姿勢で命中し十分侵徹せるものは最も良好なる効果を呈し、然らざる場合は平行姿勢の爆發は

より大なる爆破効力を有する。

今地雷彈が「ペトン」構築物に對し其爆發によつて破貫効力を及す厚さの概略を示せば次の通りである。

爆彈種	爆破姿勢	塡塞充分ならざる場合	塡塞良好なる場合
小型爆彈	垂直	0.30米	0.80米
	平行	1.20米	1.40米
中型爆彈	垂直	0.80米	1.40米
	平行	2.00米	2.50米
大型爆彈	垂直	1.3米	2.40米
	平行	3.0米	3.80米

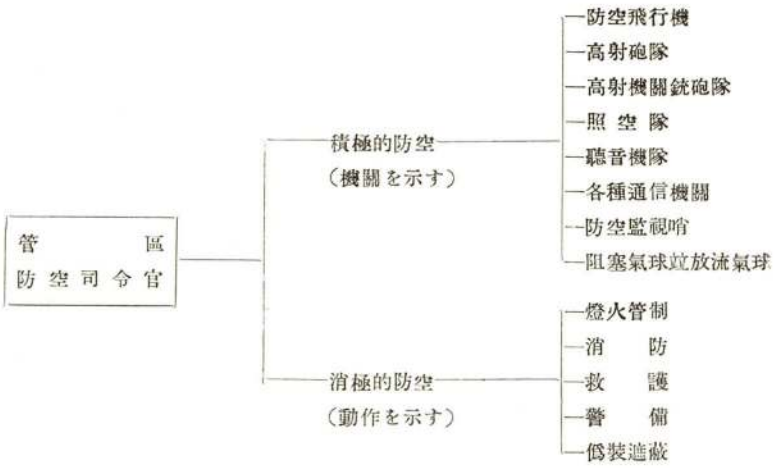
鐵板に對しての効力は鐵材の景況によりて異なるのは勿論であるが、又爆彈の姿勢爆發の景況によつて相違がある。地雷彈が有する炸藥の爆發によつて破孔を穿ち得る鐵板の厚さは、概略見當としては小型爆彈で約2糎中型にして約5糎大型で約10糎である。

燒夷彈は名の如く燒夷劑の燃燒に依て比較的引火燃燒の困難なる可燃物をも燒夷せんとするもので、エレクトロン彈重量1瓩位のものでも發熱量約 4.000 キロカロリーを有し約3分間燃燒を繼續する。

5 防空の要領

防空の動作は大別すれば敵の航空機を来させない様にする手段と、來た時に之に對應する手段とに分つ事が出來る。更に前者には我爆撃機を以て進んで空襲根據を覆滅又は損傷して努めて其禍根を絶つこと、(素より野戰軍を以て敵空襲根據地を侵略掃蕩することは最も確實なる方法たるも之は別とし) 我被空襲地又は目標を隱匿遮蔽して敵の空襲企圖の實施を困難ならしむることゝが含まれ、後者には既に來た敵機を撃墜又は撃退する動作と受けた被害を小極度に制限せんとする動作とが屬する。然し我爆撃機を以て敵空襲根據地を覆滅することは、前にも述べた様に、我陸海空軍第一戰部隊の任すべきものであるから本研究からは省くを適當とする。以下防空動作と稱するものは他の三手段に就て云ふのである。

防空動作を分つて積極手段と消極手段との二となすとは通常用ひらるゝ分類法である。前記の內敵機を撃墜又は撃退する動作は積極手段に屬し、敵機に目標を隱して來させない様にすることゝ既に蒙りし害を努めて極限する動作は消極手段に屬する。即ち次の如くである。



積極手段が能く整へば消極手段は不要の様にも見える。云ひ換へれば防空軍備がしつかりして居れば市民は焦慮する必要がない様にも見える。然し如何に積極的防備を整ふるも眞面目に攻撃し來る敵は實驗上1乃至3割の敵機は目的地の上空に到達し得たのである。況や積極手段の爲に要する器材は中々莫大なる經費を要するのであるから、國の軍備に用ふる經費に制限があればある程消極手段の準備が必要になつて來るのである。

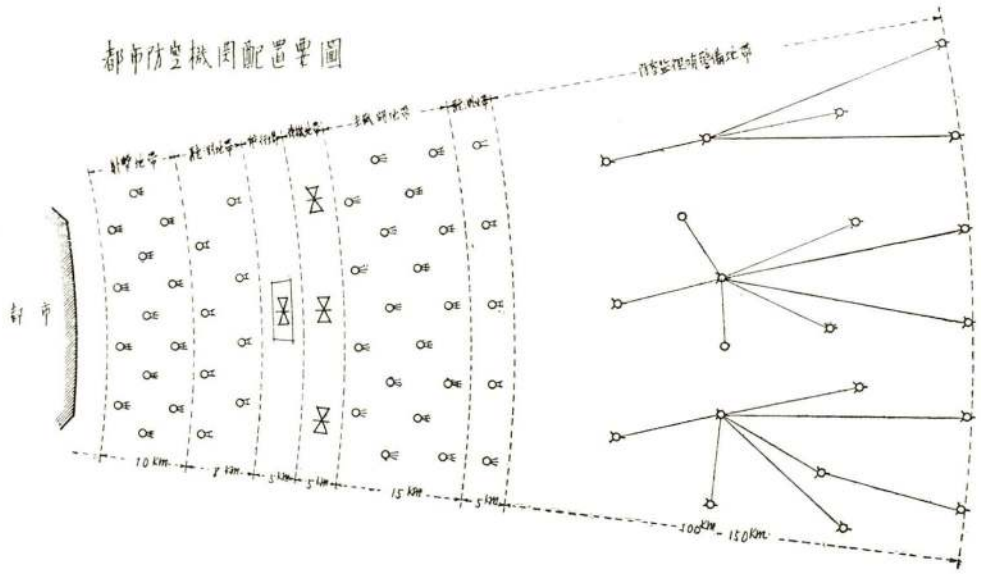
次に國土の防空と云ふも到る處防空し得るものでもなく又必要もないのであつて、敵と雖限りある機數を以て有效に目的を達せんとするのであるから、多くは政治經濟の中心たる大都市又は軍事上重要なる意義を有する地點や施設を目標とする故に、此等要地の大切なるものを防護することが國家の中樞を保護することゝなり、之が防空の主目的物である。國內を防空上の管區に區分することは此着眼より來るのである。

要地即ち多く都市の防空配備は都市の大小地形、氣象及危險の度により差異あるは勿論であるが、要するに都市の遠く前方に防空監視哨を配置して敵機の發見に任し、其報告に依り警報を傳えて防空準備を整へ、燈火管制を令し要地の外方四周に配置せる防空飛行隊を以て敵機を攻撃し、之を都市の上空に達し能はざらしめ、夫れに漏れたるものは更に高射砲の射撃に依り撃墜又は撃退し尙且蒙るべき被害に對し機を失せず對策を講じ得る爲都市には消防班、消毒班、警備班、救護班等を配置するのである。而して積極防空手段は主として軍部之に當り、消極防空手段の內警備は軍部と地方官民との協同に依り、其他は地方官民に依りて編成實施さるべきものである。此等總てを稱して防空施設と云ふのである。

何れにしても防空の要は適切なる防空施設と官民一致の統制ある訓練とに待つべきものである。

A 積極的防空

積極的防空機關の配置を圖示すれば次の如くである。



今上の圖に就て逐次各機關の任務性能を述ぶることとする。

イ　防空監視哨

防空監視の目的は遠く敵機を發見し速に之を防空司令部の關係方面に報告して防空準備を整へしめるのであつて、防空司令部は之に依て(一)警報を發し(二)燈火を管制し(三)防空各隊に戰鬪準備及開始を命じ(四)市民に避難消防救護等諸種の準備を完了せしむるのである。故に防空監視哨は此等諸準備を得るに必要なる距離丈け前方に配置せねばならぬが、餘り遠くなれば多數の監視哨を要し且指揮其他に不便であるから、此關係を顧慮して調節し、大約都市の外緣より 200 粁內外の前方に其第一線を配置し其間隔は 12 乃至 16 粁とし更に後方に鱗次に 12 乃至 16 粁を距てて數線に重疊せしむるのである。而して指揮統轄の爲通常哨毎に一の監視隊本部を配して此等監視哨と電話連絡し、同本部は更に直通の通信線を以て之を防空司令部に連絡する。

是に於て防空監視隊に附帶して必要なるは通信設備の問題である。然し之が爲特に莫大なる經費と資料とを費して到る處新線を架設することは困難であるから、先づ在來の警察用電話網及遞信省電信電話網を利用することとなり、從て玆に優先通信に關する問題が起つて來る。此外鐵道、船舶等を利用し監視と通信とを依賴することも極めて必要であつて之を補助監視と稱する。

ロ　防空飛行隊

都市防空部隊の重要なる要素であつて、主として戰鬪機を使用し特に夜間の爲には上昇速度の速なるものを尙ぶ。

此飛行機は通常待機飛行場(要地の外方約 50 粁附近)にありて前方よりの報告に依り

進入路を經て直に上昇し先づ待機地帶に入り、次で敵機の襲來を認むるや照空燈の協力と相待つて戰鬪地帶に入り彼れを擊墜するのである。

待機地帶は自ら遊弋しつつ敵を待つと共に我聽音機の聽測を妨害せず又照明燈の照射時機を備へて戰鬪に入る爲の待機位置であつて、高度 3500 米附近までは一機の爲に深さ3粁を要する。

戰鬪地帶は照明機の照射に依り敵機を捕へ直ちに戰鬪に入るべき地帶であるが、照明機との協力他機との混同を避くる必要上一機の爲深さは 10 粁とし幅は待機地帶とを通じ5粁とする。而して假令戰鬪好況に進むとも他の境界に入ることは夜間は禁物として居る。

元來夜間に於ける戰鬪機の行動は歐洲大戰の初期では多く失敗に歸して一時は中絶の姿となつて居つたが、其後照明機の使用進歩と相俟つて大戰末期には十分の效果を認められ、殊に敵機の發見は飛行機からは容易であるし、沈著して光芒外から不意に接近することが出來、又防者は熟地の關係上夜間飛行其者も左程困難でないから今日では大に其價値を認めある次第である。

ハ　高射砲隊

高射砲隊は飛行隊と共に防空の主務を果すものであつて、射擊に依て晝夜を問はず防空戰鬪に任じ敵機を擊墜し又は之を擊退するのであるが、飛行機と異り敵機が其陣地の上空適當の場所に來ねば其效力を表はし得ぬ不利がある。然し防空に用ひ得る飛行機の數には限りがあり、又防空飛行機の缺を補ひ第二段の構へとして敵機を要地外に阻止するには極めて必要なる機關であつて、假令飛行機を防空機關の主體となし得る國であつても高射砲なしでは到底防空を完ふし得ないのである。

高射砲は地形と其多寡に依り異るも、通常二門を一隊とし飛行機戰鬪地帶の後方で要地の外方數粁の所に聽音機照明機と相俟つて配置せられ常に此等の輔に依り任務を達成する。而して現時は高度 1 萬米を制空し得るものであるが、最も有效なる限度は6000米前後であつて1000米以下の高度と直上に漏斗形の死角を生ずるの不利がある。

ニ　高射機關銃隊

高射機關銃隊は高度2000米內外を最も有效とし、主として高射砲陣地の內外にある重要建築物の直接掩護に用ひられ又は高射砲の射擊困難なる低空の射擊に任せらる。

ホ　照空隊及聽音機隊

照空機は夜間防空飛行機の戰鬪の爲並高射砲の射擊の爲缺くべからざるものである。即ち飛行機の爲には聽音機の助けに依り、其戰鬪地帶に侵入する敵機を迅速に捕捉し且我飛行機の戰鬪動作を容易ならしむるのである。從つて此地帶內は到る處光芒の及ばない所のない樣に配置せねばならぬ。而して通常二又は三燈に依りて敵機を交會照射すると共に我飛行機に信號を以て敵機捕捉を傳え我飛行機は光芒外より敵機を攻擊

するのである。

高射砲との協同動作も亦之れに準し敵機を照射し射撃及觀測を容易ならしむるのである。從て其配置も又高射砲と交錯する關係にある。

照空機の照射距離は電力中徑並目標の種類天候等に依り一定する能はざるも、晴夜に於て飛行機に對し最大8粁、實用6粁內外を普通とする。

聽音機は照空機の動作を容易ならしむると同時に自ら聽測に當り又時として監視用に用ひらる。而して此內照空燈と連繫し其前方に設けて敵機の爆音に依り、其方向距離を判定測知し我飛行機又は高射砲に通報するのが最要の役目であつて、通常其聽測距離を8粁以下と認め相互の間隙に敵の侵入することなからしむる樣配置する。特に我が飛行機の待機位置に於ける爆音の入らざるやう其地帶外に位置することが必要である。

聽音機數箇より成る聽測團は晝夜に拘らず聽測し得る目標を求め、飛來位置を測定し阻塞射撃に必要なる諸元を求むるのであつて、通常高射砲射撃地帶の前方に集團配列せられ、而して其集團の正面は15粁、縱深は10粁として4乃至5粁每に聽音機を配置せば風速6米以下の狀態に於て先づ目的を達し得る。

何れの場合に於ても聽手の熟否は大に其性能發揮に關係するのである。

ヘ　阻塞氣球竝放流氣球

阻塞氣球とは敵機の來襲する公算の大なる航路に繫留氣球を昇騰せしめ、敵機を之に衝突墜落せしむるか、或は敵に精神的恐怖を與へて其飛行を制限し又は必要以上の高い高度を取らしめ、爆撃實施を困難ならしむるものである。歐洲戰の經驗に依れば其效果は寧ろ後者の方が大なる樣である。

阻塞氣球は目下二連懸吊のものが實用せられ、風速12米以下では 4500 米附近の高度迄昇騰せしむる。而して其配置法は敵襲の虞ある都市の外周或は重要建築物の周圍等に間隔2乃至300米を間して昇騰せしめ空中柵を作るのである。

放流氣球の目的は豫想する敵機の航路上に障碍となるべき小自由氣球を多數放流して敵機を之に衝突せしむるのであつて、此方法は我飛行機の活動を妨害せざる方面にのみ適用すべきものである。

以上は積極的防空の大要である。而して今假に帝國と某國との國交斷絶の已むなきに至り、東京防空司令官が任命せらるゝと共に最高統帥より帝都の防空を命ぜられたるものとせば、前述の要領に準じ東京を中心として諸機關の配備を決定するのである。

B 消 極 的 防 空

此機關は要地內外に於て敵機の空襲を避け或は其效果を制限する動作であつて、軍部は所要に應じ指導の位置には立つも、主として地方官民自體の組織を以て之に當るものである。

イ　燈火管制

燈火管制は要地及其附近を暗黒にし以て敵をして遠方より目標發見を困難ならしむるを目的とするものであつて、其方法には數種あるが、大體の處置を説明すると屋内燈火特に屋外燈は勿論工場の火焔、自動車、電車、汽車等の前後燈に至るまで燈火を消し又は遮蔽するのであつて、之が爲には屋内燈は終夜點燈はしても差支ないが、必要の最少限度に止め且其火光が絶對に外部に洩れぬ樣に燈覆又は窓掛を使用し、屋外燈は十字路屈曲部等の交通要點又は停車場操車信號、或は出入口等必要已むを得ぬもののみを殘して(成るべく色燈とし上空に對し遮蔽の手段を構ず)其他は全部消燈する如くす、之が爲豫め地區を分ち情況に應じ管制順序を追ひ又は同時に消燈するのである。此燈火管制は都市内は勿論半徑80粁位迄行はねば効果がない。然し之を完全に實施すれば効果甚大なるは歐洲戰の經驗に依りても明である。而して之が實施を完全にする爲には平時より管制の準備が必要であつて、努めて管制線と不管制線とに區分し且府縣毎に統制し得る如くして、警報に應じ一齊に消燈し得る樣にせねばならぬ。但燈火管制は過去演習に於て試みた如く二、三日で濟むものではないから絶對消燈を奬勵すべきものではない。能く火光及動力の能率を保ちつゝ必要の時と場所に於て完全に管制し得るのが良いのである。又之には市民の規律と德義心に訴ふる所が甚大である。

ロ　消　　防

我國都市の建築物では空襲の際立どころに火災を頻發するは明である。從て消防の用意は甚だ必要である。其方法は守地を區分し各消防班をして擔任區域の消防に任せしむるのであるが、普通の火災と異り特別の場合の外は他の地區に赴援をなさぬことが必要である。從て各地區には更に補助消防班を設け消防班の不足を補ふことが必要であつて、要すれば更に破壞又は工作の爲に特別の編成を準備することが適當である。又平時から此目的の爲消火栓の增設穿井其他消火用具の民間備附をなし得れば更に良好である。

ハ　救　　護

救護とは空襲の結果生じたる負傷者を收容治療し、毒瓦斯の所在を檢知して之が對應策及患者の手當を講じ、又避難所を管理して避難者を保護すること等を云ふ。

救護隊は通常防護團の一部をなし更に救急班防毒班（但之は消防班をして兼ねしむるのが適當なりとの意見がある）收容班、病院避難所管理班等に分れ救急治療は主として地方醫、地方病院等の活躍に待ち、又避難所には地下鐵道、地下室等が利用せらる。然し我國に於ては避難所に適する場所は至つて少なく、若し市民が爭つて之に避難する如きことあらば却て大目標を呈するのみならず交通整理上重大なる困難を釀すことは想像に難くないから、此點に就ては平時より關係當局の十分なる考慮を必要と感ずる次第である。

茲に特に注意を要するは毒瓦斯なるものは強烈なる作用をするけれども、市民の之に對する知識の向上と適當なる防毒方法の實施とがあれば決して恐るべきものではないのである。從て市民の防毒教育は今や緊切なる課目の一なることを認めざるを得ない。

ニ 警　　備

空襲があれば其結果として市民の不安乃至動搖を招き、延て避難者を生じ交通上の競爭又は充塞を醸し又爆彈を受くれば火災となり、何れにしても平素よりか秩序寧靜を破壞され時としては混亂を起し易いことは想像に難くない。剩へ此の如き際には往々非國家的分子の策動により事態を一層紛糾せしむることのあり得るは震災の經驗を有する東京市民の夙に承知のことである。是に於て警備は消極的防空としては缺ぐべからざる要素をなすのである。

警備は素より軍隊も之に任ずるが、之には各々別の任務があり（補充訓練竝軍事施設掩護等）素より非常時には地方警察の後援を爲すものであるが、主體は地方警察に依らねばならぬと信ずる。而して之を補助するに在鄉軍人、青年團等を以てし之を更に警備業務中の自警、交通整理、燈火管制の取締等に區分し分擔せしむるのである。右の如く各種の補助團體を自治體より求むるに就ては、茲に其編成を如何にすべきや誰に隷屬すべきや之に警察權の一部を與ふるの可否等の諸問題が生ずるのである。詳細は何れ別の機會に讓り茲には省略する。

ホ 僞 裝 遮 蔽

敵機をして目標發見を困難にし或は目標を誤認せしめて爆撃を無效ならしむる爲、僞裝又は遮蔽の手段を講ずることがある。之も軍部が指導はするけれども其實施は軍用物件以外は地方側の手に依り行はるるのが通常である。而して歐洲大戰中行はれた例を見ると或は「セーヌ」河の合流點を遮蔽して巴里の所在を不明にしたり、「テームス」河の屈折點を遮蔽して他の地域に河の如きものを作らんとしたるが如き、其他「ヴエルサイユ」宮殿や砲臺などを森の如く見せかけたり、更に規模の大なるは原野に巴里を現はす僞都市を設置するの計畫が起つたりしたが、概して晝間の爲には餘り多くの期待は置けぬけれども夜間には相當の效果を奏し、殊に工場の位置（殊に火焰）を發烟遮蔽するが如き又は要所の水面を或る物體又は烟幕を以て蔽ふ如きは極めて有效にして且必要なる措置である。此等も詳細は別講演に讓る。

以上の外純粹の消極防空の內には入らないが、情報蒐集及警報は軍部と軍部外に跨る重要なる防空手段であつて、先づ監視哨が敵機を發見せば迅速に之を監視隊本部に報告し監視隊本部は更に電氣的操作に依り之を防空司令部內の情報板に逐次標示する等の動作を爲し、其結果が中央からの警報傳達となり各種方法に依り燈火管制を命じ又戰鬪準備及出動を命ずるのである。從て人員器材共に前方から後方、後方から前方と脈絡あり且圓滑迅速なる働きをなし得る如く訓練準備せられねばならぬ。

尙又氣象は航空機の行動と密接なる關係があるから常に氣象臺と連絡し、之が爲要すれば特に氣象班を設け專門的見地から氣象觀測を爲し之を傳達する樣にする。

以上にて大體積極的防空と消極的防空とを說明し終つたのであるが、此兩者は恰も唇齒輔車の關係にありて到底防空は武力づくめで完全に目的を達成することは困難である。特に前述せる如く經費其他の關係上防空部隊の兵力が十分でなければ、其れ丈消極的防空即ち地方民の活躍に俟つ所が大であつて、此意味から云へば開戰の初期各機關の動員が完備せない間は最も燈火管制や遮蔽其他防護手段の整頓を必要とする。從て其素地は平時から準備せられなければ到底出來ないものと思はねばならないのである。

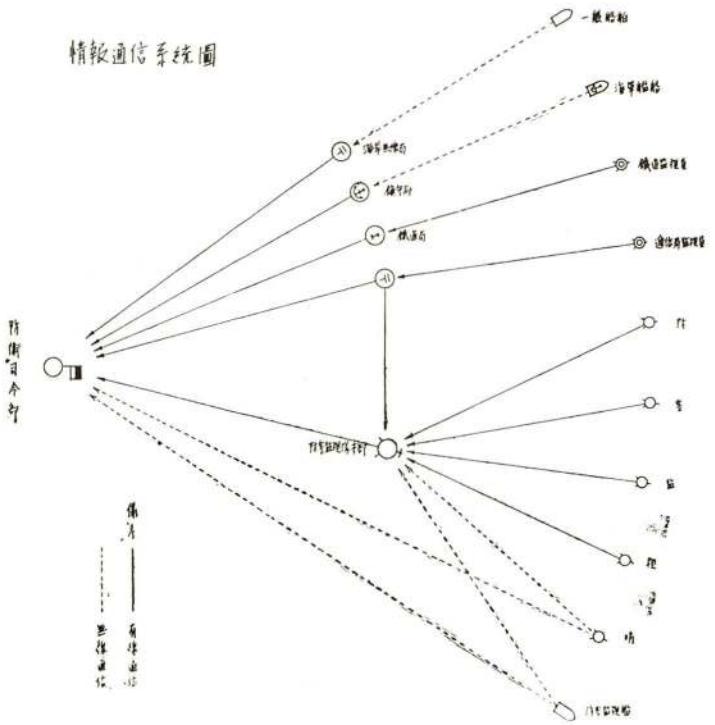
結　　論

以上都市に對する防護の要領を述べたので、將來重要なる都市には防空上如何なる施設が必要であるかは想像し判斷し得る事と信じますが、重複を厭はず都市の計畫又は施設上着眼すべき主要項目を列擧して見ると

1　通信施設に就て

電信電話線は地下線として且通信網を統制し非常時の使用に便ならしむること

參考の爲に都市防空上の情報通信系統を圖示せば次の如きものである。



2　燈火管制の準備に就て

夜間敵機の襲來に對し敵機をして重要目標物の發見を困難ならしむる爲、廣地域の燈

火を適宜に管制することの必要は云ふまでもない。それに就て如何なる注意が必要であるかと云ふに先づ

1)は管制地區の範圍である廣大なる面積を有する大都市に在りては其都市を離隔すること概ね80乃至100粁以上の地域の燈火を管制することが必要である。

2)は管制の方法としては原則としては全都市を全部暗黒化しないで、上空から見たとき恰も村落が點在して居る様にすることが必要である。

3)は目標燈火の管制法である。即ち敵機の目標になるような地域地物の附近にある燈火は絶體的に消燈し敵に座標を與へないのである。近來、空中航空法が進歩して天測やラヂオビーコン等が利用されて流行の盲目飛行を利用しても機上から地上を觀測することなしに正確に都市空襲の如き小目標を覗ふことは困難である。

4)は燈火管制と夜間業務等との關係であるが、燈火管制は單なる停電と同一に考へては困る。空中に對しては暗黒面とするか夜間内部で社會の仕事が出來ない様なやり方では困る。即ち都市の活動が夫が爲に停止する事は適當でない。

之が爲には燈火管制計畫上着意すべきは(一)目標附近の燈火は完全に消燈し他方に夜間業務に支障を生ぜしめざること、(二)燈火管制と交通機關との關係を詳に研究し避難の爲め又輸送交通を圓滑ならしめ他面パニツク等の發生を防止する注意が必要である。之が爲には燈火管制と生産工場の關係も亦充分研究を要することである。

3　都市計畫上に就て

都市内隨所に空地(小公園)を設け防禦部隊の活動に資し或は避難所に利用することが必要である。又都市が海灣に面するが如き地にありては、防波堤等は成る可く廣くし防空機關の活動要すれば高射砲、照空燈等の陣地にも利用し得ることが必要である。又郊外に於て各方面に對して活動し得る防空飛行隊の飛行場が是非必要である。又地下鐵道等は出來得る限り地下深く施工し小地區毎に遮斷し且其遮斷地區毎に換氣法の設備を爲し置くこと。

4　建設物に就て

建設物は成るべく鐵筋コンクリートとなし屋上には必要の場所に高射機關銃等を配置し、又は砂囊等を積堆し得ることが必要である。而して地下室を有し防毒室を設備すること(防毒室の構造は略す)

5　平素市民の訓練を爲し置くこと

敵機の空襲と云ふ事は全く突然に起るものであることを考へたならば、平素市民たるもの之に對し充分準備し訓練し非常時に當り狼狽せざることが必要である。歐洲大戰の初期ロンドン市民がツエツペリンに對して周章し、大正十二年關東大震災の折東京市民が狼狽し無節制な行動の爲に蒙りし被害を顧みるとき平素の準備と訓練の必要を痛感するのである。　　(終)

實際問題としての地方計畫と地域制

加　藤　善　吉

はしがき

今回都市計畫法が改正せられ從來勅令を以て指定せられた市に限つて都市計畫法の適用を見たものが今後は市は凡て適用を受け尙ほ、町村にも之れが適用を受け得ることとなつた。其の結果實際問題として今後町村に之れが適用を受くるに當つては、或は地方計畫的に或る場合には衛生都市的に考察をなすの必要を生ずるに至るのみならず、地域指定の問題に就ては種々復雜な關係を生ずるであらうと思ふ。以下之等の問題に關して少しく卑見を述べて見たいが、それに先ち法令の改正要旨を述べる必要がある。

法令の改正

都市計畫法の改正は昭和8年5月1日より施行せられた。今其の要點を擧げれば前記の通り、從來勅令を以て指定せられた市にのみ都市計畫法の適用を見たのであるが、更にその範圍を擴張して市は凡て之れが適用を受け、町村には內務大臣が指定して之れが適用をなし得ることゝなつたのである。

即ち町村と雖も市に匹敵するものが多く、且つ既に都市の形態を具ふるものが多數ある之れ等に對しては市と同樣否寧ろそれ以上に豫め一定の計畫を樹立して、其の發展の基準を示すことは極めて必要なことであるから、之等に對し都市計畫法を適用して將來に俟へむとするための改正である。而してその計畫が事業として決定した場合は市又は內務大臣の指定した町村を統轄する行政廳が之れを執行する。

都市計畫區域の決定に際しても從來の法に依れば關係市町村長、並に都市計畫委員會の意見を聞き內閣の認可を受ける制度であつたが、これも事務の簡捷を計る趣旨からして內閣の認可を要せないこととなり、且つ市町村の行政區劃を以て都市計畫區域とする場合には、關係市町村並に都市計畫委員會の意見を徵せざることに改正されたのである。

之れに伴つて官制も改正されて、市が當然本法の適用を受けることとなつた結果、都市計畫地方委員會は道府縣毎に之れを置き地方委員會の委員も從來の委員の外に內務大臣の指定を受けた町村の町村長及び其の町村會議員の定數の6分の1（一市町村に付15人を超ゆることが出來ない）が委員となる。又地方委員會の委員、幹事の任命手續も從來內務大臣の奏請に依つて內閣が任命されたものが內務大臣が之を命ずることとなつた。この官制の改正が都市計畫區域の決定に際して可なり大きい影響を與へるのである。

町村が都市計畫法の適用を受けることになると如何なる特點があるかと云へば、街路の

擴築等をなすに當つて之れを都市計畫事業として施行する場合は受益者負擔を徵收し得ること、又土地區劃整理を實施するに當つて從來は耕地整理法を適用して市街地の造成をなしたのであるが、斯の如き全然目的の異つた法制のもとに合理的な市街地を計畫するの不可能なるは明かであるから、この改正に依る適用を受ければ宅地造成の目的に出來て居る土地區劃整理を施行し得ることなり、從來の不便を除去される。然らば如何なる町村に適用を受くべきか內務省で豫め定めて居る指定町村の標準は(1)人口1萬以上の地、(2)人口增加率の顯著な地、(3)溫泉地、海水浴場地、史蹟地、遊覽地等を有するもの、(4)災害を蒙つて復興を要するもの、(5)港灣の修築、工場、停車場の設置等に伴ひ市街地の造成せられむとするものである。

市街地建築物法に於ても、昭和7年2月1日より改正施行せられて居るが、これも施行後の實績に鑑みて地域に關する事項其他に亘つて改正を行ふと共に從來の所謂緩和規定の外、其の內容に就いて階段的に各種の規定を適用するの制を創められたのである。これが適用の方法及種別を分けて擧げて見ると、

1. 施行令第31條の規定に依つて內務大臣其の區域を指定した場合。
   地域、建築線、施行規則の全部の適用を受ける而し之れは實際上指定を見ることはなからう。
2. 施行令第 31 條及施行規則第 149 條の 2 第 1 項に依り內務大臣其の區域を指定した場合。
   地域、建築線、屋根及び防火地區に關する規定を適用せられる。
3. 施行令第 31 條及施行規則第 149 條の 2 第 1 項の規定に依り內務大臣其の區域を指定し又施行規則第 27 條第 3 項の規定に依つて地方長官區域を指定した場合は。
   地域、建築線及防火地區に關する規定を適用する、而し防火地區の適用を受けても事實上其の指定をなさざる場合は、
   地域、建築線のみのものとなる。
4. 施行規則 149 條の 2 第 1 項の規定に依つて內務大臣其の區域を指定した場合は、
   地域、建築線、屋根、防火地區、建築物の高及建築物の敷地內の空地に關する規定を適用される。
5. 施行令第 31 條及施行規則第 149 條の 2 第 1 項の規定に依り內務大臣其の區域を指定し施行規則第 149 條の 2 第 2 項に依り、內務大臣の認可を受けて地方長官適用規定を定めるときは、
   地域、建築線、屋根及防火地區に關する規定の外建築物の種類又は地區を指定して建築物の構造設備及美觀地區に關する規定の全部又は一部を適用される。
6. 施行規則第 149 條の 2 第 1 項の規定に依り內務大臣其の區域を指定し施行規則第 149 條の 2 第 2 項の規定に依り內務大臣の認可を受けて地方長官適用規定を定めるときは、

地域、建築線、屋根、防火地區、建築物の高及建築物の敷地内の空地に關する規定の外建築物の種類又は地區を指定して建築物の構造設備及美觀地區に關する規定の適用を受ける。

尙以上の外各項共特別の事由あるときは建築物の種類を指定して特殊建築物耐火構造規則をも適用し得る。

7. 市街地建築物法、同法施行令、同法施行規則及特殊建築物耐火構造規則の全部を適用するもの、即ち現在六大都市、堺市、西之宮市、尼ケ崎市に適用されて居るものである其の他の市町村凡て從來の施行令第 31 條の規定に依りて指定を受けたもので地域、建築線及屋根の適用を受けて居つたのであるが、今後町村に都市計畫法の適用せられたる曉に於ては其の町村の特異性に應じて、前記第1項より第7項に至る夫々の適當なる條項の適用を受け得る譯であるからこの點を充分留意すべきである。

斯の如き法制の元に之れが市町村に適用さるゝ場合之れを如何にすべきか、如何なる方針のもとに適用さるべきであるか、即ち現在既に都市計畫區域内に包含されある相當な町村は如何にすべきか、或は大都市の都市計畫區域に隣接してある町村は如何にすべきか、區域に包含すべきや單獨適用をなすべきや、或は大都市より相當距離を有する都市化の旺盛な町村は如何になすべきや、而して又それ等の町村に對する地域指定は如何になすべきや、如何にして地域の統制をなし實際的効果を擧ぐべきか、之等の諸問題を考察するとき從來に於けるより適用及指定上大なる苦心と周到な考慮とを必要とするであらう。今之等の問題に關して大に參考となるべき英、米に於ける地方計畫及衛星都市について少しく記述することゝする。

衛星都市と地方計畫

衛星都市(サテライトタウン)即ち主星たる大都市を中心としてその周圍を旋轉するいくつかの星、即ち小都市を含む範圍の廣い面積に亘る計畫の意味であるが、その名の因て來る所は田園都市ウエルウエンの財務支配人バードムの言ふのには米國のジーアール、テーラーが米國の工業都市に關する論文に於てであると云ふ。是等の論文は 1915 年衛星都市の標題で纒められてナショナル、ミユニシパル、リーグ叢書の一書となつたのである。然し現時亞米利加で盛んに用ゐられる地方計畫と對稱して唱へ出されたのは主として英國である。大戰後英國に於て田園都市運動の復活の議論に基いて居る。

今日稱せられる衛星都市の特色は、母市を中心としての小都市が各々都市としての機能を有するのみならず母市に從屬的關係に立つことが必須條件である。既に母市と小都市とが地理的に一つとなり、或は從屬的關係を離れて相接觸するに至つては最早や衛星都市と云ふことが出來ない。兩者の間には永久に之れを分離すべき不建築地帶を有することが必要な條件である。それは元來衛星都市の目的は從來の過大都市、即ち集中主義の都市計畫に對抗して地方分散を行はんとして起つた計畫の新しい傾向であるからである。而して通常母市と衛星都市との距離は少くとも五六哩は必要である。さにあらざれば實際上地方散

開の効果がないだらうと謂はれて居る。

衛星都市は又一面都市としての各種の要素を具備すべきであり、人口も小にして2萬大にして 10 萬を超過すべきではないであらうと云はれて居るが、我國に於ては人口何萬の都市が一番經濟的利便を受け得るかは調査を待つの外はない。

地方計畫は譯語は適當でないがリヂヨナルプランニングのことである。之れは前記の衛星都市に對して米國で唱導されたもので、之れも畢竟するに都市生活の地方分散に依つて近代の集中的大都市生活が生む種々なる弊害から逃れんとするために起つた思想である。即ち衛星都市の思想と相關聯して之れが實行に當つては兩者は不離の關係にある。地方計畫はその名の示すやうに衛星都市の場合より廣大なる土地に亘る計畫であつて、中心勢力をなす大都市が一とは限らずそれらの都市と利害を同じくする市町村を同一統制のもとに計畫するのである。即ち現代の多くの都市が全く無方針の發達をなして來たので、都市計畫法の適用のもとに種々の計畫はされたとは云ひ、郊村の地は大都市に無秩序の添加を續けて來たのである、何等の統制もなく全く偶然に出鱈目に發達した町村が添加して來て居るのである、市民の最も頭を惱ます都市交通の雜閙問題は、要するに人と物とが都市の內部に適當に配置されて居らぬためである。今大阪市がどれ丈の人間を呑吐して居るか次の調査を見れば分ることであるが、郊外電車の終端驛の雜踏は豫想以上である。昭和4年11月5日の調べに依れば南海鐵道難波驛の乘客數 36,318 人降客數 41,920 人　計 78,238 人を筆頭に阪急、大軌、京阪、國鐵、阪神、大鐵の終端驛の總計は乘客 200,437 人降客 220,416 總合計1日 420,853 人の多數に上つて居る、之れをラツシユアワーの場合を見れば午前最大時1時間、南海難波の 10,843 人、阪急の 9,842 人午後最大時1時間乘降數は矢張り南海難波の 9,578 人阪急の 8,220 人其他の電鐵、國鐵とも相當の數に達して居る、從つて都市の中樞部の交通量は無限の增大を來して、其の結果現代の科學技術を以てしては之れに應するの交通施設をなすことが不可能となる、倫敦及紐育の中心地は正にそれであると謂はれて居る。

今試みに大阪に於ける市營電車に依る死傷者數を見れば昭和5年度 1,547 人である。更に之れを自動車事故に依る死去の統計を揭げて見ると、米國の統計は少し古いが大體の勢向は窺はれる。

都市 / 年別	シカゴ	紐育	フイラデルフイヤ	デトロイド	クリブランド
	人口十萬に對する死亡率	同	同	同	同
1925	19.9	17.0	15.2	23.7	24.3

大阪に於ける死傷者

死傷別	死者	同	傷者	同	計	計
	數	人口十萬に對する率	數	人口十萬に對する率	數	人口十萬に對する率
昭和6年	58	2.3	3,952	156.9	4,010	159.2

備考昭和6年末に於ける自動車總數約 6,500 臺なり

斯の如き狀態であるから地方計畫を樹立して都市生活の地方分數を行ひ、人と物との適當な配置をなすの必要切實なるものあるを痛感する　茲に斯の如き都市の發達に對する救濟策としてのアンウインの結論を掲げて置く。即ちそれは人口の都市集中の勢を全然停止せしむるか、然らざれば人口と産業とのより良き配置を得せしむるために地方計畫を行ふべきであることを主張すると。

町村及農耕地の都市化の狀態

町村の都市化の狀勢を觀察する資料として市町村數の全國的に如何なる狀態にあるか如何に人口の關係が推移して居るかの統計を揭げるも無益ではあるまい。

市　町　村　數

年次 / 市町村人口	明治31年末	明治36年末	明治41年末	大正2年末	大正9年10月1日	大正14年10月1日	昭和5年10月1日
總數	14,027	13,313	12,457	12,3 6	12,244	12,019	
500人迄	647	451	229	163	126	82	
501— 1,000	4,050	3,186	260	308	306	266	
1,001— 2,000	8,016	8,059	2,192	1,980	2,356	2,279	
2,001— 5,000	1,031	1,342	7,649	7,584	7,260	7,050	
5,001— 10,000	153	186	1,654	1,852	1,639	1,733	
10,001— 20,000	—	—	268	335	374	392	425
20,001— 25,000	60	—	35	40	50	78	92
25,001— 30,000		64	26	15	26		
30,001— 40,000	60	64	26	25	40	36	38
40,001— 50,000			15	17	20	31	26
50,001—100,000	12	16	19	26	31	51	65
100,000以上	8	9	10	11	16	21	32

更に之れを市部人口と市部外人口との割合を見れば次の通りである。下記統計は全國の合計數である。

	府市數	實數			割合%		
		全國	市部	市外部	全國	市部	市外部
大正9年	83	55,963,053	10,096,758	45,866,295	100.0	18.0	82.0
大正14年	101	59,736,822	12,896,850	46,839,972	100.0	21.6	78.4
昭和5年	109	64,450,005	15,444,300	49,005,705	100.0	23.9	76.1

以上の二統計に依り我國の人口都市集中の傾向は分明するであらう。即ち之れを明治22年市町村制實施當時は、全國の市町村數 13.386 で內ち市は 39 に過ぎなかつたが、逐年町村數が減少して市となるもの多く大正年間以來市は甚だしく增加して昭和7年7月1日現在では 113 に達して居る有樣で其の後も二三增加を見て居る。

斯の如く町村は漸次市となると同樣農耕地は都市化されて漸次其の面積を縮小されつゝ

あるの事實は明かで、或る論者は今日都鄙を通じてふきまくつて居る經濟的恐慌の眞の世界的原因は都市の無制限な膨脹が當然にあるべき農村と都市の比例を破つてしまつたところにあつて、これが眞の回復は都市と農村とをあるべき比例に還元することであると謂ふて居る。

農耕地減少の狀態を近く大阪に求めれば、元來大阪は昔から夙に商工業の樞地として發達し又將來もかくあるべきを以て其の反面農業に多分の影響を受けつゝある、即ち都市の發展と共に耕地は減少され純農者は半農者に、半農者は商工業者に漸次轉業して行く。之れを統計的に見ると耕地面積は昭和2年度以來連年減少を續け、都市化に伴ふ耕地潰廢の事實は數字の上に明瞭にされてある。

耕地面積の減少　（大阪府下）

	田	畑	計
	町	町	町
昭和2年末	52,757 3	12,358.5	65,115.8
3年末	52,483.3	12,309.5	64,792.8
4年末	50,072.1	11,372.5	61,444.6
5年末	49,673.7	11,220.7	60,894.4
6年末	49,243.2	10,928.0	60,171.2

尙之れを都市計畫法に依る土地區劃整理をなして都市化を統制あらしめるための、その施行の面積に就て見れば大阪都市計畫區域内昭和8年2月末現在に於て組合地區總面積は實に 9000.000 坪に及び認可申請中のもの 20 區 124.000 坪設計濟或は準備中のもの 1100 0.000 坪ある。何んと非常な勢ひを以て都市化の行進をなしつゝあるかを見るべきである又これを市町村の豫算の上から見ても昭和8年度に於ては教育費は異常な增加を示した原因は、農村人口の都市集中に依る兒童の增加を示すものと見られる。大阪に限らず何れの都市もその周圍には都市の發展に從つて漸次都市化される地帶即ち郊村がある。それ等の多くは農耕地或は山林であるが都市化の趨勢に促され農耕地は廢れて市街化する。それがために地價は昂騰する、個人所有の土地は小く分割されて建築用地として賣出される。それに住宅が立ち商店が出來る。斯くの如くして何等の秩序もなく偶發的に中心地を形成し漸次隣接地を添加する。延へては其の外周は膨脹して既成都市に接觸して遂には其の一部に編入される。之れが現代の大都市を形成するの過程である。故に其の現狀を見れば全く農業經濟時代の儘で住宅が建つたとしても、辛うじて車を通する小徑に面するに過ぎない。之れと又反對に既成都市とは遠距離に置かれて發展の過程をとる町村もあり、之れが既成都市との間に利害相關の場合がある。

何れにしても大都市と利害共通、社會的關係の密接なる郊村に對しては總括的に豫定計畫を定むることは最も緊要な事柄であらねばならぬ。そこに地方計畫の必要が起るのであ

る、又郊村の土地賣買に對しても社會的統制を必要とする。

實際上の地方計畫

前數項の事實及理論に徵して大阪に於ける地方的計畫を如何になすべきか、茲に斷つて置くことは表題に揭げた地方計畫とは、米國・英國等に用ひられつゝあるリヂヨナルプランニングの嚴正な意味のものでなく便宜上の名であつて、前述の地方計畫及衛星都市をも合せ考ふべきもので、換言すれば町村の統制的計畫とも云ふべき意味合のものである。即ち今回の都市計畫法の改正に伴つて大阪に於ける町村を如何にして合理的發展を企圖し得るやの計畫問題に歸着するのである。

大阪も御多分にもれず過大都市の弊に陷るものなきにあらざるも、交通繁劇の程度等に至つては尙凌ぐの途がある。前記の如く自動車の交通事故に依る死傷者の統計を見ても、クリブラントの如き人口10萬に對して24.3人、市俄古の如きも19.9人であるが、大阪は之等に對しては甚だ尠く僅かに2.3人であるが、未だ都市發展膨脹の無限なるに依ては早晩英米の徹をふむなきを保せざるを以て今にして愼重な考慮洞察のもとに合理的計畫をなすにあらざれば悔を將來に殘すこととなる。

自動車に依る事故の死者は米國都市に比し少きも、大阪に於いても自動車は可なりの數に達して居り尙益々增加を示しつゝある。自動車の發達は母市大阪を中心として貨物の運搬に產業上重要な役割を演する。更に市電1ケ年の輸送乘客數を見るに3億人に近い數を示して居る、又市內中樞部に於ける1日の乘客は堺筋線140,000人南北線100,000人を算する。

自　動　車　數

	乘　用	荷積用
昭和2年	2,596	824
同　3年	3,416	1,074
同　4年	3,540	1,267
同　5年	3,658	2,029
同　6年	4,209	2,293

斯の如き過大都市の弊を除くには都市をして一定の限度に膨脹を止め其の周圍には不建築地或は農耕地を以て帶圍するを理想とする。而して又之れは都市自體の觀點からしても宜しく、地方農業經濟的觀點からしても、合理的であるが果して實際問題として行はれ得るや否や疑ひなきを得ない。今日の社會制度に於てはおそらく斯の如き方法に於て郊外の發展を抑制し得まい、であるから消極的ながら旣成都市の適當な範圍を限り、其の外周には市街化の傾向を或る程度まで抑止するの方策を取り其間相當の距離にある町村に向つて中心地を建設するの計畫を樹立して以て所謂地方計畫に依る都市の分權を實行するの外途がない、而してその連絡には街路の計畫を忘れてはならぬ。

今回都市計畫法の改正に依る町村の適用に關しては愼重な調査の結果取行はるるであらうが、先づ第一には都市機構の統制を十分に考へねばならぬは勿論、事業施行に當つての其の町村の財政上の問題も十分考慮さるべきである。其の他重要な事項は人口の問題であ

るが之れと併せて考ふべき重要な事項は都市計畫區域の問題である。

從來の法制にあつては町村にして都市計畫法の適用を受けるには是非共或る市の區域内に包含さるるを必要としたのであるが、今回法の改正の結果都市計畫區域なるものは、原則として市町村の一行政區域とせられ、町村單獨之れが適用を受け得らるるがために事實統制の必要上、市を中心として數ケ町村をして都市計畫區域たらしめんとするに當つて、町村單獨の利害問題より其の區域の決定に際しては從來なめた苦心以上に、より大なる苦心を必要とするに至ることは明瞭である。或は又町村に依つては市の都市計畫區域に包含されたがために却つて都市計畫事業の實行を遲延せしめる向もあるから此の點大に考慮すべきである。

之等の問題は町村の併合に依つて或る程度に解決され得ることであるが、町村の併合の困難は未だ抜くべからざる部落的根性が旺盛であつて、町村併合の必要性を十分有つ所と雖も其の合併問題に當つてこの根性が恐しい勢力を以て擡頭する、都市計畫區域の問題に於てすら從來吾々のなめた苦き經驗である。孤立的經濟機構の下に一町一村を經營するよりも、需給關係ある市町村は打つて一丸となり最も合理的な機構のもとにその住民の生活と經濟的利益のために進んで合併し、都市の構成上遺憾なからしむるを要する。話は横道に入つたが、内務省の方針としては既に決定した都市計畫區域内に包含されある町村にして指定の市と殆ど對等の機構及財政を有するものと雖も之等に對して單獨適用を爲さざる方針の如くであるが、此れも絶體的のものではあるまい又大都市に近接し或は其の都市計畫區域に近接する町村にして今回内務省の適用方針の資格あるものと雖も、之れを單獨に適用してよい場合と其の資格なき町村と雖其の有資格の町村と一體として計畫をなすを以て合理的なりとするものは之等の數ケ町村を包含して都市計畫區域として法の適用を爲すべきであつて必ずしも内務省の擧げたる有資格町村のみを目標として考察をなして調査を進め、其の適用を見るに於ては都市の合理的發展の統制を欠ぐ憂ひあるを免れない。故に町村の法適用問題は從來の考へ以上に極めて愼重なる調査と研究を要する問題であると謂はねばならぬ。

今次大阪府下に於ける町村に本法を適用せらるゝに當つて府現下の人口靜態を見るに昭和6年末大阪府の人口は3.634.609人全國内地人口の約18分の1を有し各府縣中第二位を占めて居る。而して人口の增加率は一年平均人口1.000に對し28.70に當る。之れ商工都市大阪の發展に依る都市の人口集中を如實に示して居る。

人口分布の狀態は大阪市が2.519.500人府下人口の6割9分3厘を占め郡部（堺市、岸和田市を含む）は1.115.109人で府下人口の3割7厘の割合に當つて居る。府下町村中人口2萬以上を有するもの4ケ町村1萬以上2萬以下のもの8ケ町村其他の228ケ町村は1萬未滿である、人口の密度は1平方粁に付き2.004人之れを全國平均1平方粁169に比すれば實に11倍8に當る、大阪市の1平方粁13.600人は紐育7.700市俄古の5.400人より

は遙かに高く巴里の 30.000 人倫敦の 14.000 人には及ばないが過密大都市たるを失はない

今大阪府下に於ける人口增加顯著なる町村を擧げれば次の通りである。

（1）　（本表は大阪府都市計畫課田中清志氏調べに依る）

郡名	町村名	國勢調査人口				備考
		大正9年	大正14年	昭和5年	年增加率(%)	
三島郡	高槻町	14,831	17,242	20,541	3.8	昭和六手合併のため增加率減ズ
	島本村	2,685	3,422	5,401	10.2	
	茨木町	5,793	7,084	8,584	4.8	
豊能	池田町	10,322	12,496	14,947	4.5	
	箕面村	4,520	6,245	8,012	7.7	
	豊中村	6,218	10,674	16,129	16.0	
	北豊島村	2,446	3,200	4,765	9.5	
泉北	鳳町	3,254	4,019	4,743	4.6	
	高石町	6,405	8,594	10,703	6.8	
	信太村	2,417	2,969	3.355	3.9	
	大津町	14,728	16,852	19,563	3.9	
	伯太村	3,770	4,941	5,517	4.6	
泉南	西信達村	2,818	4,217	4,038	4.4	
	樽井村	2,171	3,516	3,400	5.7	
	尾崎村	2,487	2,645	3,646	4.7	
南河內	高鷲村	1,935	2,362	3,341	7,3	
	藤井寺町	3,773	4,324	5,434	4.4	
	柏原町	4,714	5,810	7,255	5.5	
中河內	枚岡村	4,336	4,942	5,962	3.7	
	八尾町	8,419	9,461	11,275	3,4	
	小阪町	3,556	6,698	9,803	17.5	
	龍華村	4,709	5,802	7,815	6.6	
	久寶寺村	2,849	3,081	5,186	8.2	
	加美村	2,445	3,092	4,468	8.3	
	布施町	4,686	11,429	24,230	41.8	昭和八年高井田村合併
	長瀨村	4,935	5,451	8,394	7.0	
北河內	枚方町	4,325	5,412	6,307	4.6	
	友呂岐村	3.173	3,615	4,530	4.3	
	三郷村	2,974	4,497	6,203	10.9	

（2）　次に人口1萬以上の町村を擧げれば昭和6年末に於て

豊能郡池田町、豊中町、

泉北郡大津町、

泉南郡春木町、他に貝塚町佐野町があるが2町とも岸和田都市計畫區域内である。

中河内郡八尾町、小阪町、布施町、

三島郡高槻町がある。

（3）温泉地、海水浴場、史蹟地、遊覽地等を有するものは

南河內磯長村（春日溫泉）、彼方村（汐宮溫泉）、三日市町（三日市溫泉）、泉南郡東鳥取村（小川溫泉）がある。

海水浴場は泉北郡高石町の濱寺海水浴場が有名である。

遊覽地としては豊能郡箕面村の箕面公園、泉南郡淡輪村黒崎海岸の躑躅の名所がある。

（4）港灣の修築、工場、停車場の設置等に伴ひ市街地の造成せられんとするものは

三島郡では味生村、茨木町、富田町、古市町、高槻町、島本村、

中河內郡では布施町、八尾町、

南河內郡高鷲村、藤井寺町、

泉北郡では鳳町、高石町、踞尾村等である。

其他人口一萬に達せす人口增加率も顯著であると謂はれないが都市計畫法の適用を受けて統制的計畫の希望を有つ町村も二三ある、假令ば南河內郡長野町の如きそれである。長野町は地方的町村として交通至便國道府道の集合地で恰も前既に述べた所謂衛星都市として計畫をなすべき絶好の町なりと信する。

前揭の如く人口增加率の顯著な町村人口1萬以上の町村に對して之等を如何なる方針のもとに都市計畫法の適用を見るべきやにつき評論を試みたいが紙面の許さざる所之れを他日にゆづることとして次は地域の問題に移らう。

町村適用と地域問題

都市生活をして快適ならしむるものは、都市の自由ではなくして都市の統制でなければならぬ、都市は多くの色々の人々が其の中に集團して生活して行こうとするのであるから市民相互間に或る嚴守すべき約束がある筈である。あるべきが當然でこれなくしては都市生活の基調を保ち得るものではない、即ち住居の如き安靜を必要とするところには工場や活動寫眞館などの如きものは建ててはならない。一體工場の建つのは地價の安い所を選定して建設を試みやうとするであるから郊外に少しく住宅の建築を見るや工場が出來ると謂ふ譯である、折角住居地として開發した所でもそこの中央に大工場の建設せられては折角の計畫も水泡に歸する、然しながらそこに地域の指定を見て居ればその計畫は保護せられて工場の建つことなどは考ふるの必要なく、安心してその住宅地の發展を企圖し得る、街路の如きものは豫定計畫を樹立して置けば市街地建築物法が働いて漸進的に事業の實行なし得るが、地域問題は都市機構の大局上より觀察して指定して置くにあらざれば効をきない。地域制の目的とするところは都市生活の混亂を防止し一定の秩序ある統制の元にを都市生活を營ましめんとするものである。

故に市街地建築物法の適用に於ては緩和規定によるものと雖も地域制は何れも適用を受けることになる程都市には重要な施設である、從つて其の指定は最も愼重に取扱はるべきもので、特に町村の行政區域單獨に都市計畫法の適用を見た場合には單に其の町村1ケの問題として見ることは一考を要すべきものである。即ち1町村それ自體を地域の單位として考察するときは、其の町村が漸次發展膨脹を招來した場合に於ては收捨すべからざるも

のとなり、更に地域の再吟味をなして更正を繰返すの止むなきに至るべきは明白である。故に之等の統制を圖ることは相當の苦慮と努力とを要する。之れが衛星都市的の町村にあつては比較的指定簡單なるべしと思はれるが何れにしても都市計畫法及市街地建築物法の適用範圍と相關聯して十分檢討講究さるべき問題である。

元來地域制なるものは土地の性情に適合せる目的に從つて利用を企圖すべきものであるから、之れが不合理なる場合に於ては地域制は却て土地の發展を阻害するの結果となる。又地域を指定すべき時機は勿論未建築地に於てより有効であるが地方計畫即ち町村及母市と相關の間柄にあるものは之れ等を併せ包括して統一的考察のもとに指定さるべきものである。地方計畫に於て地域を指定する理由として、アダムス氏は次の3つを主張して居る 1 は計畫區域內に於ける自然的經濟的並に社會的條件を檢討するときは、何れの部分が特定目的のために最も適合せるかが判明するものであるが、地域の決定は即ち公共團體若くは土地所有者に對して此の最も適合せる目的に從つて利用すべきことを勸奬するものである。2 は都市の偶然なる發達殊に土地利用に關する偶然の發達を制限して其の損失を防止せんとするものである。3 は都市が發達して商工業が之に集中すると都市生活者の住居と勞務の場所とが分離せらることになつて、時間の浪費と能率を害するに至る。斯る弊害を出來得る限り減少せしめんには將來の膨脹に對して包括的計畫をなし必要を認める。故に地域を考ふるに當つては地方計畫の凡ての問題を考慮して設定せられると雖もそれにも拘らず都市は其の發達に伴つて變化するものであるから地域制も從つて絕體的に永久性を有するものは考ひられない、其の利用狀態の變化に伴つて變更すべきものであると謂ふて居る（此項復興局調査彙報第 12 號に依る）現在の既成都市に於ける地域に於てすら變更を認むべきものがあるから地方計畫所謂町村に對する地域に於てをやである。於茲アダムスの言大に味ふべきである。然しながら吾々の考ひとしては地域と云ふものは變更をなすべからざるを原則となすべきものと思ふ、之れが住民をして土地利用の不安を除き安心して諸般の施設計畫をなさしめ得る所以であるからである。蓋し町村適用と地域問題は現實的に更に考慮するの必要を認める。

結　　論

以上述べ來つたところのものは今回の都市計畫法の改正に依つて、町村に其の適用を見るに當つて直ちに其の局に當るもの及町村當局の等しく必然的に考慮研究をなすべき事項の外輪を記述したに過ぎない、之れに加へて更に市街地建築物法適用の問題に關しても、實際問題として深く講究さるべきであらうが、要するに都市計畫法の町村に適用を受くるに當つては余の考としては、大體方針として大都市の都市計畫區域に近接する町村は單獨適用をなすも統一的計畫に支障なきものの外は、過大ならざる程度に其の區域に包含し、それ等と相當の距離を有ち將來中心地となるべき町村に對しては附近數ケ町村を包括するを前提或は豫定として單獨適用をなすべきを以て合理的なりと信ずるものである。尙幾多論ずべきものがあるが他日に讓り擱筆する、甚だ不得要領に終りたるを御詫する。（終）

都市と不良住宅問題

新名種夫

1 はしがき。
2 不良住宅の意味。
3 不良住宅及不良住宅地區の發生。
4 不良住宅の發生防止。
5 不良住宅地區の改善。
6 英國の例。
7 紐育の例。
8 改善の効果。
9 結　論。

1 はしがき

住居の問題は都市に關する多くの問題の中でも最も重要なる項目の一つである。第1に衛生、第2に保安、第3に經濟の立場から考究されるべき、重要な問題である。

この問題は、現在都市に既存する非衛生的な住宅(不良住宅)の除去と、その將來に於ける發生の防止との二つの方面に分かたれる。

震災後、内務省の調査に依れば、非常に低い標準を以てして、我國に於ける不良住宅地區は100戸以上集團せるもの248箇所あり、その世帶數85.000餘世帶、居住者の人數にして400.000人を超える有樣であつた。(大正14年6月現在)

更に亦、現在建ちつつある多くの住宅も、餘り高からざる衛生的見地からしても、決して優良住宅なりと認め得ないものが少くはない。

都市計畫法の施行と共に、通路計畫の完成、交通事業の發達、シビツク・センターや美觀地區の設定等、都市の表面的外觀的體裁は日に整ひつつある今日、都市の健康を支配する住宅の問題を考へ、都市の病患部である不良住宅地區の改善を期することは、美裝よりも先づ健康を要求する人體に於けると同樣、都市に取つて最大の急務であり、都市計畫事業中の最重要項目の一つであらねばならぬ。

2 不良住宅の意味

英國の衛生省は住宅を次の如き二つの標準に依つて區別して居る。

1) 居住適合の標準

2） 居住快適の標準

前者はある住宅が住居として衛生的に何等不適當な欠陥なきことを意味する標準である。廣さに於ては所謂『最小限度住宅』であり、設備に於ては、住宅適合の衛生的最低限度を示す標準である。

後者はそれよりも一層高き標準を示すもので、或住宅が住居として不適當なる何等の缺陥を有せざるのみならず、更により高き意味に於て健康の增進と家庭生活の向上とを齎すに足る便宜と快適とを有することを意味する。

兩者の區別は換言すれば、『缺くべからざるもの』と『望ましきもの』との區別に相當する。

住宅の理想としては、言ふ迄もなく、我々は後者を標準として取扱ふべきであるが、實際問題としては、先づ前者、『居住適合の標準』を住宅の標準とし、それ以下の住宅を不良住宅と認め、全ての住宅を少くともこの標準にまで引上ぐるを以て不良住宅改善の第一課とすべきである。

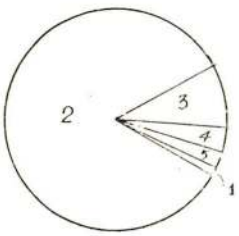
最小限度住宅の研究は、この標準線の住宅の大さを求める爲には役立つものであるが、多くの點に於て、理想的住宅の研究とは非常に相異るものであることに注意しなければならぬ。

では如何なる條件を以て、居住適合不適合の標準となすか。英國衛生省は居住適合の標準として次の如き條項を擧げて居る。

1） 甚だしき濕氣なきこと。
2） 採光通風充分なること。
3） 適當に排水設備を有し、衛生設備が備はり、汚水處置の爲め下水及流しの設備あること。
4） 一般に修繕行屆き居ること。
5） 充分なる給水設備。
6） 適當なる洗濯所。
7） 適當なる食物調理の便宜。
8） 通風充分なる食物貯藏の場所。

（上の配列の順序は大體その重要さの順序である。一つの缺點が他の缺點を伴ふ如き場合には、その缺點は更に重要さを增す）

現在我國の住宅にして、これ等の條件の全てを完全に滿足し得るものが果して幾何あるであろうか。これ等の條件の中二三を滿足せざるを以て嚴格に不良住宅と見做すならば、我國の住宅の7割以上は不良住宅の仲間入りをせねばならないであろう。從つて、現在我國に於て取扱はれて居る住宅不良の標準は、上揭の條件に比して極めて低いものなるを免れないこと勿論である。



第 1 圖

參考の爲に、愛知縣社會課が名古屋市の不良住宅地區下奥田を調査した報告が手許にあつたから次に拔萃しておく。

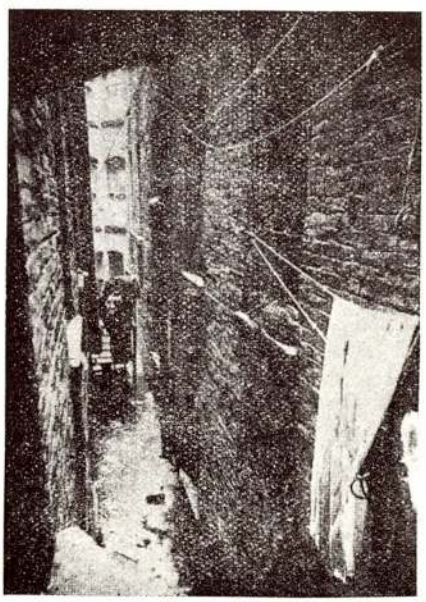
第1圖は全地區の戶數を家賃によつて分類してその數の割合を示したものであり、下表と共に不良の程度がいかに甚だしきかを示すものである。

建坪數	4坪末滿のもの28% 6坪以下のもの全てを取ると全戶數の 62.4%	1戶當平均 坪 5.667
延坪數		1戶當平均 坪 7.059
室數	1間のもの48% 2間のもの41% 3間のもの 11.6% 3間迄のものを取ると全戶數の 52.5%	1戶當平均 1.9室
疊數	6～7疊級のもの 23.2% 12疊以下のものが全體の 81.8%	1戶當 9.1疊 1人當 2.115疊
土間坪數		1戶當 坪 2.335

3 不良住宅及不良住宅地區の發生

都市の不良住宅は種々なる條件に依つて、發生增加するものであるが、次に揭ぐる四つがその主なる原因であると言はれる。

1) 住宅計畫の缺陷——敷地に比して過密なる住宅、敷地に對して過大なるブロック、狹隘なる道路、その爲に空地の缺乏、裏路地や道路に面しない路地裏住宅の發生。


第 2 圖

第2圖は新しい住宅法發布以前のニューヨークの長屋路地の一例である。ボストンにもフイラデルフイヤにもワシントンにも同じ例がいくらでもある。

第3圖、第4圖は改善以前の大阪に於ける不良住宅の實例である。

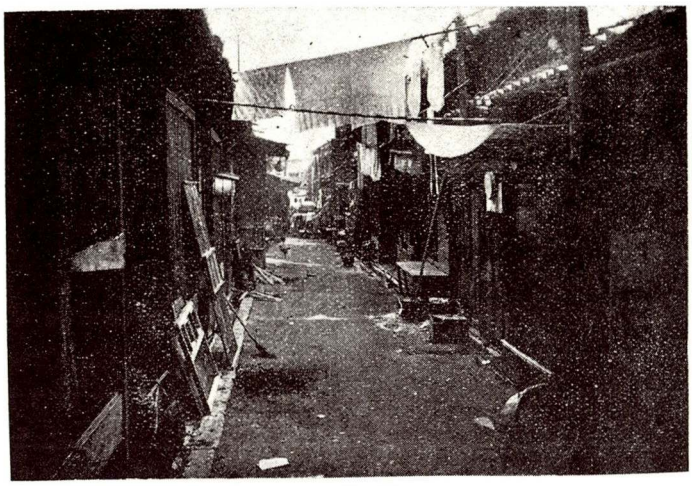
2) 住宅自體の構造の不良

3) 長期に渉る不修繕

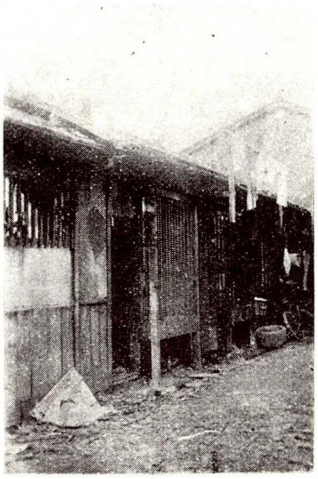
4) 一戶當居住者の過多及居住者の不潔

以上の四つの條件は、多くの場合二つ乃至全部相伴つて不良住宅發生の素因を作る。

1)及2)に對しては、借家人である居住者には責任なく、3)に關しては、家主が借家人の家賃不拂の代償として修繕を行はない場合のほか、



第 3 圖



第 4 圖

居住者の責任ではない。唯4)の場合のみ全く居住者の責任である。

だが、1) 2) 3) の如き條件を具備する如き住宅の居住者は、多くの場合、自然に4)の條件を具備し、その住宅の非衛生的性質を益々助長する傾向がある。

早くから共同住宅の發達した外國では、敷地に比して過大なブロツクを持つた共同住宅が至る所に存在し、採光換氣等の點から見て非難さるべき多くの缺點を持つて居る。例へばニユーヨークの下層街の所謂『鐵道長屋』と稱せられるものは、道路から後方の路地まで4室乃至8室分の奥行があり、採光は唯前及後の二つの部屋から行はれて居るに過ぎないと言ふが如き。

だが我國の不良住宅發生の大きな原因は、1)の一定の敷地に對して小さな住宅を無暗矢鱈に建て過ぎたことにあり、その爲に空地の缺乏、從つて採光の缺乏の上に、更に2)の構造上の缺點をも招致することになり、或は又、その様な安物の住宅なればこそその爲に廣い敷地を取ることが不經濟になり、兩々互に原因となり結果となつて不良住宅の集團を作り出すのである。更にかゝる安物の住宅なればこそ3)の條件も4)の條件も發生することになり、その住宅の非衛生的條件を益々惡化するに至るのである。このことは人間の示す心理的特質が、個々の先天的特質よりも、それ等の人々の所屬して居る社會的關係の聚積によつて特徴附けられると言ふことを知れば更によく理解せられる。

かくの如くにして、I)の條件に依る不良住宅は集團して明かに1つの不良住宅地區を構成するものであるが、2) 3) 4) 等の原因に仍つて各個に發生する不良住宅も、多くの場合、一定の區域に群落して、やはり不良住宅地區を形成することが非常に多い。

それは、地價物價その他の經濟的條件が不良住宅發生に適する様な場所は、多くの場合敷地そのものが非衛生的であり、從つて、かゝる場所にはよき住宅は建たないからである。

4 不良住宅の發生防止

都市に於ける住宅改善の目的は、次の2つの完全なる遂行に依つて達せられる。

1） 不良住宅の發生防止

2） 不良住宅地區の改善事業

1)は將來都市に於ける不良住宅の發生を防止するものであり、その爲には、政治的には嚴重なる住宅法の制定とよき住宅の安價なる大量的提供とを必要とする。

不幸にして、我國には都市計畫法中の地域制と、市街地建築物法中の建築の一般的取締とのほか、今の所特に住宅法の制定はないが、最近發令せられる筈の共同住宅取締法などは住宅法の1部と考へられないことはない。我々は近き將來に於て、1戸建住宅にも亦、住宅法の制定せられんことを要望するものである。

2)は都市に現存せる不良住宅の改善掃蕩である。個々に散在せる不良住宅に就いては、我國現行法規では今の所何とも手の下し様がないが、不良住宅地區に對しては、都市計畫事業と相俟つて、各公共團體に於て微溫的ながら、次第に掃蕩改善の實が擧げられつゝある。

5 不良住宅地區の改善

不良住宅地區は都市の掃き溜である。近き例を大阪の釜ガ崎に見るがいゝ。それは都會に於ける不健康と不道德との醱酵所である。この地區の淨化なくして都市の健全な發達は期し難く、この地區の掃蕩なくんば都市計畫は單なる表面的粉飾に終るであらう。歐洲の各國が都市計畫の施行と關聯して、早くより不良住宅地區の改善を行つて來たことは、誠に故ありと言ふべきである。

我國に於ける不良住宅地區は、前に述べたる如く、大正14年6月現在に於て、100戸以上集團せるもの248箇所あり、その世帶數は85.000餘を超える有樣であつた。(これ等の地區の非衛生な狀態は、「建築と社會」本年5月號、富士岡氏の南日東町住宅の記事中に代表的に詳述されて居るから參照され度し。)

これ等の不良住宅地區の改善は、我國では國庫補助の下に、內務省監督の下に、社會事業の1部として多くの公共團體に依つて行はれ、我大阪に於ても大正15年より調査を開始し、豫算800萬圓6箇年繼續事業として、今日までに今宮、下寺町、桃ノ木裏、畑的裏の4箇所728世帶分の改造を行つたが、土地買收の遲延其他の爲、6年の經過した今日尙、漸く事業の半を終へたるに過ぎない狀態に就き、更に期間を延長して、本年より更に6箇年の繼續事業として、殘餘の計畫を遂行することになつて居る。

不良住宅地區改善の方法に2つある。1はその地區の1部又は全部の居住者を別に計畫された他の住居地に移し、その移轉の後に出來た空地は商業その他、その土地に適した目的の爲に賣却使用せしめる方法であり、今1つはその地區全體を買收し、一旦舊建物を掃蕩した上、新しい道路計畫とより廣い空地とを持つて、構造上にも設備上にも完全なる住宅をその場所に再建する方法である。

現在我國の各都市で採用されて居る方法は後者であるが、居住者は豫め附近に設けた假住宅に收容し、改善計畫完成の後、更めて前住の住宅と同程度の家賃にて前居住者達に貸し與へるのである。

この場合、居住者の職業を十分に調査して、改造後の住宅に彼等が復歸した後も、從前の仕事に從事するに不便なからしめるに足る設備をしなければならぬのは勿論である。

大阪に於ける不良住宅地區居住者の職業別は大略次の如くである。

日稼人夫、職工、工夫手傳……46.8%
下駄傘の修繕、屑屋、緣日商人、仲居、遊藝稼人、鍼按業……28,8%
店舖或は軒下商ひ……7.6%
靴下駄紙箱等の家內工業及手內職……5.8%
下給會社員、店員、巡査、車掌、船員、金貸、仲買、其他雜業……1.8%
定職を有せざるもの及失業者……5.3%

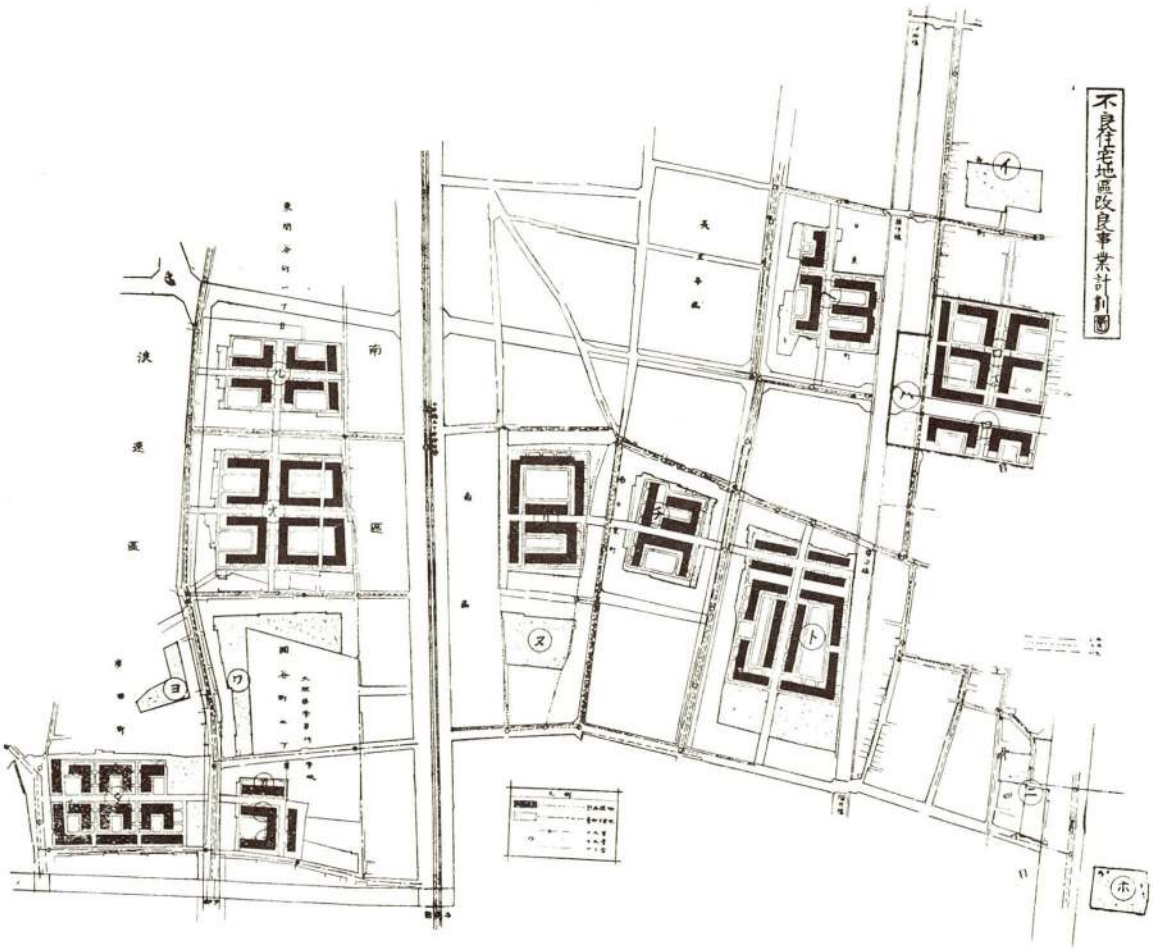
これ等に適當なる店舖、仕事場、物置等の設備を豫め計畫しておくことが肝要である。

東京市及橫濱市に於ては、震災後、財團法人同潤會が此事業に大きな足跡を殘して居るが、その他の各都市に於ても、市又は府等の公共團體の手に依つて、着々その事業が進められて居る。

多くは木造平家建又は2階建の不良住宅を、主として鐵筋コンクリート造3階建（稀に2階建又は4階建）の集合住宅、1戶當坪數10坪前後(大阪のものは平均8坪25)のものを建設し、空地の增加と構造及設備の改良とを計つて居る。

次の表は我國に於ける不良住宅改造事業の成果の1部を示したものであり、第5圖、第6圖、第7圖は大阪に於ける不良住宅地區改良計畫案と、改善されたる住宅群の1例である。

都市及改善住宅の名稱	所在地	經營者	開設年	構造	戶數
東京市					
西巢鴨共同住宅	西巢鴨町	府	昭5	三階アパート	100
三河島共同住宅	三河島町	府	昭5	三階アパート	99
同潤會大工町住宅	深川區東大工町	同潤會	昭2	鐵筋アパート	650
同潤會猿江共同住宅	深川區猿江裏町	同潤會	昭2	鐵筋アパート	293
大阪市					
下寺町住宅	天王寺區下寺町	市	昭5	鐵筋アパート	195
今宮町住宅	西成區東入船町	市	昭4	鐵筋アパート	78
桃ノ木裏住宅	天王寺區北日東町	市	昭6	鐵筋アパート	195
烟的裏住宅	天王寺區南日東町	市	昭7	鐵筋アパート	260
名古屋市					
下奥田住宅	中區新榮町	愛知縣社會事業協會	大6	平家一戶	1
				平長家	79
				二階一戶	3
				二階長家	162
				二階アパート	202
神戶市					
新川改良住宅	眞砂通二丁目	市	昭8	鐵筋三階アパート	166



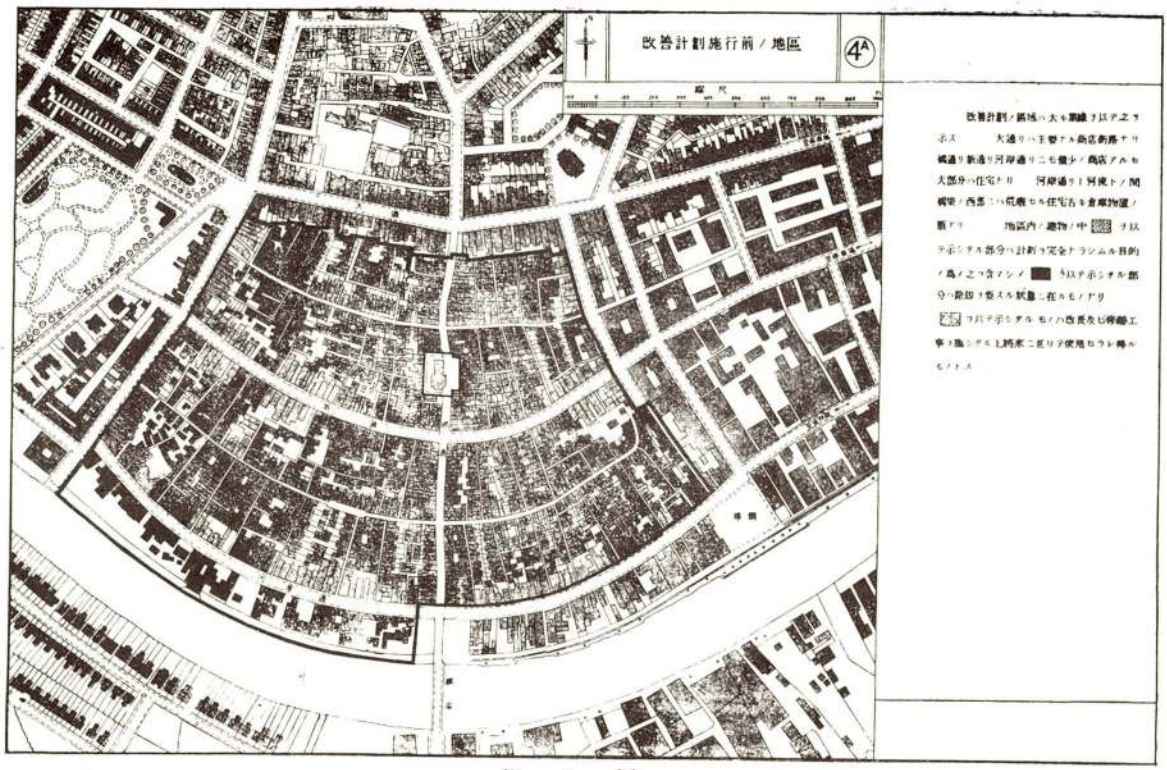
第 5 圖



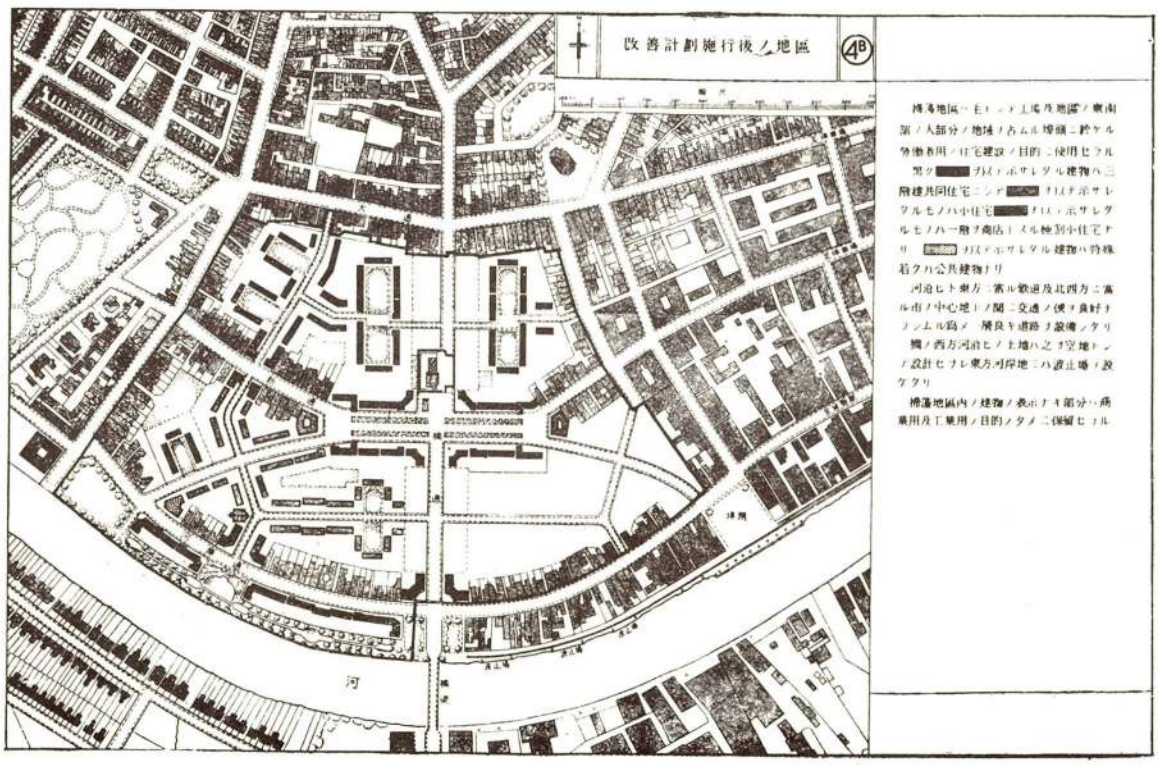
第 6 圖



第 7 圖



第 8 圖



第 9 圖

6 英　國　の　例

ロンドンに於ては、大戰前35箇所、97½英町、46,000人を含む不良住宅地區の改善が行はれ、それに要した費用は2,393,000封度と稱せられて居る。

更に戰後23箇所、98英町の改善が行はれ、改善及道路計畫に要した工費は1,259,250封度である。

戰前の場合は、政府の補助金なしに全くロンドン市當局の手で行はれたが、戰後の場合は、一部國庫の補助を受けて居る。

第8圖及第9圖は英國に於ける不良住宅改善事業の一例として掲げたもので、改善前後の地區の比較を示すものである。

7 紐　育　の　例

歐洲諸國と異り、米國の各都市共最近まで不良住宅改善事業として、大規模に行はれたものは殆んどなかつた。それは米國の各都市が、何れも最近に發達したものであり、歐洲の古い都市の如く、構造設備共に數世紀前の儘である様な非衛生的住宅が比較的少ないのにも依るが、一つは米國では、都市計畫事業と住宅計畫とが、歐洲各國のそれの如く互に聯關して行はれず、唯地域制の點で多くの接觸を保つだけで、兩者が別々に平行に行はれて居た爲である。

所が 1928 年の春、紐育の善隣住宅協會は、その住宅委員會の大略次の如き報告を採用した。即ち、

『永久的な都市計畫委員會は、住居問題をもその重要問題の一つとして考へることを委任されて設立されなければならぬ。

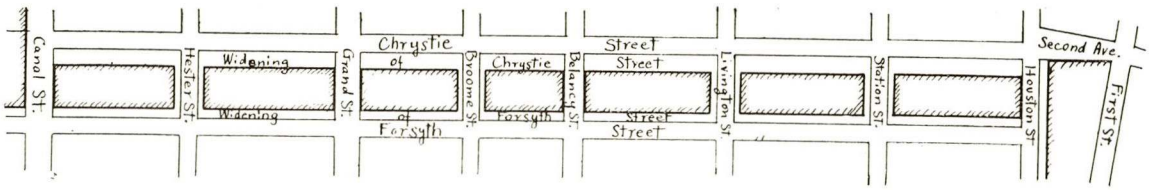
不良住宅改善事業は都市計畫の一部に含まるべく、而も都市計畫上の他の大きな問題と同様に、徐々に遂行されねばならぬものである。

不良住宅に依つて失はれる生命の數は簡單には計算出來ないとは言へ、それは、例へば交通路の平面交叉除去の問題などより遙かに重大な問題である。』

以上と殆んど同時に、1928年6月にはメイヤー・ウォーカー氏に依つて率られて居る計畫及測量に關する委員會に屬する住宅委員會は、次の如き報告を發表した。

『住宅問題に就いて、今日までこの國に於て最も閑却されて居り、そして多分最も緊急を要する問題は、不良住宅地區改善事業である。(中略)

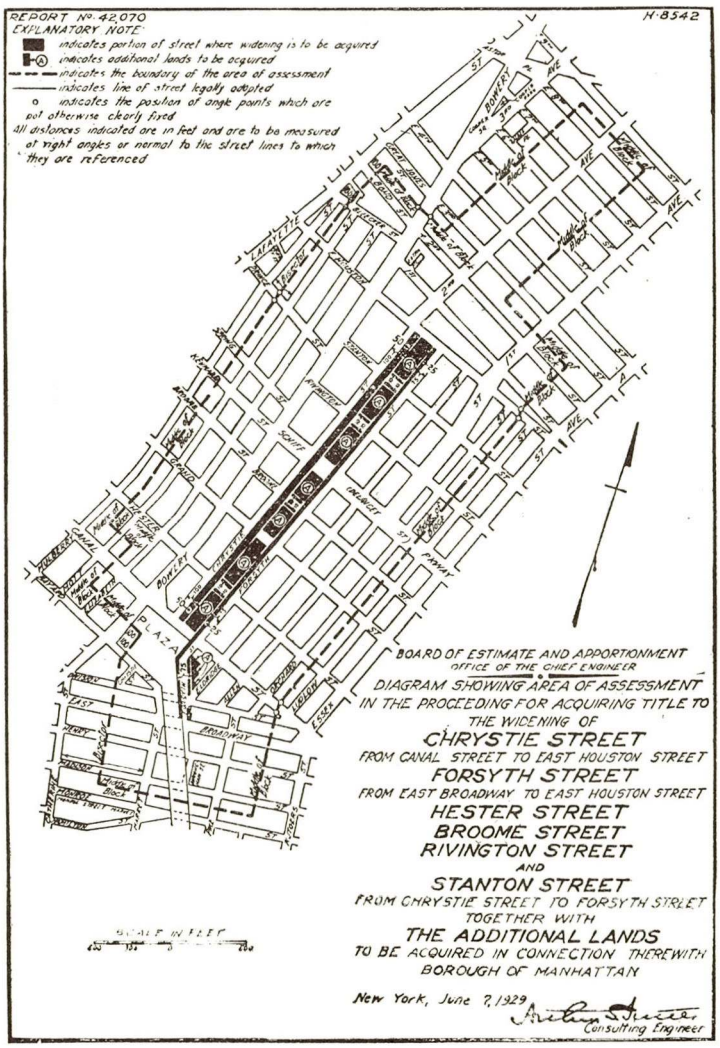
不良住宅の改造は、先づ適當な組織を持つた權威者達の調査に依つて、1)その地區が非衛生的であるか、或は2)輿論がその除去を要望して居る様な地區であるか等を確めた後これを行ふべきである。不良住宅改造事業を大規模に行はんとする場合には、その目的の爲に特別の機關が設けられることが必要である。(中略)その機關は亦その土地を全部賣却すべきか、或は又、一部分新しい住宅計畫の爲に貸すべきか、そして又、それ等を如何なる條件でなすべきかを決定しなければならぬ。且又、この計畫に要する費用が、部分的に何



第 10 圖

の程度まで、その計畫の爲に利益を受くる土地に對する賦課に依つて支辨せられるか、及び、何の範圍までの土地がこの計畫に依つて利益を受くるかと言ふこともこの機關にて決定さるべきである』と。

かくの如くにして、最近紐育では不良住宅改造事業は急激なる進捗を示し、大陸のこの



第 11 圖

方面の經驗を參照しつつ相當な結果を收めつつある。

第10圖及第11圖は道路を擴張して改善された、紐育クリステイ街及フオルサイス街に挾まれた地區の例である。

8 改善の効果

我國に於ては改造事業施行後日尙淺く改善された住宅へ收容された前居住者が衞生上道德上如何に向上したかと言ふ調査は未だ出來て居ないが、この事業に古い歷史を有する英國の例を見るに、改造の前後を比較して、居住者の健康及生活態度に於て非常な向上を示したことが報告されて居る。

リバプール市の統計に依れば、死亡率及罹病率は改善後半減し、犯罪數に表はれる非社會的生活態度は著しく減少したと傳へられて居る。

グラスゴウの報告も、居住者の九割までが改善された新しい環境に滿足して居ると言ふことである。この事業に對する公共團體の負擔から言つても、彼等の健康及道德の向上の爲に、施療病院や救護所や感化院や方面委員等に對する費用の減少に依つて、この事業の費用を補つて餘あると言ふことである。

改善後のロンドンに於ても同じことが報告されて居る。

9 結　　論

不良住宅改善事業の前途は尙遼遠である。國庫補助に依つて各都市に此の事業が行はれ始めてから既に數年を經過して居る。各都市共夫々相當の成績をあげつつありとは言へ、既存の地區改善計畫の完成したるもの、かの大正14年內務省調査の箇所數の半に達するにも尙遠い狀態である。

更に不良住宅の標準を、英國衞生省の『居住適合の標準』に達せざるまでも、今少しく嚴にすれば、我國に於ける改善すべき住宅地區はまだ夥しい數に上ることであらう。

我々は都市計畫事業の一部として、都市の道路、交通、防火、防空等保安上の諸問題と同樣の重要さを以て、衞生的見地から、密集地帶の排除、適當なる空地の設定、美觀地區の問題等と聯關して、不良住宅地區改善事業を都市計畫の重要なる一部門として取扱ふべきだとなすものである。　　（終）

大阪都制の問題

小川市太郎

1. 廿餘年來の懸案

大阪都制案即ち大阪特別市制案が初めて帝國議會の議に上つたのは、明治 44 年のことであつて、今日まで 22 年を經過して居る。而してその後私共は市政關係の人々と、大阪特別市制既成同盟會なるものを組織し、年々政府と議會に向つて、猛烈に運動を繼續し來つたのであるが、未だその目的を達することの出來ないのは、遺憾千萬のことである。しかし都制の實施如何は、大阪市政の根底に横はる大問題であるから、吾等市民は萬難を排して、これが實現に努力しなくてはならぬ。然らば大阪都制とは何であるか。吾等は之に依つて何を求めんとするのであるかといふに、それには二つの主張がある。その1は二重監督の廢止であり、その2は二重行政の統一である。

2. 二重監督の撤廢

現行法に依ると、市は第一次に府縣知事之を監督し、第二次に內務大臣之を監督することになつて居る爲めに、大阪市の如き人口二百五十萬の世界的大都市も、人口僅か三萬か五萬の小都市と同樣、政府の二重監督に服しなくてはならぬ。しかしこの制度の不條理極まるものであることは論ずるまでもない。

(1) 中小の都市では事業の分量も種類も少なく、そのうへに大事業ともいふべきものは、殆んどないから、中央政府と交涉を要することは甚だ稀である。それ故に二重監督の下に置かれても、大して煩はしいことはない。然るに大阪市の如き大都市になると築港、電車、電燈、上下水道、地下鐵道、都市計畫その他多くの大事業を經營して居るために、要認可事項が非常に多い。そして此等の事業に關して、主務大臣の認可を受くるに當つては、市の認可書は先づ府廳に差出され、府知事の副申によつて主務省に進達せられるのであるから、その間非常に手數と時間を要することになる。これが爲めに著しく仕事の遲れるのは云ふまでもない。

(2) 中小の都市には可然技術家もなく、各般の經營施設に於ても、遙に府縣廳より劣つて居る。それ故に中小の都市に於ては府縣廳の指導監督を仰ぐのを却て便宜とすることが多い。しかるに六大都市の如き場合には、市長は大抵知事級以上の人物であり、その下僚にも府縣廳などより優れた多くの專門家が居り、また行政各部に亘つて仕事の手がよく揃つて居るから、何も府縣廳あたりの厄介になることはない。府縣廳の監督は仕事の邪魔になるだけのことである。

(3) 中小の都市では財政が許さぬところから、中等學校や公園は大抵府縣廳で經營して居る。しかるに大都市となると、經濟も府縣より大きく、自力で何でもやつて行けるから、何も府縣廳に依頼する必要がない。府縣と市が同じ事業を經營する結果、無益の競爭を惹起するまでのことである。

(4) 殊に現行制度の下に於ては、體面利害その他の關係から、府縣當局と大都市當局との間に感情の衝突を來すのは、免るべからざることである。

(5) 我國の大都市の執行する事務のうちには、國政事務が大部分を占めて居る。しかるに之を執行するに當つて市長は適當の權限を有せず、一々府縣知事の指揮を仰がなくてはならぬ爲め、執務上支障を來すことが多い。

之を要するに、現行の二重監督の制度は徒らに官僚の老婆的干渉心を助長せしめ、大都市の行政を澁滯梗塞せしめるだけのことで、市に取つて何の益もない。それ故に大都市をして現在の沈退爲すなき狀態から脫せしめんとすれば、先づこの惡制度を打破しなくてはならぬ。

3. 二重行政の統一

次に大阪都制を必要とする第2の理由は、二重行政の統一である。今日六大都市内には、府縣と市が對立して居る爲めに、其處にいろいろ無理な行政の重複と無益な事業の競爭が行はれることになる。例へば道路である。六大都市では市長は道路の管理權を有して居るが、交通の取締に關する事項は府縣知事の權限に屬して居る爲めに、市長の管理權なるものは有名無實に終り、市長は自己の管理する道路上に、市營の乘合自動車を運轉し得ざるの奇觀を演ずることになる。かゝることで如何にして交通の統制が保たれやう。都市計畫亦然りであつて、都市計畫事業は市長の執行するところであるが、市街地建築物法の施行は、府縣知事の權限に屬する爲めに、事業上の統制を期し難い場合が多い。

然しそれは尙ほ可なりとして、大阪市の如きに於ては、府市對立の結果、行政機關と行政事務の重複錯綜を來たし、無益の競爭と抗爭を誘發しつゝあるのは、憂ふべきことである。かくして例へば市が市廳舍を新築すれば、府も亦府廳舍を新築する。市が職工學校を建てれば、府も亦同種の學校を建てる。市が公園を設ければ、府も亦公園を設ける。市が都市計畫を行へば、府も亦十本の放射線道路に手を出す。市が產業奬勵館を造れば、府は所得稅の附加稅を增してまでも、工業奬勵館を造る。市が乳兒院を經營すれば、府も亦之に對抗して保嬰館を經營するといふ風に、盛に無用の競爭を續けて居る。その結果不急の事業を起して行政の統一聯絡を破り、人件費と設備費に於て、何れほど二重に無駄な費用を使つて居るか知れない。そうしてその金は何處から出るかといへば、それは無論市民の頭にかゝつて來るのである。市民こそ迷惑至極のことである。それであるから大阪市にして府から獨立し、いま府知事が市内に於て行つて居る事務を市に引繼ぐことにしたならば、どれほど事務の能率を擧げ、經費を節約することになるか知れない。大阪都制は實にこの

行政統一の目的を達せんとするものである。

4. 解決難の理由

然らば何故にかゝる緊急にして重大なる問題が、長い歳月を經過して今日まで解決せられないかといふに、それには次の如き理由がある。

(1) 趣旨が徹底し難い政治問題か勞働問題であると、直ぐに人氣は引立つが、特別市制の問題は、法律制度の改正の問題である爲め、地味でその趣旨が一般に徹底し難い。

(2) 官吏の監督癖。大阪都制實施の結果、大阪府は一等縣たる地位を失ふことになるから、府の官吏は之を悦ばないのは勿論、中央政府でも、都制の實施は特權の喪失の如く考へて居るものが多いから、この問題に對して内務省は好意を有たない。

(3) 郡部の反對。現在に於ては大阪市が郡部と一緒に府に屬して居る爲めに、郡部は事實稅金に於て市から1年に240萬圓乃至280萬圓の補助を受けて居る形になつてゐる。從つて大阪市が府から獨立することになれば、それだけ郡部の負擔が增さゞるを得ない。郡部の議員が極力大阪都制に反對するのは之れが爲めである。

(4) 東京都制の問題。併し大阪都制の實施に對する最大の障害は、東京都制の問題である。現在我國の都市中、都制の實施について、最も適當の條件を具備するものは、大阪市である。たゞ政府の方針として、帝都たる東京市を差措いて他の都市に都制を許さぬことになつて居るから、大阪市はその後にくつゝいて癈痺を切らして居る始末である。

5. 之が解決策如何

以上は大阪都制解決難の理由であるが、(1) 併し今日となつては、多年の運動と宣傳の結果として、都制實施の必要は餘程一般市民の間に理解せらるゝことになつたやうであるから、この方面の障害は、多く顧慮するに足らない。(2) 次は官吏側の反對であるが、之れも政黨の力を以てすれば、それを壓伏するに難いことがあるまい。(3) 第3は郡部の反對であるが、これは要するに負擔の問題であるから、大阪市は從來郡部の爲めに背負つて居つただけのものを補助する覺悟ならば、郡部の諒解を得ることが、强ち至難であるまい。たゞ厄介なのは東京市である。各方面からの運動の結果、政府は遂に六十四議會に東京都制案を提出したので、大阪都制の前途に曙光を認めたものとして、吾等は心から之れが通過を祈つたのである。しかるに都長の官選と公選が問題となり、それが遂に握潰の運命に遇たのは、重ね重ね惜しむべきことである。大阪市から見れば、東京都制が中途で停頓して居るのは、電車線路に馬が倒れたやうなもので、之を起さない限り吾れ吾れの目的を達することは出來ない。從つて大阪都制の爲には、先づ東京都制の問題を取形づけることに努力しなくてはならぬ。而して東京都制の難關は都長の問題にありとすれば、先づこの問題から解決しなくてはならぬ。何人が考へても、今時政府案のやうに都長を官選にせんとする如きは、時代錯誤の甚しきものである。併し東京市が帝都である關係上且つは東京市政の亂脈は民選市長の存置を許さず、どうあつても背後に官權のバツクのある强き市長を必

要とするといふのならば、暫定的に官選の都長を置くのも亦已むを得ないことである。そこで吾等の取るべき途は、六大都市合同して政府に迫り、東京市の民選都長に同意せしむるか、それとも東京市を動かして、官選都長の都制案を承諾せしむるのほかないのである。併し政府をして民選都長の東京都制案を提出せしむるのは、恐らく不可能であらう」従つて殘された一の方法は、いやでも東京市に官選都長の都制を實施せしむることである。政府が六十四議會に東京都制案を提出する當時においても、市關係の人々の間には、現時の狀態では官選都長亦已むを得すとの氣運が、大分濃厚になつて居つたのであるが、東京市政調査會あたりの反對の爲めに、それが打ち壞されたのであるから、遣りやう次第では官選都長の東京都制の實現必すしも難しとしない。理論上からいへば都長官選の擁護する餘地は毫もないのである。併しながら東京市政の現狀から見れば、飽まで都長官選に反對する理由はまだないやうに思はれる。そこでたとひ官選の都長であつても、早く都制を實施して、行政の統一と整理改革を行ふのが、東京市のためにも賢明且つ有利な策ではあるまいか。東京市の都制にして實現せられた曉には、大阪市にも都制が施かれることになるのであるから、大阪市の立場としては無理にもかくあらんことを望まざるを得ない。但し大阪市は東京市とは全然事情を異にするから、大阪の都制は民選都長の都制であることは勿論である。

6. 地域の問題

東京市では最近まで接近町村の編入が行はれなかつた爲めに、都制を實施するについても、地域に關していろいろ厄介な問題が起つた。即ち (1)東京都の區域は從來の儘にすべきか (2)或は近郊町村までも入るべきか (3)都市計畫の區域によるべきか (4)それとも三多摩までも入れて府の全區域とすべきか等の問題を生じたのである。しかし東京市の地域には政治問題が關聯して居るので、始末に終へず、政府が議會に出した東京都制案では、東京府全體を都制の施行區域と爲した。かくして人口 200 萬の東京市は一躍して人口 500 萬を有する大東京市となつたが、その結果東京市內には區の外に市町村があり島嶼があるといふ奇觀を現するに至つた。如何に窮餘の策とはいへ、隨分無茶苦茶な話である。之に反して大阪市の地域はカツチリ纏つて居るから、現在の地域に都制を施したところで、少しも無理な所はない。

7. 殘存郡部の處分

都制の實施に際して次に起る問題は、大都市が府縣から獨立した場合に、殘存郡部の始末を如何にするかの問題である。即ち負擔力の大なる大都市を府縣から引拔いて了ふと、殘存郡分が財政的に立行なくなるから、それを如何するかといふ問題が當然起つて來る。六大都市の所在府縣にはそういふのがあるらしい。しかし大阪府などの場合には毫もそんな心配がない。大阪府から大阪市を除けたところで、殘存郡部が立派に中以上の縣として立つて行けるのは、次の數字によつても之を知ることが出來やう。

8. 警察權の問題

次は警察權の問題である。大阪市その他に都制が施かれると、知事も警察部長もなくなるから、その場合に何人が市内の警察權を行ふかといふのである。之に關しては色々の案もあるが、私の考としては (1)大阪市に都制を施いた曉には、先づ大阪都に警視廳を置いて司法警察と政治警察はそれに委かせる (2)そして之と同時に建築警察、衛生警察、交通警察、消防警察の如きものは、市長をして行はしむることゝしたなら可からうと思ふ。由來大都市の警察に關しては、學者の意見も區々に岐れて居り、各國の制度も一定してゐない。一方急進論者は保安警察たると、司法警察たると、行政警察たるとを問はず、すべて之を市長の手に統一し、內務大臣監督の下に、市長をして之を管掌せしむべしと主張するに對して、他方守舊論者は民選の市長に警察權を與ふるのは危險であり、不安であるから、警察權は飽まで之を官の手に保留しなくてはならぬとの意見を有して居る。しからば二者何れが當を得たものであらうか。私の見る所を以てすれば、急進論者の說は恐らくよく時代の要求に適し、且つ最もデモクラシーの思想に合するものであらう。しかしながら實際問題として、我國の現狀から斯の如きは、不可能のことである。民選市長の都制案に反對する政府が、何で民選の市長にかゝる廣汎な警察權を與へる筈があらう。それ故に吾等は目下の場合力を要する警察は、官の所管に置いて滿足するのほかない。たゞ併し力を要せざる警察例へば建築、衛生、交通、消防等に關するものは、之を市長の手に移すも何の差支があらう。政府筋や貴族院あたりには、市長に警察權を與ふるのは、危險且つ不安であるといふ如き考を有つて居る人は多いが、それは因襲に囚はれたる時代遲れの謬見である。今日官の警察官にも隨分危險なのがあるではないか。民間の警察だから危險で官の警察だから危險でないといふ理由は何處にあらう。不安の意味はよく判らないが、罰則を定むる權限さへ與へたならば、市長が行政警察を行ふに何の不安があらう。大掃除に警察官が劍をつつて民家を廻つて歩く必要は何處にもないのである。それよりも吾等は他の方面において官の警察に大なる不安を感ずるのである。それは我國では官が警察權を獨占して、何も彼も自分で行うとする所から、結局手が廻らず、肝腎の司法警察がお留守になることである。近年我國の大都市警察の成績の甚しく不良なのは、全くこの獨占主義の結果にほかならない。それ故に行政警察の如きものは、之を市長の掌管に移し、官の警察をして司法警察と政治警察に力を集注せしむることにしたならば、どれほど警察の能率が上るか知れぬ。吾等はこの意味において一部警察權の市長移管を主張するものである。　　(終)

府縣比較表

	人口	財政	
		國稅	府縣稅
大阪府(大阪市を除く)	1.086,420	14,071千円	3,010千円
奈良縣	596,220	4,939	2,376
和歌山縣	839,734	6,101	3,803
滋賀縣	476,631	8,373	3,725
香川縣	932,818	4,673	3,253
佐賀縣	691,452	6,336	3,137
鳥取縣	489,267	3,314	2,064

(備考)

人口は昭和五年十月一日現在內閣統計局國勢調査速報により、財政は各府縣統計書(奈良香川二縣は昭和二年、他は同三年)による

海港都市神戸の片貌

宮本長治

1

津の國の西南隅、六甲連峯の山裾に茅渟の海を抱いて、東西に細長く横はる近代的海港都市神戸—港の突堤には數萬噸級の大船巨舶が横付けにされ、沖がゝりの船に行きかふ輕快なランチや荷役艀の忙しさ、沿岸には大袈裟な圖體を並べる工場倉庫から洩れて來るクレーンやハンマーの響、街の中央を東西に帶のやうに縱貫する省線高架鐵道から、濱側には林立する商館事務所の古い新しい洋風建築、山手には背山の綠をバツクにして洋館まじりに順ぐり麓をせり上る住宅街、市中を縱横に走る市電、郊外電車に劣らじと忙しさうに警笛を鳴して驅け廻るタクシーやバスやトラツク、1萬に近い在留外人と毎年一萬三四千に上る外國船客を迎へて、街に漂ふエキゾテイツクな情緒豊かに彌榮え行く商工業の大神戸は80萬市民のいぶきに明け暮れて、工産年額233.667.000圓(昭和6年)、貿易額に於ては數年來全國第1位に居り、輸出入合計1.034.950.000圓實にわが國貿易總額の36パーセントを占めて居る、試に茲兩三年に於ける帝國の港別外國貿易を見れば次表の如くである。

帝國の港別貿易　(内閣統計局編纂の列國國勢要覽による)

	昭和七年	昭和六年	昭和五年
總額	2,841,453千圓	2,382,656	3,015,903
神戸	1,034,950 (36%)	866,752	1,086,821
横濱	756.017 (27%)	676,299	842,676
大阪	602,200 (21%)	434,750	530,664
名古屋	134,012 (5%)	102,910	119,157

誠に神戸こそはわが國々際通商の門戸をなし國際海港都市として輝かしい存在といふべきであらう。

神戸港の生立は遠く上古に遡るが、近代的國際海港都市としての發達の芽生は兵庫開港の頃に始まると言つてよい。

市の一部である兵庫は上古既に船舶出入の要津であつたことは古史に傳はる。治承年間福原遷都の福原はこの一帶の他であつて之が爲兵庫は一層の繁榮を遂げたらしいが、壽永延元の兵亂により盛衰幾變轉、忠臣楠公が千古不朽の名を湊川に止めてから戰國の世に至るまで兵庫の發達に特筆すべきものを持たない。天正年間豊臣氏の大阪築城以來諸國廻漕

の船舶この港に往來するもの繁く百貨輻輳の地となり、德川氏中葉に至つて益々繁昌を來し、天明年間には人口約2萬、町數40餘を算し、爾來物貨の集散地として關西に於ける重要都市たるの地位を保つて來た。

他の一部である神戸は維新前には單に中國街道に沿ふ一漁村に過ぎなかつたが慶應3年兵庫開港と共に外國人の居留地を設けらるゝに及んで附近の村落と共に稍市街化し、明治元年神戸町と改稱、港を神戸港と稱するに至つた。明治12年には兵庫及坂本村を合併して神戸區となり、同22年市制實施に依り葺合、荒田の二村を合併して神戸市となつたが、その後新興日本の進運と共に產業に貿易に海運に飛躍をつゞけ次第に近郊を併合し、昭和4年4月武庫郡西灘村、西郷町、六甲村(西平野を除く)の三町村の併合を最後として町村數合計1527を算へ、昭和6年9月から區制を實施して灘、葺合、神戸、湊東、湊、湊西(昭和8年1月から兵庫と改稱)、林田、須磨の八區を設け、今や面積83方粁、人口80萬の近代的商工業都市大神戸を現出するに至つた。

かやうな目覺ましい飛躍的發展は固より海陸交通の要衝に當る海港都市としてゞあつて天惠的地勢の利と人工の精とに育てあげられた港が齎した賜であると言つてよい。神戸港は港內水深く地形上良港たるの素質に惠まれて居るのを利用し、その港灣施設は明治40年に起工されたもので、第一期修築工事として四大突堤及陸上諸設備が竣成し、面目を一新したが、時勢の急激な進展につれ更に第2期修築工事として兵庫地先に於ける內國貿易の設備、濱邊通及海岸通地先に於ける外國貿易に對し數個の繫船突堤及沿岸整理が大正8年から十箇年繼續事業として起工され、今やその完成の途上にあり、その埋立總面積は約56萬7千方米である。

港灣の施設及利用に付いては輓近の內外貿易の狀勢に鑑み、旣定計畫を以て足れりとせず、最近新聞紙の傳ふる所に依れば、港の振興策に關し、過日官民合同の『神戸港振興調査會』が設置され、調査研究の題目を次のやうに決定し、夫々委員に附託して調査を進めることゝなつた模樣である。

研究題目

A　港灣設備に關する件

B　港灣利用に關する件

C　產業貿易の振興に關する件

之を以て如何に神戸がその港に將來の運命を託し、その振興策に腐心して居るかを窺ひ得るが、港灣設備に付いては更に第3期修築工事を必要とするものゝやうである。

昭和5年に於ける入港船舶數は內航外航の計約23.900隻、このうち外國船は約1.250隻、又同年に於ける內航外航の乘降客計約100萬人、外國船客の上陸13,521人で、その內譯は滿洲國及中華民國8.717人を首位とし、米國2.229人、英國1.524人、獨逸213人、印度124人、佛國111人、露國104人の順位であつて、この順位が毎年大體變らぬのも面白い。

2

海港都市神戸の片貌はまさしく國際的觀光都市であると言へる。外人來往の表玄關たる神戸は北に六甲、摩耶、再度、鷹取、鐵拐の翠巒を負ひ、南に深碧の茅渟の海をうけて、氣候溫順、風光明媚、近く遠く淡路の島影や紀泉の山々を臨む景色も得難い風情であるし更に史實を探れば遠くは神功皇后の古から福原遷都、源平合戰、楠公奮戰の史蹟を始め、近くは兵庫開港前後に於ける幾多の古跡名勝地が近代の各種施設と相俟つて、朗かに昔床しい夢の跡を偲ぶよすがともならう。中にも最清新なそして大衆的な而もモダーン味豊かな魅力を持つものは何と言つてもあの市背に迫る六甲連山の大自然であらう。茲數年來背山一帶の地は急激に開發利用され、その一部には所謂山地の市街化も實現されるに至り、登山者も年々激增し四時その踵を絶たない實情である。今その一二に付いて開發の概況を見れば

六甲山　標高800～932米、連峯中の最高峯、眺望雄大、四季の景觀に富む理想的山上公園でゴルフ、スキー、スケート等の運動施設の外休憩所、キヤンピング、ホテル、食堂郵便局等の設備もあり、登山にはロープウエー、ケーブルカー、自動車の便がある。尙有馬溫泉、寶塚溫泉へも自動車で通ずる。

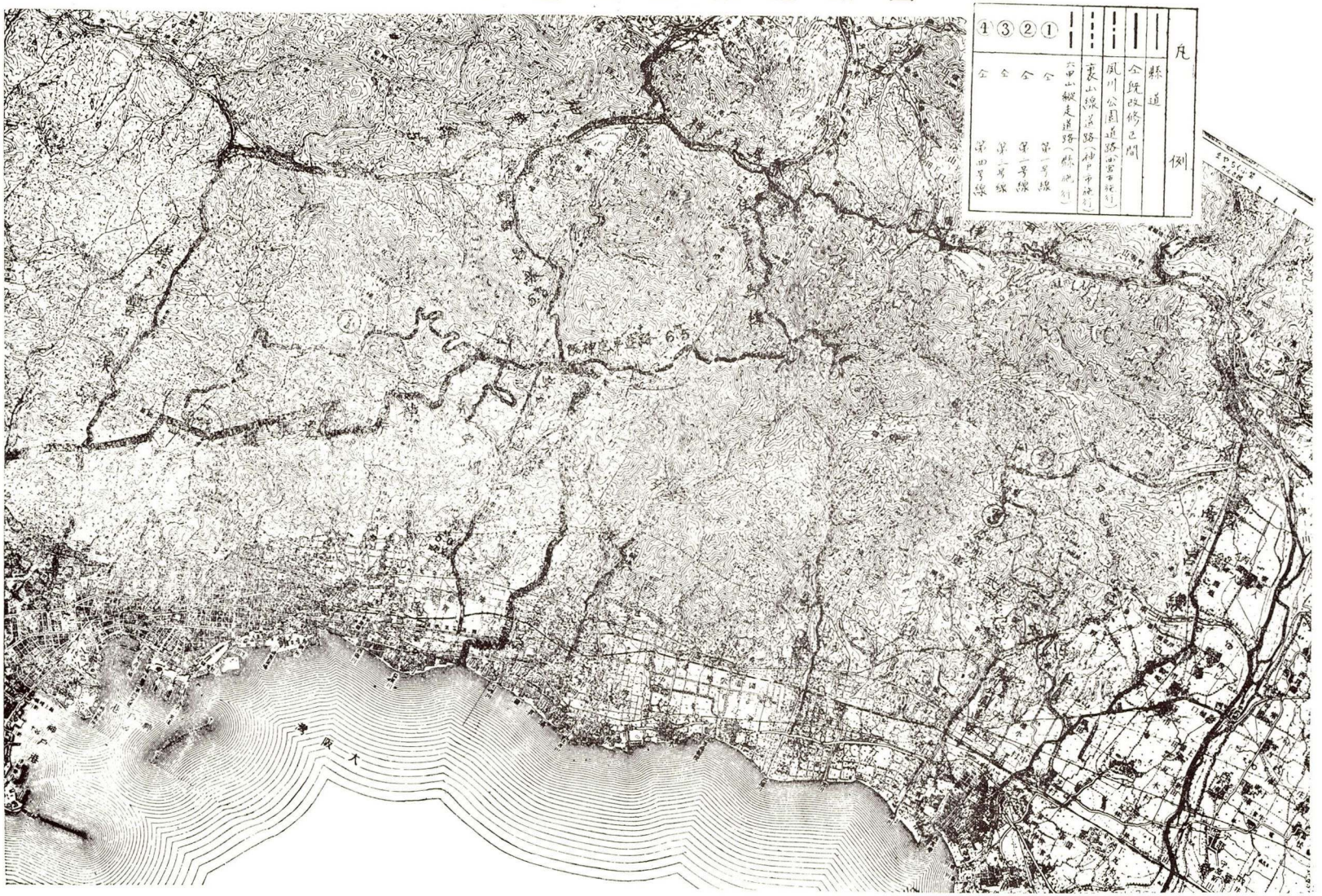
摩耶山　標高 698 米、眺望開豁、山上には佛母摩耶夫人を祀る忉利天上寺があり本尊十一面觀世音、安產の守神として參詣者が絶えない。一段下つてホテル、食堂、キヤンピングの設備があり、ケーブルカーに依つて容易に登山が出來る。

再度山　標高 468 米、山上に摩尼山大龍寺がある。和氣淸麿の創建、本尊如意輪觀音像は行基菩薩一刀三禮の靈作で國寶である。（後述神戸市施行の裏山線道路の開通に依つて容易にドライブし得ることゝなる）

之等の施設は勿論登山者に多大の便宜と興味を與へて居るには相違ないが、その計畫が當然局部的であり、各斷片的施設の集合である爲に、之を全般的に見て連繫がとれて居ない點があり、今一息と言ふ物足らなさを感じさせる憾がありはしないか、又その或るものはその施設自身の直接の役目を果すことに專念されるが爲に、一面に於て山の大切な生命たる風致を破壞するといふやうな憂がありはしないか、斯やうな關係から早急都市計畫の風致地區を指定することに依つて、山の風致、氣品を保護すると共に、一日も早く萬全の綜合的開發計畫の大綱を確立して、その一部として各種の施設を實現し、又その計畫大綱に矛盾しない範圍に於て種々の設備を認めるといふやうにする必要があるのであらう。この意味の下に從來も縣市當局、縣都市研究會等に於て背山開發の計畫樹立が神戸に於ける、緊急事項の一であるとして研究されつゝあつたのである。

最近神戸市に於て實施案が決定された失業救濟事業裏山線道路及兵庫縣に於いて同じく失業救濟事業として計畫し、近く追加豫算案として提出されやうとして居る六甲山縱走道路の開發は登山に更に大なる便宜を供するものとならう。その概要は次の如くである。

六甲連山關係道路圖


凡例
縣道
仝既改修已開
風致公園道路(工事中)
裏山線(道路(神戸市施行))
六甲山縱走道路(縣施行)
①仝第一号線
②仝第一号線
③仝第一号線
④仝第四号線
大阪灣

市施行の裏山線道路

裏山線　國立移住教養所(神戸區山本通3丁目)前より官有林堂徳山を經て武庫郡山田村中一里山4番地の1(鹽ケ原)に至る

幅　　員　7米(標準)

延　　長　6.435米

工　　費　552.852圓

事業年度　昭和8.9年度

縣施行の六甲山縱走道路

全線を4區に分ち幅員7米、總延長29.644米、工費660.000圓、昭和8,92ケ年度の事業とする。

第1號線　自武庫郡山田村鹽ケ原(市施行裏山線道路終點)
至神戸市灘區六甲六甲山(縣道有野御影線即ち現在のドライブウエーに接續)
延長　10.400米

第2號線　自有馬郡有野(六甲山阪神電車道路より分岐)
至西宮市鷲林寺(寒天小屋)　延長　15.632米

第3號線　自西宮市鷲林寺(寒天小屋)
至同市大社村(甲山西麓)即ち甲陽土地會社改修道路終點に接續して既定西宮都市計畫夙川公園道路に連絡する　延長　1.812米

第4號線　自西宮市鷲林寺(寒天小屋)
至武庫郡良元村小林(逆瀬川新橋)
即ち既改修縣道に接續して縣道西宮寶塚線に連絡する　延長　1.800米

(以上55頁の六甲連山關係道路圖參照のこと)

以上縣市道路計畫の決定、實施は觀光都市神戸完成途上の一大收穫であると共に、背山開發計畫の根幹をなすものとして、又阪神の至寶六甲連峯への登山趣味を鼓吹誘發するの一端ともなるものとして眞に喜ばしい。

汽笛の音とハンマーの響とに明け暮れて榮え行く國際的海港都市神戸の市背に聳ゆる六甲連峯の大自然が峯の懐を快くひろげて、徐ろに國際的觀光都市への前進曲を奏でゝ居るのである。　(終)

横濱市に於ける港灣都市としての特殊計畫に就て

丸　山　照　六

（1）

安政6年6月憲川幕府が開港地として神奈川運上所（明治6年横濱税關と改稱）を設けて以來横濱村の一漁村は急激なる發展振りを示し其の內外貿易は文字通り日進月歩の趨勢を呈して僅々數十年にして一躍世界的の貿易港となり、我が國六大都市に列すると言ふ異常にして長足なる發達を見るに至つたのである。

然るに其の横濱市の繁榮が近年逐次東京市に吸引されて行くの傾向があつて此の儘で推移するなれば横濱市は衰微するばかりであると言ふ話は識者の間に夙に論議されて居る處であるが、最近神戸港の繁榮が大阪市に移動しつつあると言ふので神戸市の方で大分喧しく問題にされつつありと言ふことも仄聞するのである。一體大都市が近接して居る場合には其の繁榮は孰れが一方の都市に片寄ることは都市そのものの實力の然らしむる處で如何とも爲難い現象と言はなければならないのであるが、其の都市自體の特徴とか特色と言つたものを助長し發揮せしめるやうな計畫を樹立して置くことはその都市の價値と存在を知らしめることになるのであるから、衰微とか老衰とかを防止することにもなるのであらうことは勿論強ては之れに依つて其の都市の發展を期することにもなるのである。此の意味に於て些か世界的港灣都市としての横濱市に於ける異色ある計畫に付て述て見たいと思ふのである。

近代的の交通機關の發達は非常なる時間の經濟となつて東京横濱間の距離は時間的に短縮されることとなつたのであるが其の爲めに横濱市の繁榮が漸次東京に吸引されて行く結果となるに至つたのである。卑近な例ではあるが横濱へ外國の觀光船が入港すれば上陸する外人は横濱市に立派なホテルがあるに拘らず、その大部分は直ちに自動車で京濱國道を馳つて東京に行き帝國ホテル其の他の處へそれぞれ落付くと言ふ有樣であるし、又横濱の富豪が結婚する場合には其の擧式は日比谷の大神宮で行はれ、披露宴は東京會館でやると言つた有樣で横濱市で行はれることは殆どないのである。其の他日常生活に於てもそれ芝居見物だとか、やれ買物に行くとか、活動見物だとか孰れも東京迄出かけて行くと言つた有樣である　最近東京市に於ては彼の品川沖から芝浦沖に浮ぶ處の第3、第6、第2のお臺場を連結する大防波堤を築造し、25.600.000 坪の水面積を包有せしめる大東京港の計畫がある。その港內荷役の能力は1ケ年7.500.000 噸にして 6.000 噸級の船舶 80 隻を同時に繫泊せしめると言ふ素晴しい處の大築港であるが、若し之れが實現するとせば正に横濱市に取

つては大なる脅威と言はなければなるまい。將來東京市が斯の如き計畫を實現するに於ては橫濱市は名實共に世界的貿易港たる地位より落伍するであらうことは勿論、我が國六大都市の地位すらも維持することを得ないであらう。

茲に於て橫濱市の現在の繁榮を持續せしめると共に、世界的貿易港として將來益々發展せしめんとするには、港灣都市としての獨自の立場より特殊にして異色ある處の計畫を樹立することが最も緊要にして最善の方策であらねばならぬと信ずる次第である。

（2）

橫濱市は彼の大正 12 年の關東大震災に依つて其の大部分を灰燼に歸せしめたのであるが、帝都と共に復興事業に依つて舊時の面目を捨てゝ近代的都市として立派に復興されたのであるが、然しそれは主として燒失地域即ち舊市街地であつて未燒失地である處の外郊部に於ては復興事業は何等及ぶ處がなかつたのである。從つて橫濱市の都市計畫としては之等の連絡統制を圖ることが最も重要であることは勿論、外郊部に於ける都市計畫としても尙ほ幾多の重要懸案が殘されてある次第である。

飜つて橫濱市が世界的貿易港であると共に我が國に於ける表玄關であると言ふ特殊の立場から之れを考へるなれば亦自から其の態樣を異にする譯であるが、先橫濱市の港灣設備に付て之れを觀るに內務省に於て橫濱港第 3 期擴張工事として之が修築費 19,042,000 餘圓を計上し、大正 10 年度より昭和 11 年度に至る 17ヶ年繼續事業として着々として之が實施に當れるを以て、やがて完成の曉に於ては現在本牧十二天鼻と鶴見川口を結ぶ一線上に完全なる外防波堤が築設され優に 4,300,000 坪の水面積を抱擁することになり、之に依つて沿岸保護と錨地增加の目的を達成することになるのであるが、橫濱港の設備としては之れを以て最大限度とするもので事實亦之れ以上の規模を有せしむることは困難でもあるし、之れ以上の規模を必要とするかどうかと言ふことも疑問であるであらうと考へられる。又其の後方連絡と言ふことに付ても、復興事業に於て主要なる幹線道路は殆ど完成されてあるのであるから之れに付ても現在以上のものは必要としないものと考へられるのである。而して曩に港灣調査會に於て京濱大運河計畫が議定されて既に其の一部は竣工されてあるし、その沿岸である鶴見區生麥及川崎海岸に於いては工場敷地造成を目的とする處の埋立事業が着々として完成されつつあるの狀況であるが、將來橫濱市の發展は橫濱港の修築事業の完成と相俟つて此の京濱大運河計畫の 1 日も速に開鑿全通せしむることである。橫濱港に入荷される貨物が東京に陸輸される運賃は「アメリカ」より橫濱に至る運賃よりも高價であると言ふ嘘の樣な事實の話を聞くのであるが、近き將來に於て京濱大運河が開通されるなれば船から下される貨物は直ちに艀に移されて運河の利用に依つてそのまま東京へ運ばれるであらうが故に、運賃は非常に低廉となる譯である。從つて從來神戶又は大阪に陸揚げされて鐵道便に依つて東京へ運ばれた處の特殊の貨物迄も外國から直ちに橫濱へ入荷されることになる譯であるから、京濱大運河の完成は橫濱市の繁榮を增す最も効果的施設なりと言ふべきである。

而して京濱大運河完成の曉に於てはその沿岸及鶴見、川崎一帶の工場地域を保稅工場地

帶たらしめたならば横濱港に於ける內外貿易は目ざましき繁榮振りを來すものではあるまいかと考へられるのである。往年我が國貿易界に於て一しきり自由港制度と言ふことが喧しく論議されたのであるが、此の自由港制度と言ふのは讀んで字の如く國內何港をも貿易港たらしめるものであつて、恰も國內各港を公海と看做すと言つた具合のものであつて、此の自由港の代表的のものが獨逸の「ハンブルグ」港であるが、此の自由港制度と殆ど同じ樣な効果を收めしめるものが保稅工場地帶の設定であつて、昭和2年4月法律第45號を以つて公布された保稅工場法に付ては未だ世人が熟知して居らない樣に思はれるが、此の法律の運用に依つて保稅工場を一定の地域を指定して行くなれば非常なる効果を齎すものであることを信ずるのである。

元來輸入貨物に對しては關稅定率法に依つて關稅を課することが原則であるが、保稅工場法に依つて當該稅關長の指定を受けたる工場に於ては、外國貨物に加工し若くは之れを原料として製造をするとか、或は外國貨物の改裝、仕分其の他の手入を爲し、直ちに之れを輸出する場合には其の輸入貨物に對しては關稅を課せない、つまり國內の製產品に累を及ぼさない處の特殊の品物に付ては輸入貨物を陸揚げするや直ちに所謂保稅工場に入れて、此所で形を替へたものとなつて國外に輸出される場合に限り關稅を免除すると言ふのが保稅工場法の立前であるのである。此の保稅工場は現に川崎及鶴見の特殊の工場には指定されたものがあるのであるが、京濱大運河の沿岸及鶴見區一帶から川崎方面の工場地帶を限り此の保稅工場地帶たらしめたならば、即ち自由港制度と同じ効果を收めしむることが出來るものではなからうかと考へる。若し斯くすることが出來るなれば啻に東京方面の特殊の工場のみならず全國の特殊工場は橫濱市に蝟集するであらうが故に、工場招致策となることは勿論、橫濱市の繁榮たるや期して待つべきものがあるであらう。

（3）

世界的貿易港であり、我が國に於ける代表的港灣都市である橫濱市としては外人招致と言ふことは繁榮上重要なるものであらねばならない。大震災前に於ては橫濱山手町と言へば外人の居留地として異國情緒のただよつた繁華な特殊的の市街地であつたことは世人の記憶に殘る處であるが、震災後に於ける山手町は昔日の面影もなく荒廢したものとなつたのである、之れは震災に依つて東京、橫濱の經濟界事業界が一時沈淪した爲めであることは勿論であるが、震災の打擊を受けた人々は神戶へ轉ずるとか母國へ歸還するとかしたるが爲めである、橫濱市が衰微してその繁榮は東京市に吸引されつつありと論議されて居る折柄、外人招致策を講じ以つて橫濱市に居留外人を增加せしめ、又觀光客等を滯泊せしむる施設を爲す事も亦緊要なることである。如何にすれば外人の住み心地よき都市たらしめることが出來るか、之れに對しては先づ橫濱市特有な情景と味を持つ處の美觀地區を設定すべきであらう。東京の宮城前廣場とか、宮城を廻る內濠とか、或は東京驛前とか丸ビル前を美觀地區に指定された樣であるが、橫濱市に於ては棧橋附近だとか、山下町公園からニユーグランドホテル前と言つた港灣都市として獨特の味を持つ情景の場所を美觀地區に指定することは其の目的に副ふものであると考へる次第である。

觀光船が日本に來る時、詩の國、繪の國、女の國と言つたやうな好奇と憧れを胸に抱いて先づ最初に横濱港に入つて來るのであるが、日本と言ふものの初印象は港外より眺めた横濱市の丘陵と綠と建物でなければならぬがその中で第一に目に入るのがあの本牧十二天の鼻と欝林である。旬日に亘る渺茫たる波の上の船旅から憧れの日本に着いたと言ふ心持と綠の丘が目に映る氣持とは實に何とも言へない感がすると言ふことは外國から來た人々の多くが洩す處の通有的の言葉であると聞くのであるが、外人誘致の見地から言つても亦横濱市繁榮の爲め外人を滯泊せしめると言ふ點から言つても、横濱市の綠地を維持し保存せしめることは勿論之が造成を爲すことは横濱都市計畫の急務であると共に港灣都市としては最も重要なるものの一つであると考へる。

最近都市計畫東京地方委員會の主催に依つて東京を中心とする關東一帶の綠地計畫に付いて、關係府縣の協議會が開催されるに至つたことは如何に都市の綠地と言ふことを重要視するに至つたかを物語るものであつて洵に慶賀すべきことであるが、近時各地方に於ても風致地區の設定と言ふことが盛んに行はれるに至つた神奈川縣に於ては殆ど全國に率先して横須賀都市計畫區域内に４ケ所の風致地區を指定したのであるが、斯の如く綠地と言ふことが非常に喧しく論議提唱されるに至つた今日特に我が國の表玄關である處の横濱市に於ては前述の様な意味合から言つてもその設定を必要とするものであると信ずるのである。本牧一帶の丘陵地だとか、圓海山を中心として杉田、屏風ケ浦一帶の山林地だとか、或は保土ケ谷ゴルフ場附近一帶の山林地だとか、鶴見總持寺より花月園一帶の林地と言つた様に風致地區を指定するなれば單に之等の地の綠地の維持保存に役立つのみならず、將來適當の時期に於て之等の地に公園的施設を行ふなれば啻に市民の慰樂休養の地たるばかりではなく、外人の見た横濱市と言ふものの感じは非常に明い文化的都市と見られるであらうが故に、その結果は必然的に外人の滯泊數を增加するに至るであらうことを豫想される次第である。

横濱の本牧と言へば太平洋の彼方に迄相當名の知れ渡つて居る處の日本娘の街であることは世人の知る處であるが、蟻の甘きを追ふ如く强烈な刺戟を喜ぶ處の現代人であるが故に何日迄も現狀の儘で行くなればやがては世人の忘れる處となるであらうが、故に此の頃流行の「エロ」「グロ」織り混ぜたデカタン式の大觀樂境を現出せしめたならば本牧の發展や思ふべく强いては外人遊覽客を招致し滯泊せしめるに至るであらうことは正に間違のないことであらう。

（４）

之れを要するに横濱市が我が國の表玄關であると共に世界的貿易港であるが故にその都市計畫たるや亦自から此の見地に立脚したものでなくてはならない。又横濱市が帝都に近接して居るが爲めにその繁榮を吸引さるるの傾向ありとすれば、横濱市は特殊の都市たる立場に於て之に對抗すべく特殊の計畫を樹立し以つて其の衰微を防止すると共にその生存に意義あらしめねばならないのである。又外人招致と言ふことは我が國策であることは勿論であるが横濱市が港灣都市である點から考ふるなれば外人招致、或は外人客滯泊と言ふことを重きに置いた特殊の都市計畫でなくてはならないのである。以上のことを再言して筆を擱くこととする次第である。　　（終）

奈良市に於ける遊覽都市としての特殊計畫に就て

藥師神榮七

目　次

1　まへがき
2　遊覽都市としての奈良市の一瞥
3　奈良市の由來——平城京計畫の概要
4　現在の奈良市と都市計畫
5　特殊計畫に就て

1　まへがき

表記の題目を與へられて寄稿して呉れとの依頼、奈良の都市計畫は初期と稱せなくてはならぬ程度の遲々たる進歩振り、公定になつてゐるものは僅かに計畫區域の外に街路網の一部9路線があるばかり。從つて此の公定のもの以外は草案の色々がある丈で、こゝに以下述べやうとするものも全くの一試案に過ぎない。詰り計畫の計畫に過ぎぬと見做してもよからう。唯私はその計畫の幾分でも實現すればと願ふ者である。而して其の特殊計畫もなるべく抽象的記述的に說明表示せなければならぬ。尙題目「奈良市に於ける遊覽都市としての特殊計畫に就て」をよく考へて見ると特殊計畫の意味がはつきりしない所がある様に思はれる。之を私は「都市計畫上に於ける」であらうと解するが、遊覽都市としては都市計畫より少しデヴイエイトするかも知れないが、1)奈良驛改築の特殊設計、2)公園內又は區域內に於ける遊覽施設上の特殊施設の計畫、3)國寶及國寶建造物に對する特殊保護計畫(防火施設や航空制限等)、4)建築物法の運用上の特殊細則の制定、5)大軌軌道及終點附近の改良計畫、6)地方計畫理論より生れる所謂綠地計畫等々、が想像され得るのである。

以下本論に述べんとする所謂特殊計畫は上記のものを除外して主として道路、廣場、地域制、風致地區等に對する私の一持ち合せ案である。

2　遊覽都市としての奈良市の一瞥

奈良市が遊覽都市たること——否我が國に於ては其の白眉と稱してもよいであらうと思ふが——は喋々を要しないことだが他の我が國遊覽都市たる京都、大津、宇治山田、別府

等々と比べては本市は一層その色彩の濃いものと思はれる、何故なら以上の他都市は遊覽都市として以外に奈良市よりも生産力をより多く持つてゐる様であるから、即ち

都市名	生産額	人口	一人當り生産額	調査年
	千円	人	円	
京都	211,343	717,100	296	昭2年
大津	—	—	—	—
宇治山田	15,603	48,300	323	昭3年
別府	—	—	—	—
奈良	10,073	53,400	187	昭2年

又上記諸都市と共に國内的遊覽都市たると共に國際的遊覽都市でもあつて、今その内外客の遊覽者數統計を表記する資料が集まつてゐないが、省線驛、大軌電車驛の乘降人員を參考に擧げれば(年統計より一日平均數を算出したるもの)

驛名	一日平均乘降客數			百分比	摘要
	乘車客	降車客	計		
大軌奈良終點	8,937	8,924	17,905	40.0	
省線奈良驛	4,837	4,779	9,616	21.5	調査は昭和三年
大軌油坂停留場	2,361	2,359	4,720	10.6	(乘降客の最大年)
省線京終驛	1,934	1,942	3,876	8,6	の統計に依る
計	18,113	18,004	36,117	100.0	

之の統計より極く大雜把に一日平均内外遊覽客を省線による者 4.000人 會社線に依るもの 5.000人 と見積れば 1 ケ年遊覽客數は約3.285.000人の概算となる。即ち約 300 萬人と稱し得ることとなる。

而して遊覽客の多き季節は春秋を勿論最多とし夏冬は少く所謂遊客の夏枯れ冬枯れ季節となつてゐるが、春秋の季に於ける一日最大數は約15萬内外と思はれる。

斯くの如く遊覽都市としては我が國中白眉のものたるため、その遊覽都市的特徵は奈良公園及園内の古社寺、正倉院、博物館、奥山周遊道及附近多數の御陵、佛寺、遊覽地等の根本的遊客誘致物ある外に施設的なものとしての特徵は、

1) 市内にある百餘の旅館は殆んど遊覽客を對象とせること勿論なるのみならず、市の總戸數約一萬一千に對して比較的に多いこと、その中鐵道省營の奈良ホテルのあることは、下關の山陽ホテルと共に他都市にない例である。
2) 直接遊覽客を對象とする土産物商店、飲食店等もその數多いこと。
3) 市の主要生産物も主として遊客相手のもの多く、奈良人形(一刀彫り)、奈良漬、墨、筆、あられ酒、團扇、鹿の角等で蚊帳のみが異例位である。

3 奈良市の由來—平城京計畫の概要

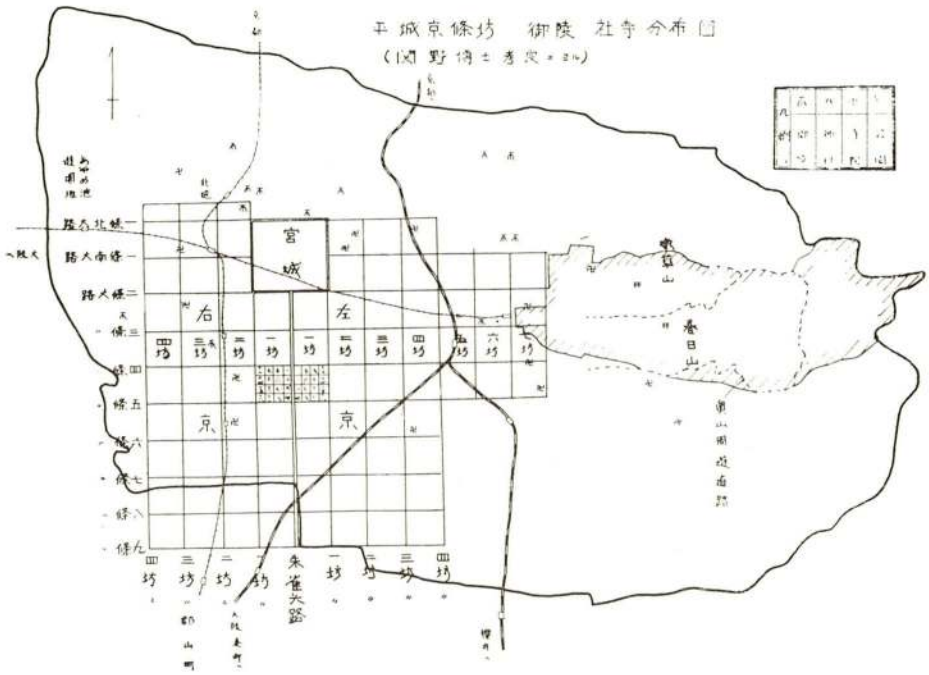
こゝでは話は一寸遠く1220餘年前に溯る。元明天皇の時藤原宮より平城遷都が斷行され

た。この遷都位置が即ち今の奈良市街及都計區域内にその大部が含まれてゐるのだ。今の奈良市街地は大膽に一口に云へばこの平城京内東北部に當る地域が興福寺、東大寺等の隆盛と共に長く衰へず遂に考古遊覽の地となり今日の都市となつたものと云へやう。丁度長野市(善光寺)、日光町 東照宮)、生駒町(寶山寺)等と都市發生の由來を一つにしてゐる。

さて又話は遠くに還つて……此の遷都以前轉々とし移遷された都には藤原京、大津宮、難波京等多少大規模なりしと推察される帝都經營もなされたことは史實に見る所であるけれども、その遺構の大略が不十分ながら今に殘つて居り且學者史家により稍々鮮明にされてゐるのは我國に於てはこの平城京を最古とせねばならね。然し勿論此の古代の都市計畫は現代のそれと比べて帝都計畫であることと時代に1000年の間隔あることの爲め著しくその内容目的を異にしてゐることは當然である。が唯今後の特殊計畫の基礎の一部となるべきものである故概要を述べてみやう。

位置は現今の奈良市の西郊都跡村を中心として計畫せられたもので、中央の平城宮趾が今の平城天皇御陵の南約8町4方(天平尺以下同じ)の地に選定せられ、その中央より南行して朱雀大路あり、第1圖「平城京條坊、御陵社寺分布圖」に示す如き條坊の割り方とな

第一圖 奈良都市計畫區域内



つてゐた 即ち奈良盆地の北端三方に丘陵あり南に開けて緩傾斜をなしてゐる古代帝都として好適の地勢である。東西約12町(當時の尺度で、以下同じ)南北36町の矩形地を本體と

し其の東部に東北12町、南北16町の矩形の突出部(今の奈良市街はこゝに在り)を、又本體西半分北端に東西12町南北２町の北邊突出部を附け足した區域が平城京の計畫區域であつた。尙宮城以外は１町毎に小路、４町毎に大路ありその方向正しく東西南北で所謂碁盤目型道路網を配置してゐた。而して東西道に條、南北道に坊を附して呼び又大路で圍まれた４町４方を同じく坊、更に小路により圍まれた１町４方を坪と呼んだ。之れ都計に於て云ふブロツグ・ロツトに相當するとも一應は考へられるが去るにても邸宅を主とした古代都計のロツトと云へども廣過ぎる樣に思はれ１坪數ロツトと考へるのが適當かも知れない。尙その尺度、坊坪の大きさ朱雀大路、宮城周圍の羅城、大路小路の幅員、北邊の廣さ、寺院境内の區域等細部に亘つては遺憾ながら確定とまで云へず今尙專門家の研究中に屬してゐるのであるが、こゝには全部關野博士說を採る。

尙極く簡易な地域制とも稱してよい右京左京の南部の街區の中心と思はれる位置に夫々相當の廣さ(東西２町、南北３町？)の東市、西市と呼ぶ市場が設けられてゐたことも史實に見えることである。又諸建築物の配置に就て考へるに遷都に次いで漸次諸大寺の移築建立が行はれ、殆んど大多數は此の京内に廣大な面積をためて配置された。

藥師寺、唐招堤寺、菅原寺、西大寺、西隆寺、法華寺、海龍王寺、大安寺、元興寺、紀寺、興福寺等皆これで東大寺のみ春日山麓に位置し京外にこれ又廣大な寺域を占めて建立せられた。當時京城内の朝堂、皇居の外は佛教隆盛の影響を受けて寺院建築等が京内の立派な建物であつたであらうと思はれる。次いで多くの月卿雲客の邸宅が京城近くに並び南方に至るに從ひ下位の者の邸宅及市場等があつたのであらう。尙當時既に有名であり又存在してゐたものと思はれるものを例記するならば上記寺院の外春日山、佐保山、黒髪山、奈良山、高圓山、佐保川、秋篠川、御陵に垂仁、安皇、神功皇后、盤媛等がある。

さて以上平城京計畫の概略であるが、これが如何の程度に竣工せりや否やは今急に斷定することも出來ないが、(1) 宮趾はもとより條坊の小路に至るまで今に多く里道、境界等として相當位置に遺つてゐるものと思はれるものが多數にあること。(2) 實史により京城が略々完成せられた期間が１年３ヶ月なること(地鎭祭より遷都迄)で其の他の造營工事は引續き遷都後も行はれたこと、(3) 平城京は70餘年繼續せること等より、宮城始め大路小路、水路の付替整理、官吏の邸宅、寺院造營等は略々完成せられたものと想像して間違ひ無からうと思はれる。

斯の如く無窮の業、定鼎之基と信じて出來上つた帝都も惜しくも七代七十餘年で廢都の運に遭ひ、而も一旦廢都となるや、莊麗の宮殿諸門の主要部は直に壞されて長岡に遷された爲めその衰微は一層速かであつた。長岡遷都も故あつて完成せず約十年の後桓武帝の一大刷新、新政策樹立の爲め平安遷都となつた。以來約一千年の長き京都が都となり(中途一二年間だけ急激な福原遷都があつたが)明治維新まで繼續し東京遷都となり今に及んでゐるのである。

4　現在の奈良市と都市計畫

現在の奈良市街は平城京本體の「附け足し」的東北部に位置してゐること前述の通りで、奈良市街地以外は今は全部田畠と化し處々に農家の聚落を見せてゐる。近時大軌電鐵、奈良電鐵の開通と共に伏見村あやめ池、西大寺附近等多少市街地化されんとしつゝある。此の二會社線により大軌奈良終點、油坂停留場の外區域内に西大寺、あやめ池、平城、尼ケ辻、西ノ京等五停留場を設け、又省線關西本線及櫻井支線ありて奈良驛、京終驛の二停車場あり。大阪へ35分、京都へ50分の利便を與へて正に大都市大阪、京都の好き自然的衛星都市ともなつてゐる。自動車交通は乘用乘合共に近年急激な發達振りを示してゐるが、未だその數は道路系統の不備と共に多からず。

人口は市部約53,000 增加率 2.5%、區域内に於て73,000 增加率 1.9%我が國人口の自然增加率より見て若干都市人口集中性をこゝにも示してゐる。

生產物關係より見れば遊覽都市たることを反證する樣に思はれ、一步を進めて遊覽住宅都市と見做すべきではあろうが、大都市の卵たるべき商工都市では無いこと第二節に述べたことゝ合せて說明する迄も無いことゝ思ふ。

尙奈良公園は世界的名園の一つ、遊覽都市たる一半は此の公園の風致に依存するものとも云へやう。其面積平坦部山林部を合せて約1,600,000坪實に市面積の17%に當つてゐる。

次に奈良現在の都市計畫であるが、法に基き施行都市に指定されたのが昭和三年一月で今日迄に公定になつたもの僅かに

區域　奈良市、平城村、伏見村、都跡村、明治村、辰市村、大安寺村、東市村

昭和6年4月內閣認可

街路（九路線）　同　8年5月內閣認可

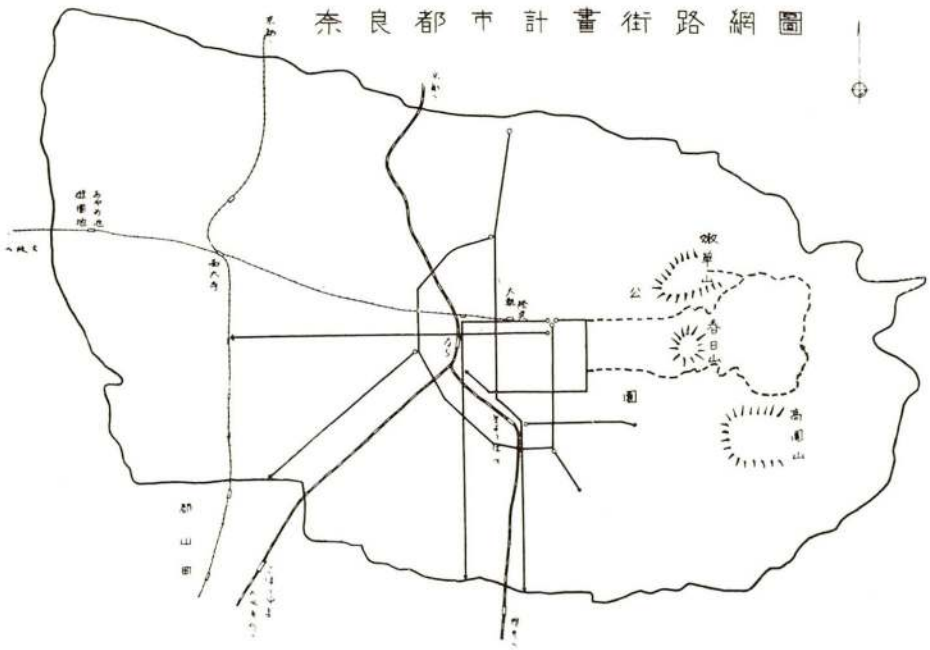
の二つで區域は市隣接七ケ村を含み面積約 24,500,000 坪にして稍々廣き觀なきに非ずであるが平城京區域の大部を包含せんとしたこと、考古遊覽の一範圍を構成せること等より決定せられた當然の歸結である。これ又大津、宇治山田、別府等と同じく——三市とも奈良と同じく中小都市として都市計畫區域非常に廣し——遊覽都市の特徵を示してゐるものと云ふべきであらう。

又計畫街路網は豫定街路網の中重要にして急施を要すと認められ、且測量設計を終りたるものの九路線延長 94,000米が決定告示されてゐるのであつて、之をスケレトンとして圖示すれば第二圖「奈良都市計畫街路網圖」の如くである。其の中二路線は位置に於て平城京條坊の三條大路及左京七坊大路の一部に夫々相當してゐる。而して事業實施に際して特殊設計をなさねばならぬと考へられるものに (1)公園內の街路 (2)大軌終點前附近の街路 (3)奈良驛前廣場等がある。

(1) は步道が公園と接する爲め特殊設計せるもの、(2) は電車降車口附近であるため步

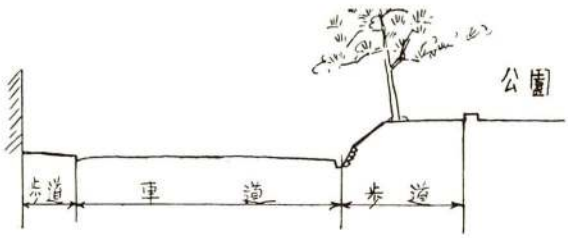
第　二　圖

奈良都市計畫街路網圖

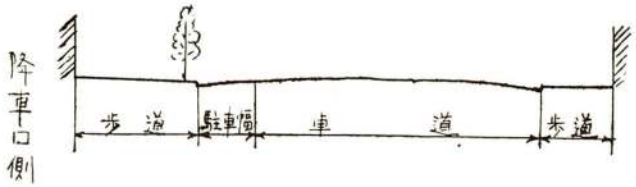


第　三　圖

（1）

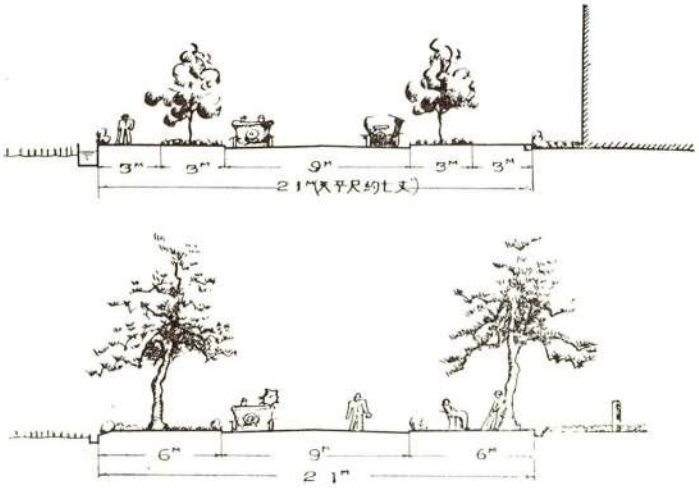


（2）

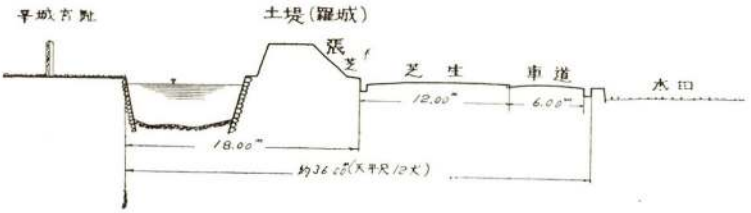


道の一方を特に廣くし且車道幅の外駐車區を取りたるもの、(3) 奈良驛前廣場は省略。尙上記の外ほしいまゝの計畫が許されるならば奈良驛より公園に到る三條通りは歩車道區別は普通となすも植樹帶を車道の中央に置きその兩側車道は緩速車線のみとして遊覽馬車等の如きを目標とする斷面を與ふるも面白いと思ふ。

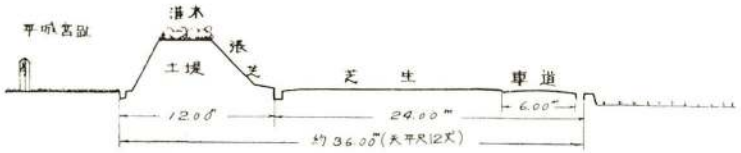
第 四 圖　公園大路(舊二條大路の復活)



第 五 圖　平城宮周圍(其の一案)



同　上　　(其の二案)



朱雀大路



5 特殊計畫に就て

1)道路　今後の決定に殘されてゐる街路中には古代條坊の大路小路に相當した位置に設けられるものも想像せられる。が之等豫定線は詳しい說明は出來難い。唯特にその中古代條坊の大路を活かし觀光遊覽道路が主眼であるもの——假に自分は復古趣味道路と稱し

てよいかと思ふ——に朱雀大路、平城宮周圍の羅城、〇條大路等が考へられる。之等はその主眼とする所から當然幅員、路面特殊施設、沿道附近の風致制限に重點を置かねばならない。その試案は別揭朱雀大路(第四圖)、平城宮趾周圍(第五圖)、公園大路等の斷面圖に示す如くである。

朱雀大路復原に於ては古代の雄大を偲ばせる方法として出來るだけ廣場的にすること。即ち中央二車線の車道の兩側に小植樹帶を、その外側に約幅員20 m近くの芝生及荒地帶を置き芝生帶は遊步散策用とし、片側の荒地帶は直線を利用せる乘馬、競馬その他運動用たらしめる。外側の兩植樹帶は中央部のものより遙かに幅廣くし(約三倍)植樹も大なるものとする。

次の平城宮周圍の道路は往時羅城が存しその幅員も大路より稍々廣く造られた如くであつて、今假に之を天平尺12丈なる說を採り設計すること圖の如し。其の第一案は羅城を模す土堤の土量を得る爲め宮趾側に沿ふて溝渠を掘鑿する計畫とせるもの。土堤は張芝とし天端に相應の灌木類を植へるも可ならん。土堤の外側は芝生とし遊步用に當て更に其の外側に二車線の車道を設ける。其の二案は溝渠を設けず芝生帶を廣くせるだけの相異。

次に〇條大路の設計であるが之も斷面圖の如く二種の案あり。其の第一案は第二案に比し步道、植樹帶、車道の三區別をハツキリしたるものに過ぎず。

次に皇陵巡拜道路とも稱すべき路線が一つある。之は現在區域內北部に散在せる御陵墓を主として巡回するに適應せる道路の無き不便を補ふもので奈良坂に發し黑髮山の景勝地を經て西行し丘陵を縫ふてあやめ池遊園地を廻り尼ケ辻にて旣決定線に結ぶ豫定のものである。その沿道附近に元明、元正、平城、孝謙(稱德)、成務、安康、垂仁等の各天皇陵、盤媛命、日葉酢媛命、神功皇后等の各皇后陵の外ウワナベ池、コナベ池の兩御陵傳說地、不退寺、秋篠寺、喜光寺等在り。

次に計畫決定路線及豫定線を合せて街路網全般を考察するに現在奈良市街地を中心とせる道路網と西大寺を一副中心とせる道路網との合した二中心型をなしてゐる。尙區域外に西南方に郡山町(人口約16,000、城下町で商工業的な町)が接續してゐるが、法に基く町村都市計畫の可能となれる今日之をも包含して街路網を考察するならば網の型は當然奈良郡山を夫々中心とし西大寺を小中心とせる三中心型の道路網となるであらう。

2)廣場的なるもの　平城宮趾全部は建築物敷地より留保すべきであつて上記羅城式(土堤式)道路で圍繞さすことゝす。現在は宮趾の約半分の地積が史蹟地に指定され、該史蹟地の約三分の一大極殿趾を中心とせる朝堂院趾が國有地となつてゐる。都市計畫に依る特殊計畫はこの史蹟保存の目的と一致し更に之を遊覽都市の一施設として活用せんとするものである。

朱雀大路は其の幅員極めて廣く從つて之が復原に於て都市計畫街路として決定すること不適當となつた場合は中央の車道部分のみ道路として決め兩側はベルト狀の廣場として決

定するのも一方法と思はれる。

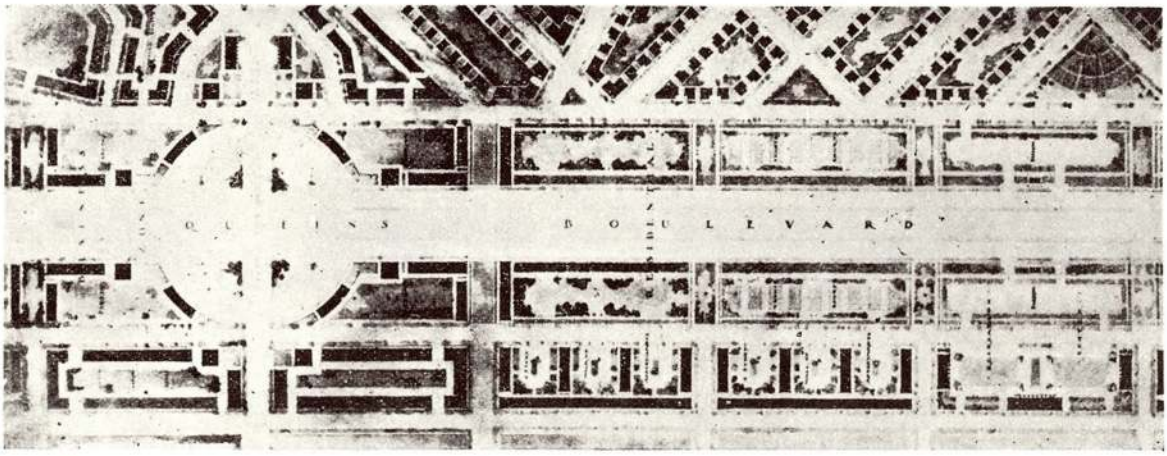
又朱雀大路の南端羅生門趾――現在郡山町内でライセ墓のある地――に小紀念廣場を計畫することも無意義でなかろう。

3)地域制　現在建築物法の施行されてゐる市域内のみに就き考ふるに本市が將來も工業都市でなく遊覽住宅都市と豫想すべきであろうから其の用途地域の内譯割合は住居を最大とし次いで工業地域を適當に配し工業地域は割合に小面積で可いやうに思はれる。或は全く工業地域を無くし輕工業地域を意味する未指定とすることも考へ得ることで、この地域制も特殊計畫となると云へないことも無いのである。

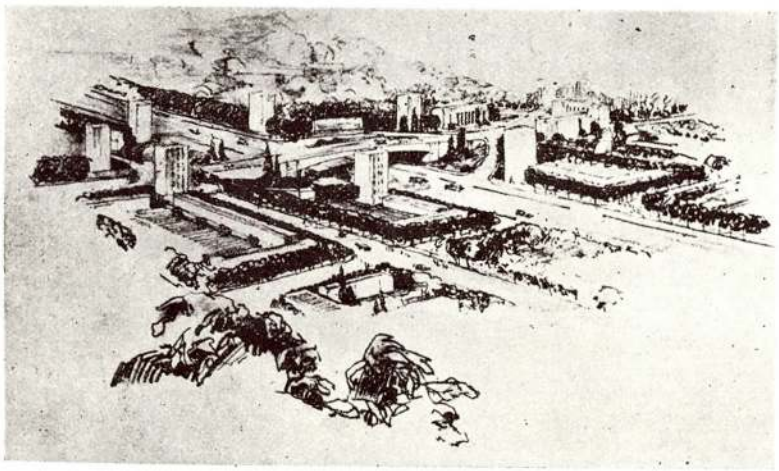
4)風致地區　現在奈良公園の大部分は既に大正11年及昭和3年に名勝地として指定されて居り、更に公園内及附近には縣令に依る建築物取締規則が行はれてゐる。又御陵附近に就ては二、三の内務省訓令に依る取締が行はれてゐる。從つて風致地區はこれ等以外の風致景勝地を先づ指定するが適當と思はれ或は地方計畫に依る綠地計畫として廣大な地域を計畫することもよいと思ふ。

結　　び

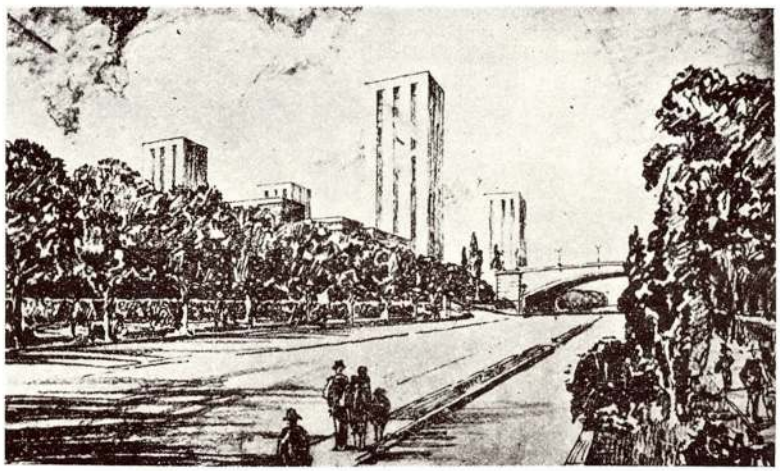
以上第五節に於て私は色々勝手な「特殊計畫」を述べた。が詰りはそれは未だ計畫の計畫程度である。これを事實に都市計畫たらしめること、之は必ずしも困難では無からうが更に事業化するには？　其の事業費額は？　財政計畫は？　と來ると私は一先づ後退せざるを得ぬ。と云つて其等の見當が全然付かないからではない。急ぐべき程の好期ではなしよし好機としても此等の方面を考ふべき人は自づと他にあるであろうから。何と負け惜みの強いことか！。と？　（昭和8.7）



1　クキーンス大通り懸賞設計競技一等當選者 Philip G. Bartlett 氏圖案：平面圖



2　同商業地帶透視圖



3　同街路透視圖

クキーンス大通り懸賞設計競技圖案

◆

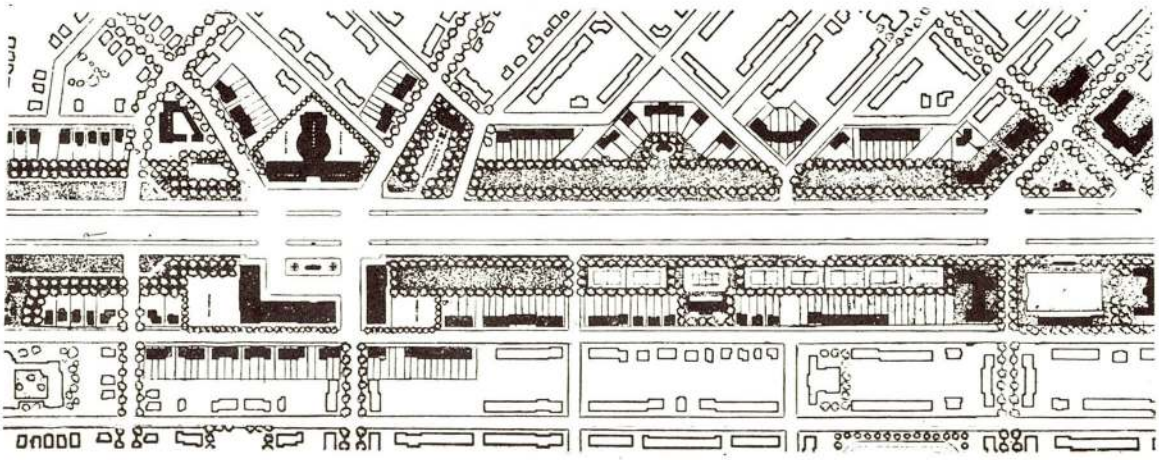
ニユー・ヨークのクキーンス大通りは、クキーンス中最も發展迅速なる地帶にあり、而も、その中央大交通動脈線にあたるので、先般、これを整頓し美化すべく、その計畫案を懸賞競技の形式によつて凡く募集された所、審査の結果次の諸氏が入賞の榮を擔つた。

1 等（賞金 200 弗）—Philip G. Bartlett, Manhattan

2 等（賞金75弗）—Albert Sturr, Manhattan

◆

競技はクキーンスボロ商業會議所の主催の下に行はれ、その實行は、土地所有者・商工業組織・金融諸機關などの親密なる協力により、極力迅速になされんとしてゐる。



4　クキーンス大通り懸賞設計競技二等當選者 Albert Sturr 氏圖案：平面圖

◆

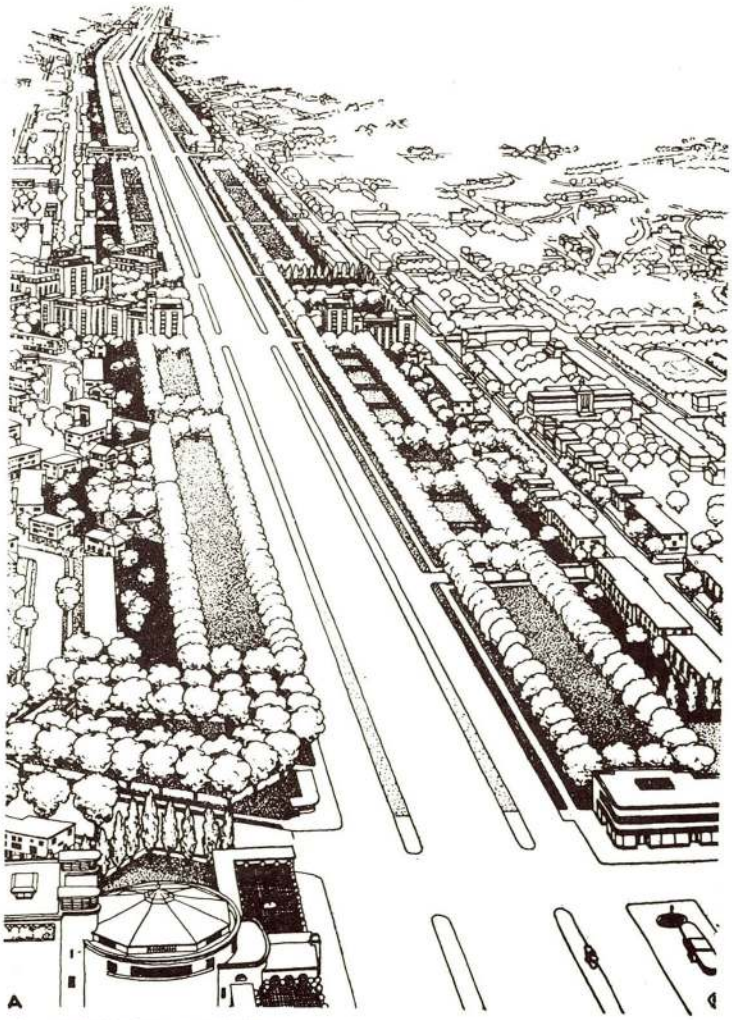
クキーンス大通りの位置は現在餘り交通複雜にして人口密度多大なる場所を占めて居らず、實施の比較的容易な處女地にあり、將來住居地域として順調なる發展を期せんとされてゐる。計畫の趣旨も從つてこれに基いてなされた。

◆

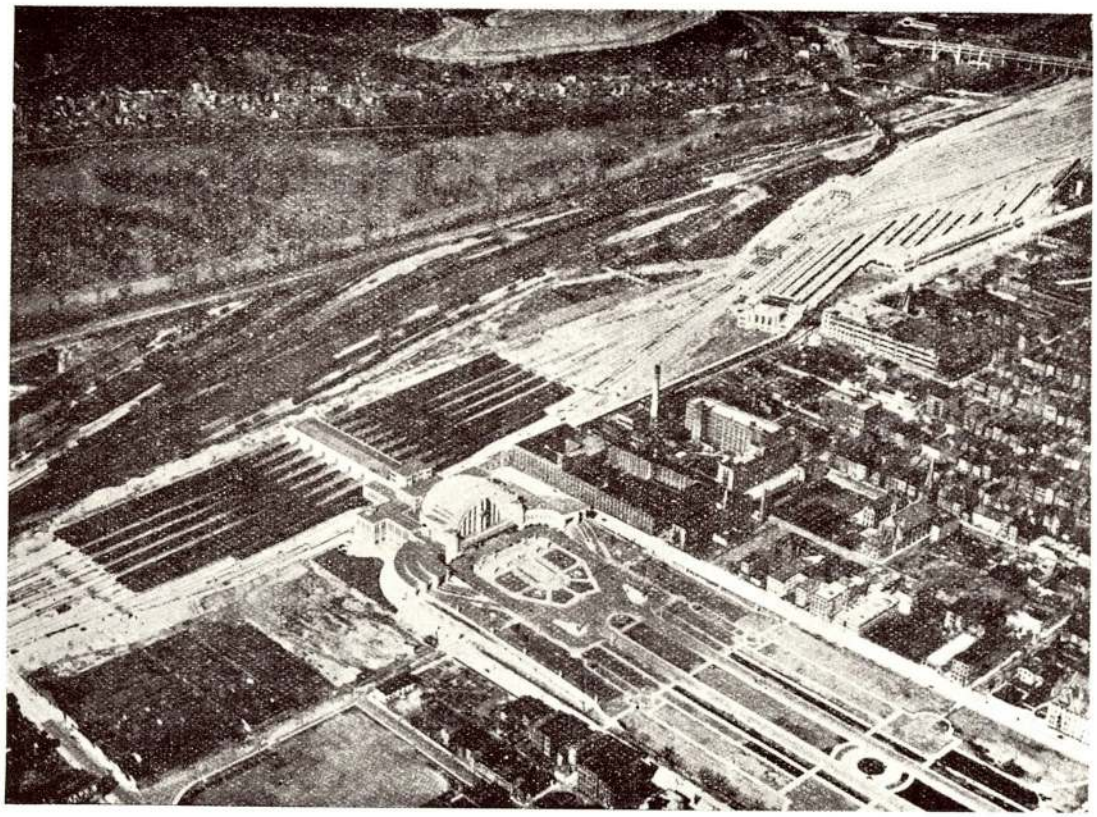
第1等入選者 Bartlett 氏の提出案は、幅約200呎の公園帶を大通りの兩側に設け、テニス・コート、遊歩場、自動車駐車場などを含める綠地とし、休養竝に美觀上大いに役立たしめ、尙又、將來經濟的必要に應じて、高級住宅を建設せしむべき敷地として殘したる點にその最も特色ある計畫が見出される。

公園帶に接して、大通りに平行なる道路を距てて、中流階級用のアパートメント或は獨立家屋あり、都市內に於ける適切なる理想的なる住居形式の一を暗示して居る。

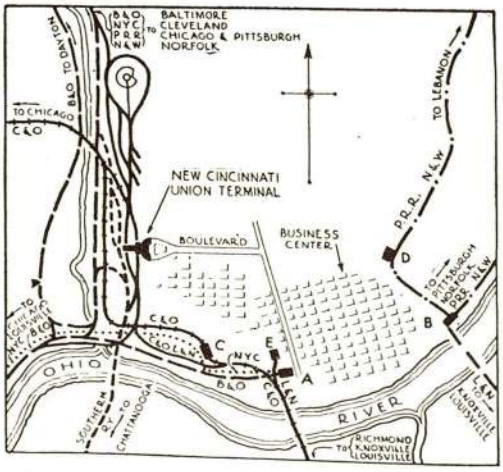
圓形廣場附近には公園帶なく、周



5　同街路附近の鳥瞰寫眞



6　シンシナチ•ユニオン旅客停車場鳥瞰圖



7　シンシナチに於ける新舊旅客停車場配置圖

圍に商店建築物が建ち、又、東西に通ずる街路との平面交叉を避けるため建築的な陸橋が架せられ、共にこの地帶の中心地たる感を抱かせしむるに役立つて居る。

◆

第 2 等入選者 Sturr 氏の提出案も趣旨に於いて Bartlett 氏のそれに近似して居る。竝列家屋群を幅約200呎の公園帶肉に挿入せしめ、殘り 100 呎を綠地として大通りに面せしめ、家屋への接近には專ら大通りと平行せる第二次的街路による。

殊更に商業中心なるものを豫想せず適當なる間隔を置いて適當なる建築物を適當に配置せる所 Sturr 氏の案と多少異れる點である。　（吉田　信武）

（— The Architectural Record, 1933 年 1 月號所載 —）

シンシナチ•ユニオン旅客停車場

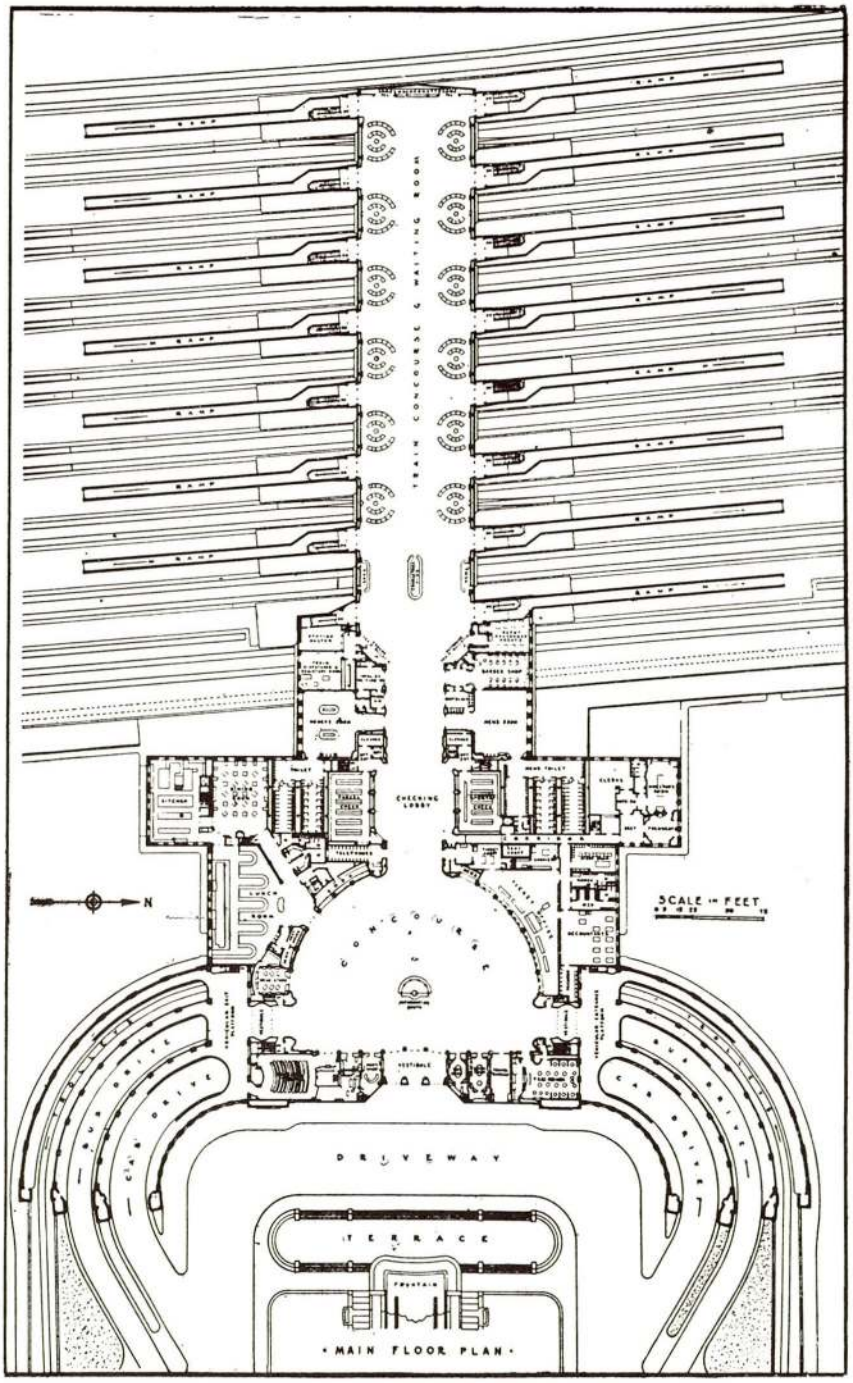
◆

従來、シンシナチには十三の鐵道が五つの旅客停車場を通じて入込み45萬の市民に日々多大の不便と不愉快を與へてゐたが本年3月19日、完備せるユニオン旅客停車場が完成し都市と鐵道との間に完全なる統一を見るに至つた。

◆

本旅客停車場は工費約4千百萬弗面積287エーカー鐵材4萬5千5百噸、混凝土22萬4千5百立方碼を費してなれるもの。アメリカの代表的ユニオン旅客停車場、シカゴ、クリーブランド、オマハ、バファローなどに比し優るとも劣らぬ建設物である。

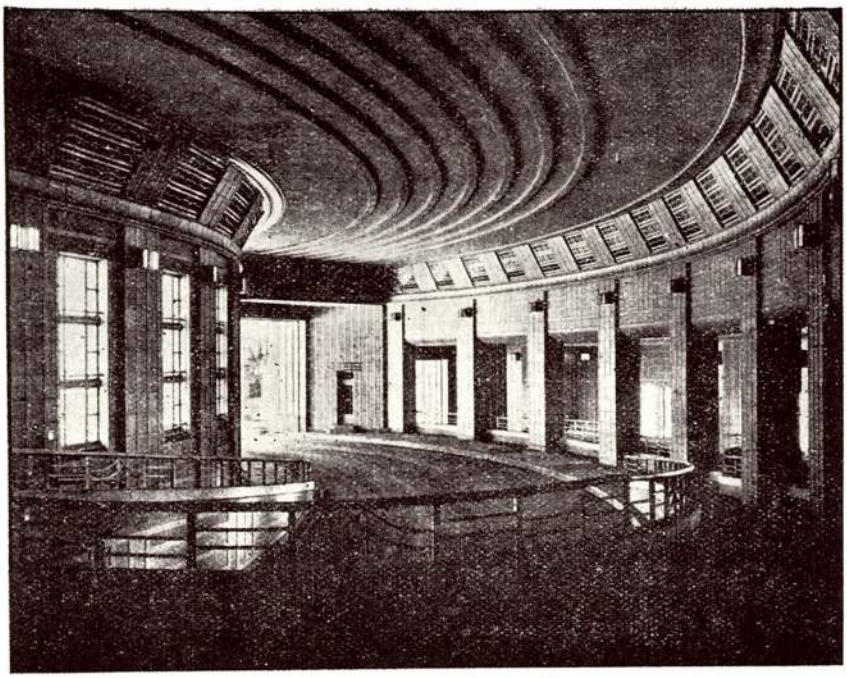
◆



8　シンシナチ・ユニオン旅客停車場平面圖

本旅客停車場を計畫するにあたつて必然的に次の如き第二次的計畫をも考慮しなければならなかつた。

1. 都市内に面積約300エーカーの一區を見出さねばならぬこと。
2. 七鐵道會社の中線路を敷設し變へねばならぬこと。
3. 五舊旅客停車場を廢止せなければならぬこと。



9　シンシナチ•ユニオン旅客停車場乘合自動車乘降場寫眞

4. 街路の變更及び引拂ひ、新高架街路の建設、平面交叉の除去をやらねばならぬこと。

◆

本旅客停車場を計畫するに當つて、次の如き一般注意事項を基礎とした。

1. 旅客と鐵道とに對する兩施設は互に直接接觸を保たしむること。
2. 自動車•タクシー•バス•市街電車などの市內交通機關と旅客停車場との連絡を圓滑ならしむること。
3. 自動車•タクシー•バスなどに對する駐車場は、旅客停車場自身の目的と美觀とを害せぬ範圍內に於て便利なる場所に設くること。
4. 平面計畫はリンカーン公園に通ずる接近大通りを基礎としてなすこと。
5. 旅客停車場前廣場の地下を通りて南北の主要街路であるダルトン街に充分なる採光と通風をとらしむること。
6. 將來の飛行機着陸場との連絡を圖ること。

◆

本旅客停車場の主要階床は線路上約20呎、街路上約35呎の位置にあり、本屋の雄姿を表現するに最も有利である。主要階には、コンコース•待合室•出札室•手荷物受渡所•食堂等旅客施設が設けられ、階下は鐵道施設が設けられてゐる。乘降場とコンコースの連絡に斜面を使用した點、本屋と市街交通機關との連絡に後者を階下に廻して圓滑なる循環を試みんとした點は共に本旅客停車場の最も特色とする所であらう。　　(—The Architectural Forum 1933年6月號所載—)　　(吉田信武)

都市に關する資料三四

晩近都市の急激なる發達は、都市をして頗る複雜にして且處理の困難なる多くの問題を有せしむるに至つた。

それ等の諸問題の解決は、都市そのものの解剖研究、換言すれば都市を構成する各要素、並に都市の有すべき各種機能の十分なる研究に依つてのみ得られるものである。最近都市問題に就いて多くの調査機關が設けられる様になつたのはこの趣旨に基く。

下に掲ぐるは都市に取つて根本要素とも言ふべき三四のデータの抜萃である。（昭和7年12月發行日本都市年鑑より人口10萬以上の都市のみを抜萃）

1. 面　積

表は各市の土地臺帳に記載された各種土地の面積の合計であり、單位はアール（100平方米30餘坪）を以て示されて居る。

近來各都市共隣接町村を合併して市域を擴張し、その面積も從つて急激に增加する傾向があり、本表作製後市域擴張を行ひたる都市も相當に多く、それ等の都市に就いては本表に示されたるは舊市域の面積である。

2. 人　口

都市の人口は出產に依る自然的增加のほかに、人口の都市集中の傾向と最近盛に行はれる各都市の市域擴張とに依つて、急激に增加する傾向がある。

表は大正14年及昭和5年兩年度の國勢調査に依る各都市の人口を示すもので、兩年度の人口數を比較することに依つて如何にその增加の急激なるかを知ることが出來やう。

3. 交　通

都市の交通機關として主なるものは我國では現在の所電氣軌道と乘合自動車とである。交通量の急激な增加に鑑み東京市大阪市の如き大都市では高速度地下鐵道完備が計畫されては居るが。

路面電氣軌道は今尚都市の重要なる交通機關であるが、近來一般經濟界の不況と乘合自動車並にタクシーの發達に伴ひ、建設費の增嵩と營業費の削減難と相俟つて、一般に事業不振の狀態にある。

それに引きかへ乘合自動車は、他の交通機關に比して速度の大なる點、乘降の便利な點等の長所を有し、創業經營に對しても僅少の資本を以て簡易にこれをなし得る等の理由か

各都市の面積（昭和六年初現在　單位アール）

都市	總面積	都市	總面積	都市	總面積
東京市	4,350,937.0	仙臺市	701,157.8	佐世保市	499,720.4
大阪市	1,851,279.0	吳市	484,198.3	新潟市	199,364.3
京都市	604,293.7	札幌市	225,064.5	堺市	149,080.7
名古屋市	1,495,927.3	八幡市	385,583.1	和歌山市	161,445.0
神戸市	818,989.0	熊本市	391,810.7	横須賀市	102,059.8
横濱市	1,338,763.3	金澤市	185,830.4	濱松市	145,372.8
廣島市	698,804.2	岡山市	……	門司市	415,900.5
福岡市	574,585.0	小樽市	……	川崎市	317,724.6
長崎市	395,354.6	鹿兒島市	167,345.2		
函館市	188,012.7	靜岡市	380,000.0		

各市戸數及人口竝各市都市計畫區域人口

都市名	市内の戸數		市内の人口		都計區域の人口	
	昭和五年	大正十四年	昭和五年	大正十四年	昭和五年	大正十四年
東京市	414,630	427,852	2,070,913	1,995,567	4,986,913	4,109,525
大阪市	541,033	483,990	2,453,573	2,114,804	2,527,082	2,170,153
京都市	178,327	148,672	737,616	679,953	984,550	855,313
名古屋市	190,379	164,141	907,404	768,558	939,901	796,912
神戸市	162,075	151,505	765,142	644,212	853,997	761,987
横濱市	135,929	95,377	620,305	405,888	724,657	589,779
廣島市	58,951	42,866	270,417	195,731	270,417	323,651
福岡市	43,496	28,029	228,239	146,005	275,852	230,022
長崎市	42,833	40,560	204,626	189,071	231,582	216,202
函館市	33,291	33,318	197,252	163,972	240,903	203,496
仙臺市	35,237	26,814	190,180	142,894	202,014	175,383
吳市	39,120	29,872	190,282	138,863	207,253	184,800
札幌市	32,752	28,726	168,576	145,065	220,001	187,774
八幡市	36,493	27,079	168,217	118,376	180,366	138,699
熊本市	32,383	29,032	164,460	147,174	181,320	162,847
金澤市	33,810	32,455	157,311	147,420	169,120	158,288
岡山市	81,021	28,005	139,222	124,521	154,987	140,080
小樽市	27,949	26,556	144,887	134,469	159,054	147,106
鹿兒島市	27,235	24,527	137,236	124,734	185,258	172,165
靜岡市	26,323	16,524	135,481	84,772	156,579	139,367
佐世保市	23,913	18,038	133,174	95,385	156,689	131,639 (130,468)
新潟市	24,817	22,077	125,103	108,941	171,157	152,331
堺市	26,318	23,145	120,348	105,009	137,667	104,202
和歌山市	26,253	21,517	117,444	95,622	159,548	146,433 (142,048)
横須賀市	19,598	18,429	110,301	96,351	167,287	144,585
濱松市	22,284	18,925	109,478	92,152	145,812	124,751
門司市	24,449	21,750	103,130	95,037	108,130	99,104
川崎市	22,271	11,277	104,351	54,634	119,283	87,324

ら、最近都市交通機關として急激な發達を遂げ、既設の鐵道軌道等に對して多大の打撃を與へつつある現狀であるが、既に事業を開始せる各市共相當の成績をあげ居る狀態を見て新しくこの事業を創めんとする都市極めて多く、現在事業計畫中を傳へる都市のみでも、小樽、岐阜、松山、宇都宮、岡崎、八戸、四日市、一宮、倉敷、基隆等がある。

次に掲ぐる表は電氣軌道乘合自動車共市營のもののみにして、都市によつてはそのほかに兩者共私設會社經營のものが存することを注意する必要がある。

市營自動車事業概要（昭和五年度）

都市	營業路瓦長	同延長	車輛總數	乘車人員	
				員數	延人區
	粁			人	人區
東京市(舊)	122.874	171.086	652		52,134,538
大阪市	122.069	240.439	415	28,950,124	37,931,455
京都市	45.629	91.259	136	8,678,827	11,489,902
名古屋市	54.612	101.766	125	10,357,515	——
神戸市	44 39	84.1	55	——	1,693,045
横濱市	31.40	33.20	45	4,471,062	——
熊本市	25.27	29.14	26	1,232,518	2,084,657
鹿兒島市	——	22.373	29	1,826,029	1,826,029
佐世保市	哩 9.08	……	……	3,753,988	——

市營電車事業概要（昭和五年度）

都市	營業區域	營業路線		車輛數	延乘客數
		瓦長	延長		
		粁	粁		人
東京市	東京市內及近郊	173.30	345.32	1,644	369,737,703
大阪市	大阪市內	102.81	204.80	929	280,805,736
京都市	京都市內及近郊	56.23	112.14	417	101,047,471
名古屋市	名古屋市內	53.53	106.78	328	67,961,679
神戸市	神戸市內	30.31	60.57	386	94,161,025
横濱市	横濱市內	46.44	92.88	244	43,406,480
仙臺市	仙臺市內	7.49	14.67	31	6,879,775
札幌市	札幌市內	18.20	34.30	71	16,891,591
熊本市	熊本市內	10.30	20.20	46	12,646,294
鹿兒島市	鹿兒島市內及近郊	15.68	24.71	52	11,000,429

4. 財政

我國社會經濟の發展に伴つて都市財政の膨脹は最近特に著しいものがある。

數字的に見るに、明治39年には全國都市の歳出は41,055（千圓）に過ぎなかつたのが、昭和3年には841,725（千圓）の約21倍に達して居る。

これは電氣・瓦斯、水道、都市計畫事業等都市の建設經營に要する費用、これに伴ふ市債費その他各種社會事業、土木事業、教育事業、衛生事業等の一般地方經費の增加に依ること勿論である。

これに對して歳入は如何。言ふまでもなく支出の增加に伴つて增加さるべきであるが、その增加は稅收入よりも寧ろ租稅外收入の增加に依るもの多く、最近では租稅外收入が都市歳入の 88% に達する狀態である。

これは一部分は國庫下渡金、同補助金等の逐年增加せるにも依るが、主なる原因は都市が電氣、水道、瓦斯等の事業を公營すること多きを加へ、その歳出の增加に應じて、その事業に依る各種歳入の增加したる爲に依る。その他土木費、衛生費、教育費、社會事業費等に於ても、その經營の爲には市債によること多く、何れも租稅外收入增加の原因を作つて居る。

これは各種事業に對して都市の活動範圍の擴大を意味するものであるが、一面に於て都市の財源の涸渇を語るものとして注意せねばならぬ。

各市歳入及歳出（昭和六年度）

都市	歳出總額	歳入總額	都市	歳出總額	歳入總額
大阪市	173,514,280	173,514,280	熊本市	3,072,453	3,072,453
東京市（舊）	178,255,353	178,255,763	金澤市	5,432,631	5,432,631
京都市	39,932,509	39,943,511	岡山市	3,294,462	3,294,462
名古屋市	29,313,005	29,313,005	小樽市	4,158,225	4,158,225
神戸市	42,322,279	42,322,277	鹿兒島市	2,551,409	2,551,409
横濱市	27,705,171	27,705,176	靜岡市	4,612,304	4,612,304
廣島市	4,727,794	4,727,794	佐世保市	1,835,644	1,835,647
福岡市	5,073,082	5,073,032	新潟市	2,428,706	2,428,706
長崎市	3,632,796	3,632,796	堺市	2,613,664	2,613,663
函館市	3,907,171	3,907,173	和歌山市	1,847,292	1,851,493
仙臺市	3,940,166	3,940,164	横須賀市	2,348,040	2,403,528
吳市	1,764,899	1,764,900	濱松市	1,730,645	1,730,646
札幌市	3,960,811	3,960,811	門司市	2,170,721	2,170,720
八幡市	2,206,796	2,206,795	川崎市	2,142,996	2,142,996







バルヂモア市の不良地區改良

1923年にバルチモア市の改良事業委員會（Public Improvement Commission）は、汚染荒廢せる一團の建築物よりなり、多年市の健康地圖の上に汚點を示し來つた一廓——それは高度の結核の比率により肺病部落（Lung Block）と呼ばれてゐたものである —の改良事業を計畫しその手始めとして有色人種子弟を收容する學校の敷地として此の土地を獲得することを決議した。以後建築物の破壞は開始され 1925 年には公立第 122 小中學校（Public School No. 122）が建設されたが、當時は資金の缺乏にて、更に改良事業を進捗せしめること不可能であつた。

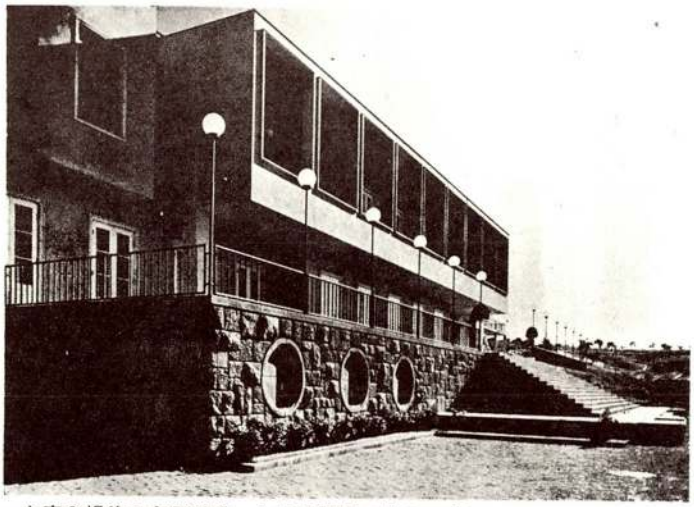
其後就學兒童の增加により增築の要ありてこれは 1931 年に建築された。最後に不動產局（Board of Estimates），公園局（Park Board）と改良事業委員會の協力により約 3,000坪（2½ acres）の公園と運動場を併せ計畫するに足る敷地が獲得されたが、前二當局は各 100,000 圓、委員會は 200,000 圓を分擔した。

1932年事業の完成は圖に見る如く健康の脅威を消滅せしめたるのみならず、疑もなく接續地の改良を齎らしめたのである。全部の改良費は 1,600,000 圓を超へた。

（The American City 誌より　内藤亮一）

注意すべきは我國の不良住宅との比較、及我國の不良住宅地區改良法による改良事業と異りて地區内には學校公園運動場を建設せることであるが、地區内の居住者の處置を如何になせるかを同誌は詳かに報じてないのは殘念である。（内藤亮一）





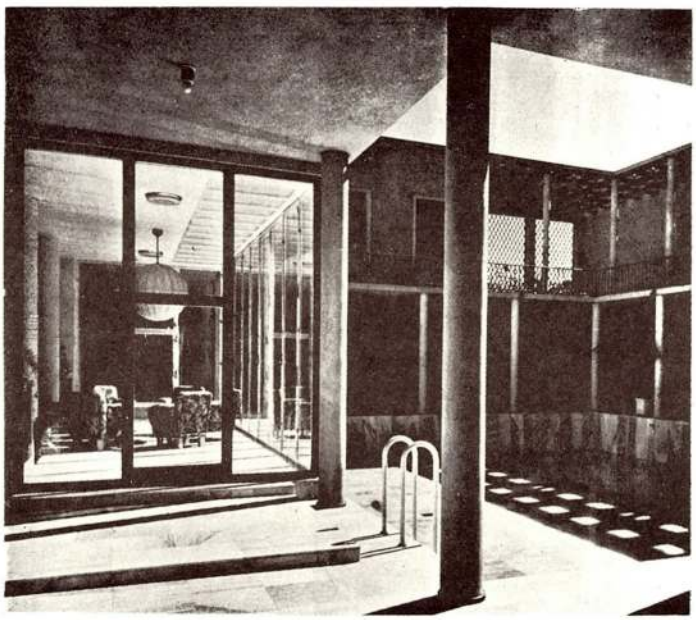
大宴會場前の主要階段、上部は居間の前のロジヤ

ケマールパシヤの宮殿

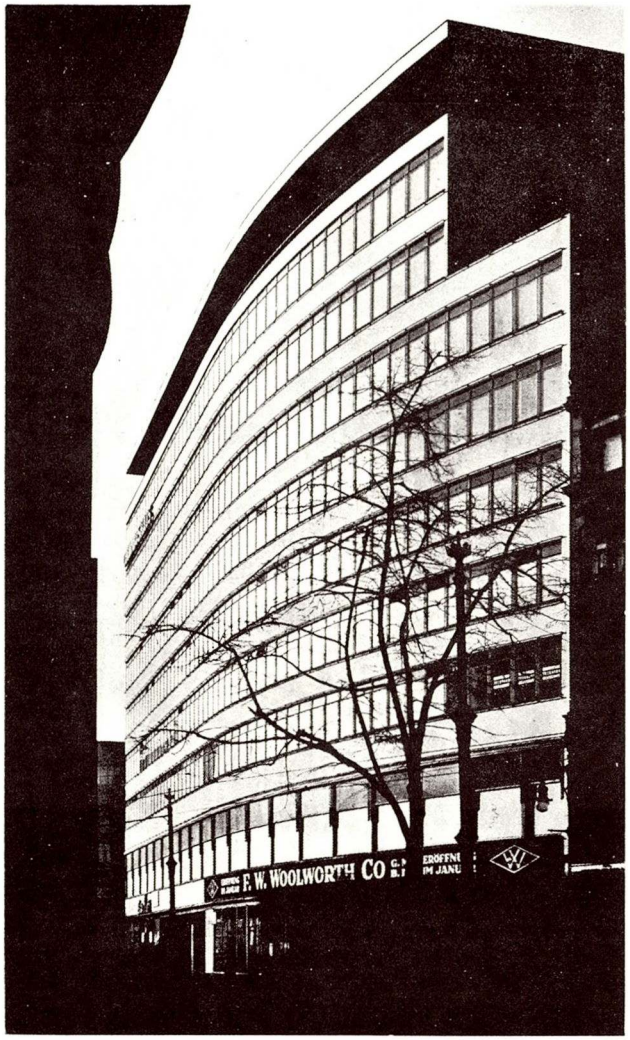
ケマール・パシヤによつて企てられた新興トルコの西歐化への努力が、既にいろいろの方面に實現された事は世間周知の事であるが、ウインの建築家クレメンス・ホルツマイスターの設計になる彼の邸宅も建築上に於ける西歐化の一つの表はれとして文化史上意義あるものと云ふ事が出來る。

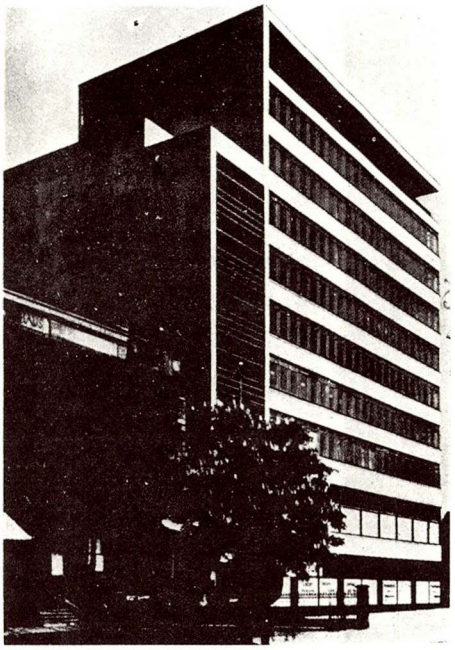
邸宅は寒暑ともにきびしいアンカラの丘上にあつて眼下に市街を見下し、明るい立方形の姿がさびしい丘の上に一際目立つて見える。建物の主體、天井、床等はすべて鐵筋コンクリートで、壁體は煉瓦、外部はテラノバ仕上、隨所に細い圓柱列、ペルゴラ、大理石の泉水等がある。

（Moderne Bauformen誌より　本多正道）



溫室と大理石の中庭



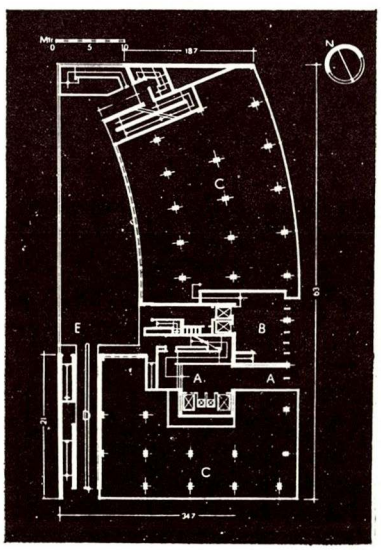


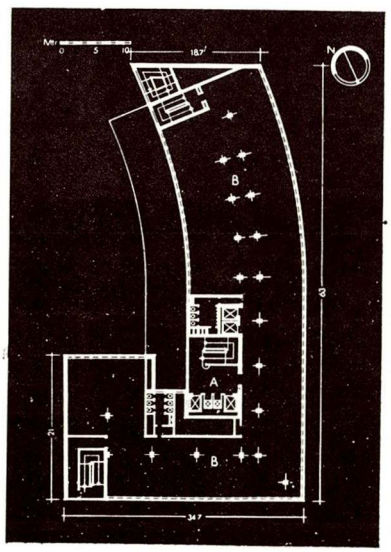
コロンブスハウス

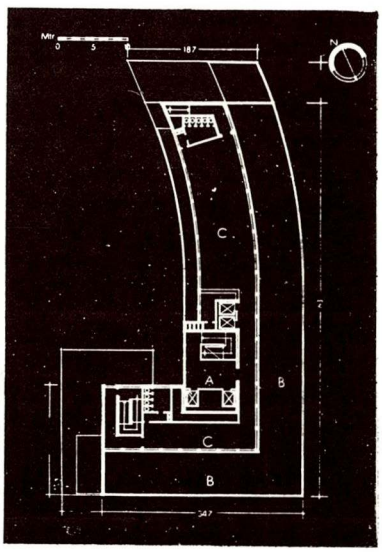
1931年の春着工して3ヶ月で基礎工事を終り、鐵骨工事は 68 日間で完了して事務所建築工事の一記錄を出した。前面の3階以上及び背面外部は間狹に支柱を置いて、その荷重を全部3階窓下の梁にかけ梁自身は柱から 1.8 米外に突出してゐる。釣足場を用ひたため、鐵骨を組みながら外裝を施す事が出來たから7ヶ月の後には大體の外形が出來上り、1年間に竣功したのである。

外部の各階窓の上下にある管は電氣配線用と廣用版掛に用ひるため(上2圖)內部標準階は事務所として自由に間仕切壁を取附ける事が出來るやうに窓の竪子の見込を充分廣くし、ラジエーター、電氣口等も間仕切を考慮して邪魔にならぬやうに配置してある。其他、熱、寒、振動、換氣、雜音の防止等についても充分考慮し、設備はすべて最新のものが完備されてゐる。

(Architectural Review 誌より　本多正道)



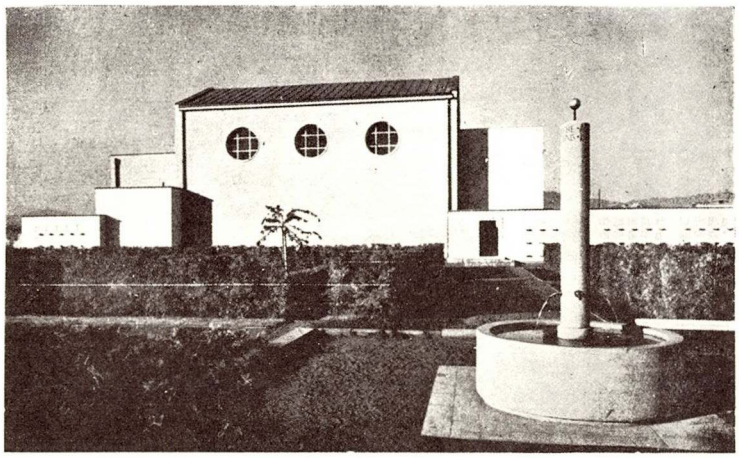




三つの火葬場

A. グラツの新火葬場

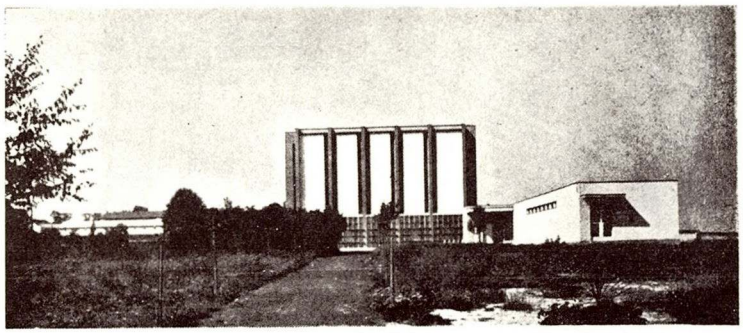
1930年夏の競技設計で64の應募圖案中から1等當選したウイーンのエリヒ・ボルテンステルンの設計によつて造られ、1930年8月起工、1932年7月竣工したものである。設計者のねらつた所は決してクラシツクの巧みな模倣ではなく、時間を超越した死の宿にふさはしい永遠のシンボルを表現する事にあつた。
(Moderne Bauformen 誌より 本多正道)



A

B. オルミユツツの新火葬場

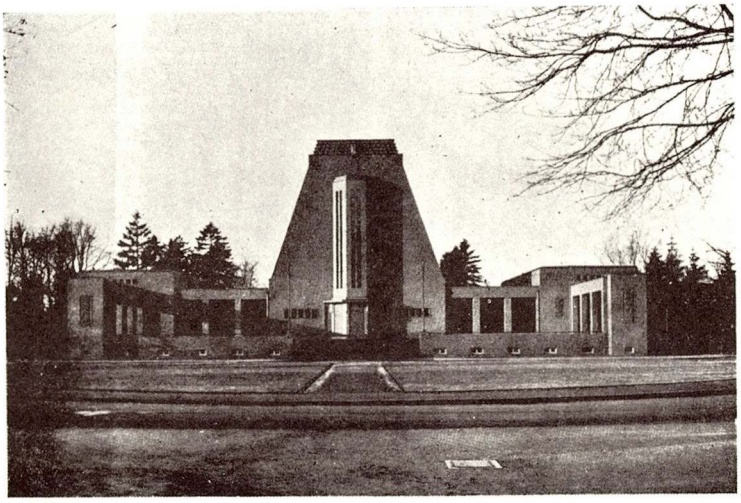
アロイス・サイクール教授の設計になる此の新火葬場は、構造内ではあるが同時に非常に印象的である。壁は大部分煉瓦造で、只ホールだけが鐵筋コンクリートと中空煉瓦を使用し、廣い壁面は大體二色の漆喰を以て仕上げ、縦に赤色ガラスをはめた細長い窓がある。



B

C. ハンブルグ・オールスドルフの新火葬場

設計者フリツツ・シユーマツヘルは云ふ「火葬場建築に於ては神聖な印象を型態によつてあたへやうとしてはならないで、只抽象的なプロポーシヨン、色彩、音響の効果によらねばならぬ。此の三つの點さへ成功すれば火葬場建築の問題は大部分解決したと云ふ事が出來るのであるが、先づプロポーシヨンの點については寫眞によつて一見明かである。色彩と音の點については、色は高いニツチのモザイツクの主調をなす暗青色と銀色を除いては、色らしい色のあるものはステインドグラス位のものである。而も架構の間の壁面と窓とは決して強いコントラストをもつてないで、色調は窓の部分の方が壁の部分よりむしろ暗い位である。

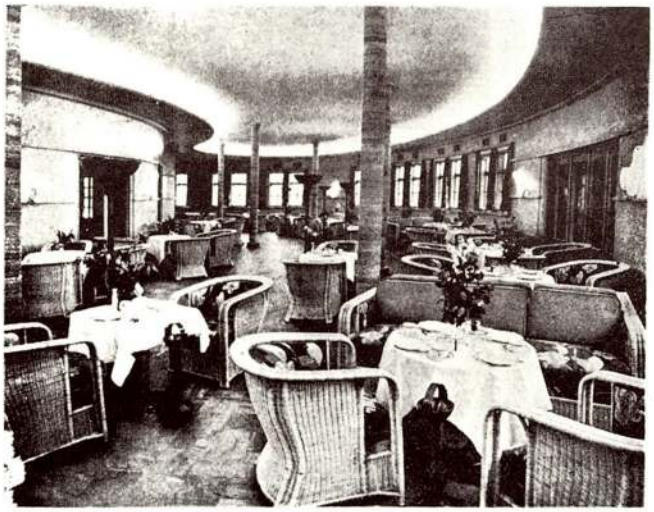


C

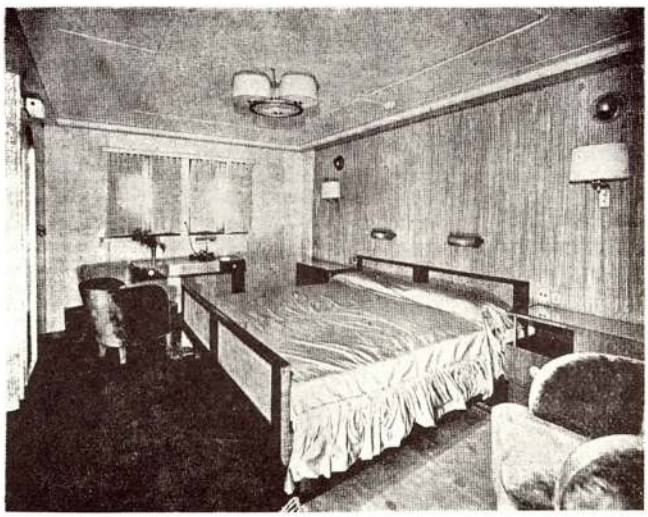
正面の方は葬式にふさはしい紫色、青色、綠色の哀調を帶びた色彩であるに反し出口の方は褐色、黄色を用ひて合唱隊の音樂と和して力強い生氣に滿ちた色彩を强調してゐる。之はあたかも悲しい葬式から再び生に直面した印象である。電燈は内外窓の中間にとつて夕暮の式にもやはらかな光をとる事が出來るやうにしてある。音についても光と同じやうな注意が拂はれてハルモニウムは直接露出させず音樂はあたかも天井から聞へるかのやうな感をあたへる。鐵筋コンクリート造であるにかゝはらず、音響の具合は非常によい。
(Barknust 誌より 本多正道)



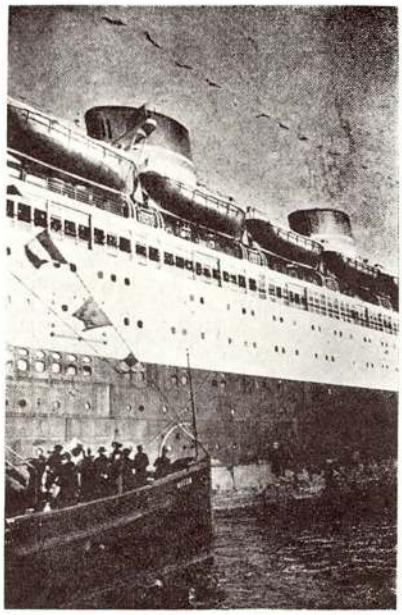
B甲板の大廣間、周圍に各種事務室を有し、1等船客の交通の中心となつて居る。



前面窓から海を眺め得る冬向のベランダ



1等の代表的船室



コント・デイ・サボイア號外觀

汽船コント・デイ・サボイア號

最近まで、大汽船イレ・ド・フランス號、パリ號ブレーメン號、オイローパ號及レツクス號等に依つて決定された大汽船の標準型は、ずつと破られることなく保持されて來たが、最近完成し、昨年處女航海にニューヨークへ寄港したイタリー航路のコント・デイ・サボイヤ號は、その標準の或部分を破つてしまつた。

速力、外觀及設備に於ては、北方航路に於ける船舶中にも對比し得るものは殆んどないが、南方航路に於ては斷然無敵の女王である。

總噸數48,500噸、全長816呎、幅員は最大の部分で96呎である。

四組のタービンに依つて120,000馬力を出すことが出來、3個の羽の附いた4つのスクリウに依つて、何の振動もなしに27海里の速度を出すことが出來る。

重さ156噸の三つのヂヤイロスコープから成るスペリー・ヂヤイロスコープ裝置に依つて、何んな暴風雨の時でも左右兩方面に於て夫々2½度だけ動搖を減少することが出來る。

汽船そのものの構造と調和を保つ爲に、船室の內部は現代的に簡單に設計されて居る。現代建築の傾向に從つて、船體自體の構造を隱蔽する樣な努力は何處にも施されてない。

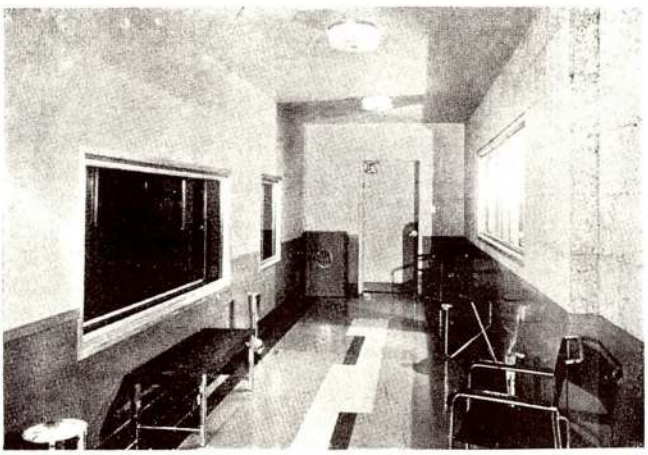
骨組や機械設備の爲に出來る變な部分を隱すよりも利用することに依つて、それ等の構造に設計を適合させることに成功して居る。

不必要な裝飾等を用ひて、豫め頭で考へておいた調子に各部を適合させる樣な努力は一つも試みられてない。この點現代建築家の大いに參考になることと思ふ。

(Architectural Fornm 誌より　新名種夫)



6階試聽室



7階監視廊

フイラデルフイヤWCAU 放送局

最近竣工したWCAUビルデイングの上部三層を占め、コロムビヤ蓄音機會社系の放送場である

第6階には四つの主要放送室、主要試聽室及練習室が取られて居る。各放送室には夫々別個の調整室、玄關及樂器其他の諸道具を入れる物置が附いて居る。7階には接客室、豫備放送室、一般試聽室、試驗室、錄音室等がある。8階は作業事務室及庶務事務室等になつて居る。

WCAUビルは喧騒な商業街に建てられて居るので、放送室の音響の問題のほかに、街の騒音を防止する必要がある。

外壁に面する窓その他全ての開口は、それが放送室に開く限り、特殊の防音裝置を以て密閉する必要がある。

各放送室及その補助室のコンクリート・ブロック積の壁體は、能ふ限り外壁とは獨立に作り、外壁との間にエヤ・スペイスが存する様にしてある

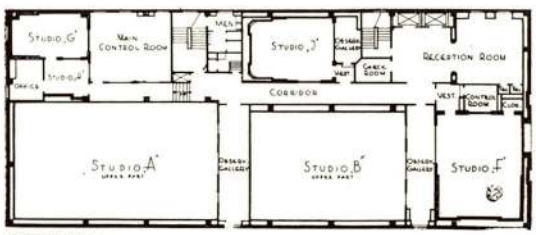
壁、床及天井に施された防音裝置は、何れも室の構造的組立とは絶緣しておかねばならないから放送室は事實上一つの室内にある今一つの倉庫の様な工合である。

絶緣の目的は室仕上のプラスターの下に、特殊な方法でコルクの絶緣體を使用することに依つて達せられて居る。床は「フローチング・フロア」と稱して、規則的な形のコルク・ブロックを床仕上の下に敷いて床スラブと分離する。

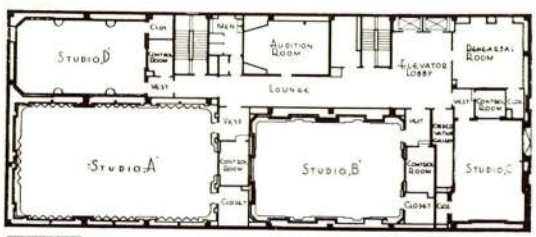
完全に外部の音響の影響から免れる爲には、放送室に接續せる各室が全部防音されねばならぬ。調整室は放送室と同様な取扱とし、玄關は特殊の防音タイルを張る。その上、これ等の室間の開口は、障子扉共に特別の防音裝置を必要とする。監視室も亦防音裝置を施し、硝子窓は二重として完全に放送室と音響的に絶緣する。

音響の傳播狀態を理想的ならしめる爲に、一つの演奏を基礎として、種々なる實驗が行はれ、各種の仕上材料の吸音率が研究せられた結果、各放送室に對しては室内壁仕上にロックウールを張り破れることを防止する爲に打拔メタル又は織物で上を被覆しておく。

放送室の一端、その部分から演奏が放送される部分を放送室の「ライブ・エンド」と稱し、その部分の壁及天井は堅い材料で仕上げられ、音波を室の他端「デッド・エンド」までよく反響して、そこ



7階平面圖



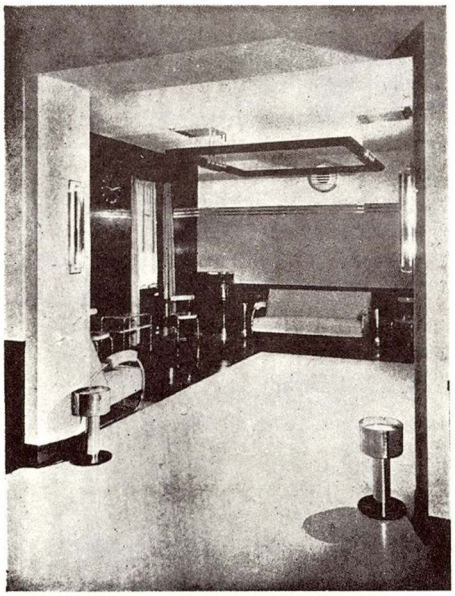
6階平面圖

に据附けられたマイクロフオンに依つて、各音が明瞭に受取られる様に工夫されてある。

室の$\frac{1}{2}$乃至$\frac{2}{3}$を含む「デツド・エンド」は壁天井共前述のロツクウールを用ふることが必要であるこのロツクウールの厚さは、「デツド・エンド」で最も厚くし、「ライブ・エンド」に近くに從つて次第に厚さを減じて行く。この場合ロツクウールの最大の厚さは2吋で、防音壁の裏側に一枚、表面にも同じ厚さのものを約2吋のエヤ・ポケツトを隔てて取附ける。

大放送室に於ては音のエネルギーを擴散し遮音布の使用を少くする爲に、能ふ限り室内の壁面を不規則な形に設計する。

換氣は機械的エヤ・コンデイシヨニングに依つて行はれ、外壁窓から町の騒音の侵入を防いで居る。



7階接客室

金屬製のダクトはコルクで防音された吊手で支へられ、ダクト自體はロツクウールで包まれて居る。

空氣の出入孔には、ダクトを傳つて音響の響くことを防ぐ爲に、サウンド・トラツプが取附けられてある。送氣は天井の送氣孔から送られて居るが、大放送室では送氣孔は天井の照明器具と合體して設計されて居る。

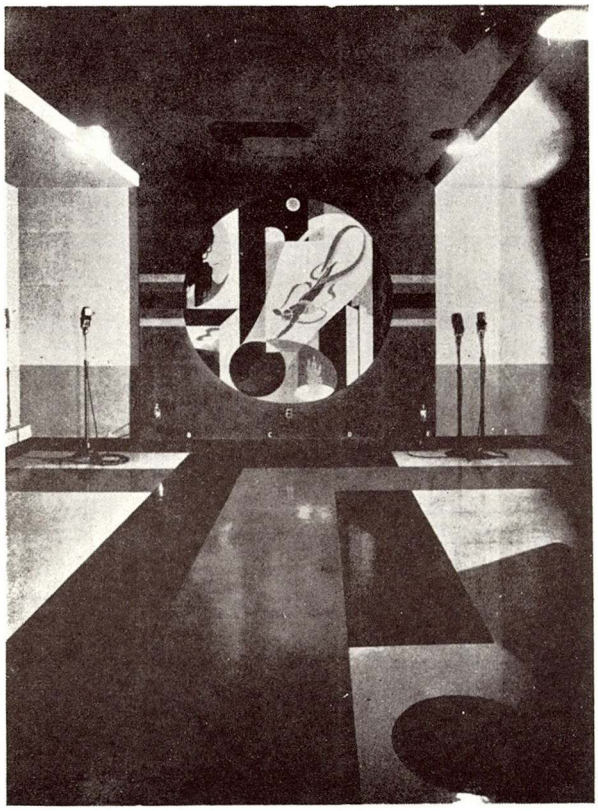
排氣はガラリを有する床面近くの開口から排出される。

第1圖、第2圖　6階及7階平面
第3圖　6階試聽室
第4圖　7階接客室
第5圖　7階監視廊
第6圖　6階A放送室
第7圖　6階C放送室

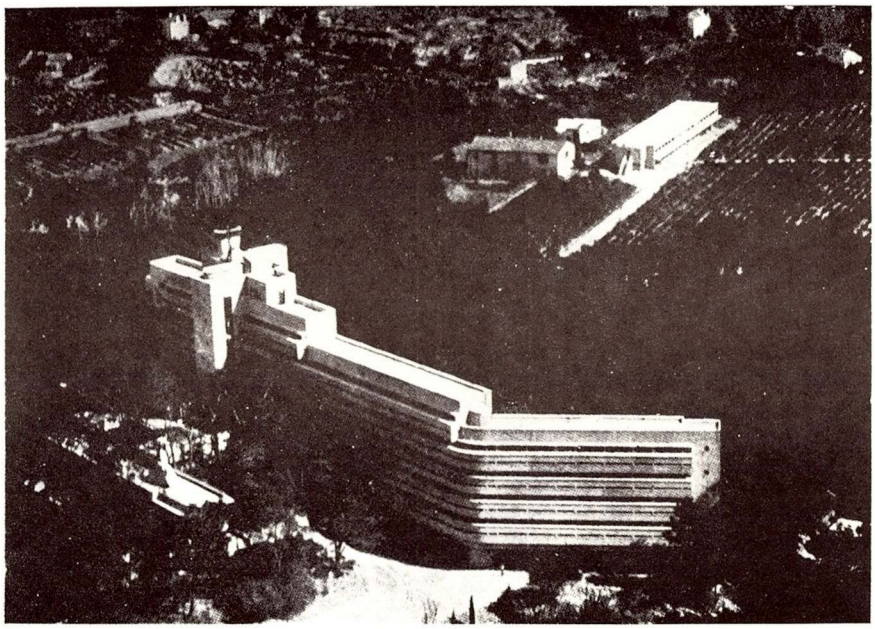
(Architetlul Record 誌より　新名種夫)



6階　A放送室



6階　C放送室



I　全景(ホテル北側)

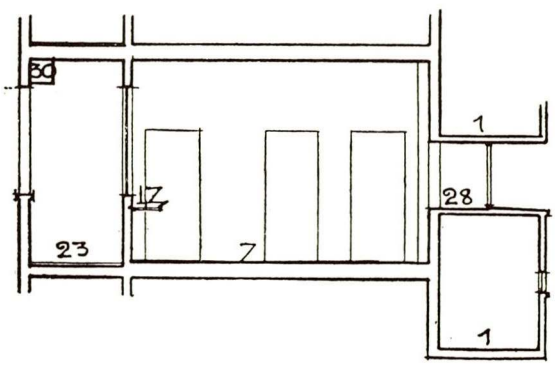
「北　緯　45°」

「北緯45°」はサン・トロペに今年完成されたもので、110室を持つホテル、(内90室はバスとW.C付) 300人收容のレストラン、(内200人は室内、100人は戸外) 6箇のバンガロー、運動場、(二つの海水プール、男女の浴室、8箇の店、酒場兼娯樂場兼舞踏場、三つのテニスコート及競技場) 附屬建築として貯水池、洗濯室、車庫、運轉手のための設備、農場其他戸外設備等を含む施設で、敷地約8ヘクタール。

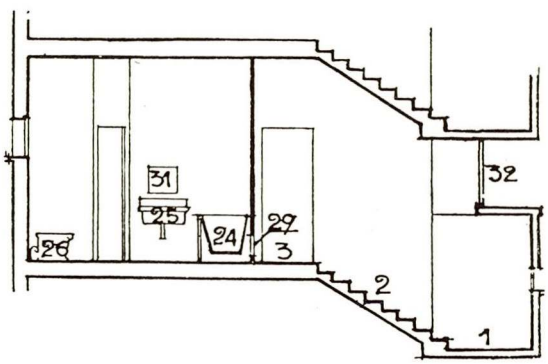
位置はフランスの地中海沿岸中唯一の北側に海を望む場所で、北は灣を隔てゝ對岸の村落を初め、はるか右方にはニースの上方にアルプスの白雪を望む事が出來ると云ふ誠に景勝の地である。從つてホテルの各室も出來るだけ此の美しい景色を居ながらにして望み得る事が必要であると同時に南側からは充分に日光をうける事が必要である。そこで主要建物は高く狹く東西に長い型態が考案された。レストランは此の主要建物の北側に20米を隔てゝ並行にならび、二つの廊下(給仕用及客用)で連絡されてゐる。又主要建物は風向の關係を考へて西端を45°南に折曲げ、出來るだけ寢室に風のあたらぬやうに工夫されてゐる。

寢室は2箇づゝ對をなして、一つの階段と踊場がついて居り、廊下から2回折曲つて寢室に入らねばならぬから、入口を開いた時も廊下から直接中が見えないと云ふ利益がある。但し一方二つの室の入口が相對して居ると云ふ欠點も同時におこる又浴室、便所が二つづゝ接してゐるから給排水等に便利且つ經濟である。寢室と寢室の間は二重壁で完全防音、日光室は採光面積 25~30% で日光浴、午睡、朝食、讀書等に用ひられる。

III　寢室斷面



便所、浴室、階段斷面圖

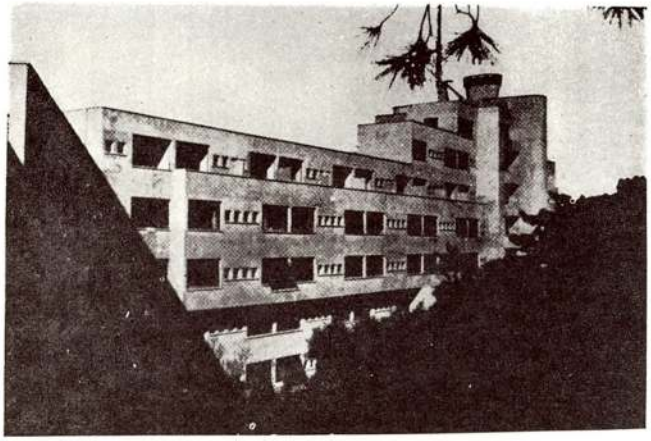


室の種類は

A 型：4.6×3.25 m m	浴室、便所付	日光室	1.5×3.3 m m
B 型：4.4×3.25	〃	〃	1.1×3.3
C 型：4.1×3.25	洗面器付	ナ シ	

各室の高さ 3.05 m、C 型の數は極く僅かで主として A と 2 室一組に用ひる。運轉手の寢室は別に車庫の上に 40 と地階に 13 ある。之等の室大のさは 3.3 m ×3.9 m で南側だけに窓がある。

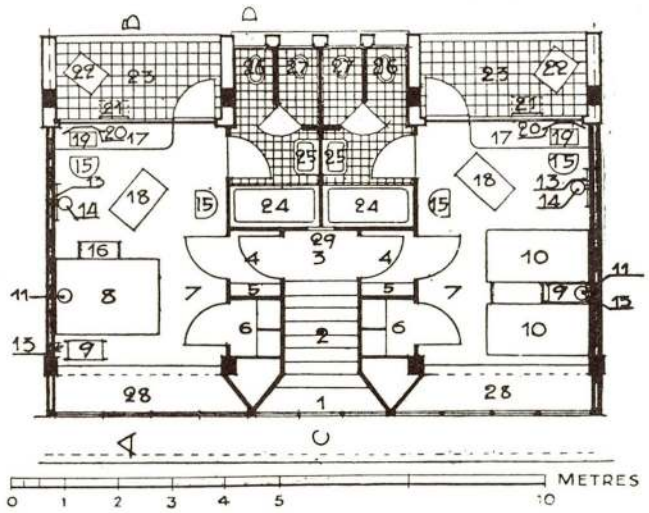
(Architectural Review 誌より　本多正道)



II　ホテル南側

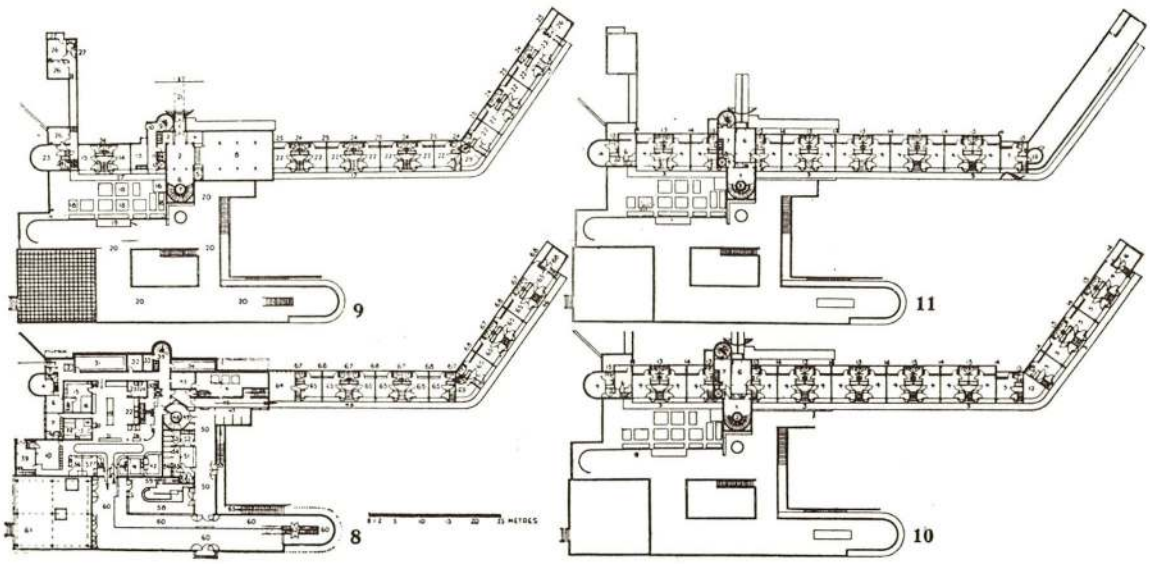
第 III 圖、第 IV 圖說明

(1)廊下、(2)段、(3)踊場、(4)ロビー、(5)戸棚、(6)衣服ダンス、(7)リノリウム床、(8)ダブルベッド、(9)テーブル、(10)ベッド、(11)電燈、(12)電話(13)鏡、(14)電燈、(15)椅子、(16)マット、(17)化粧臺、(18)同椅子、(19)同用器、(20)三面鏡、(21)折疊テーブル、(22)屋外用膝掛椅子、(23)サンポーチ、(24)浴槽、(25)洗面器、(26)ビデー、(27)便器(28)窓棚、(29)配管用開口、(30)巻ブラインド箱、(31)浴室鏡



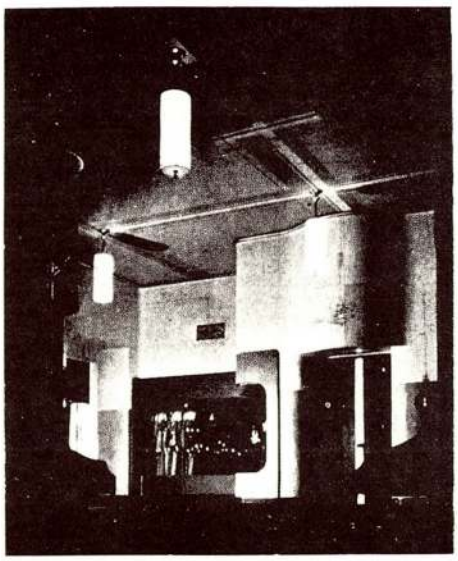
IV　寢室平面

V　8 地階平面　9—1 階　10—2 階　11—4 階の各平面圖





1



2

入口を改造した商店二つ

1) シカゴのサリー婦人服店

繁華な町では商店をうまく改造すると賣高が2割方增加すると言ふ一例。

玄關を深く入り込ませて街路の狹隘を補ひ、兩側二つの陳列窓に依つて、婦人帽及婦人服の二つの商賣をよく表明して居る。(第1圖)

柔かい感じを出す爲に、壁の出隅及入隅は連續的に丸めてある。

2階の、硝子戶の入つて居ない陳列臺の內部は、壁面羽目板の青いスレイト色に對して、明るいテラコッタ色仕上げ、上部壁及天井は淡青色ペンキ塗である。(第2圖)

平面圖を見るに、1階は建物の一部を使用し2階は全部を使用して居る。1階は婦人服及婦人帽、2階は各種のドレスの販賣に使用されて居る。2階の中央が賣場になつて居り、その周圍の硝子の入つてない陳列臺の後部には、着附の部屋が多數取つてある。

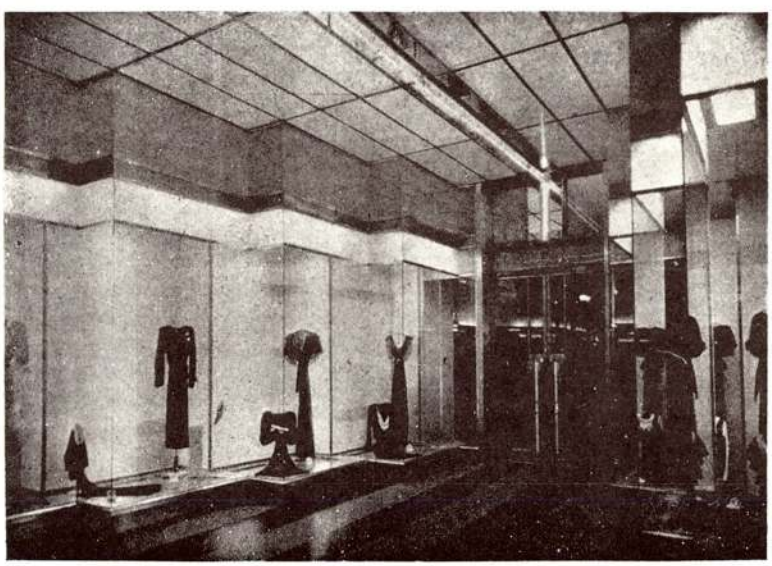
2) ハリウツドのローラ・リー商店

陳列窓の明るさを誇長する爲に、商店の入口をヂグ・ザグに改造し、入口の天井及陳列窓天井共に最小限度の斷面を有するアルミニユームの枠に摺硝子のパネルを嵌込み、天井裏にレフレクターを仕込んだものである。

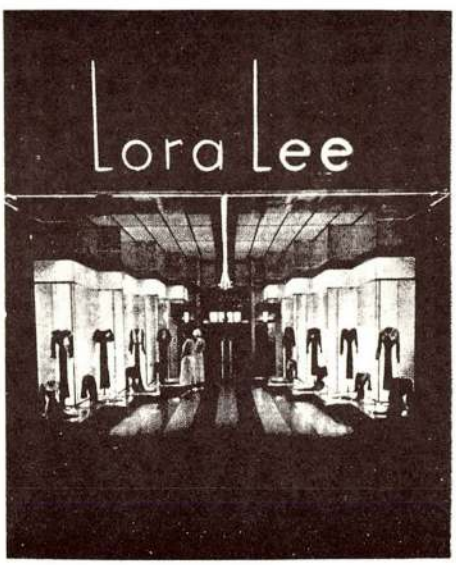
入口のシーリング・ライトは步道に沿つた部分は幾分暗くし、その部分から中央出入口に向つて折れ曲つたネオン管の效果を以て注意を入口の方へ向けしむる樣に工夫されて居る。(第3圖、第4圖)

(Architectural Forum 誌より　新名種夫)

3



4



本誌「都市計畫號」第二輯發行に就て

「都市計畫」を特輯するにあたり原稿を各方面に御願したところ、炎暑にも不拘多數の玉稿を寄せられた、これ等を一部に編纂することは餘りに尨大となるので原稿到着の順序に依り八、九の兩月に分けて發行することとなつた、こんな譯で九月に廻つた玉稿に對しては惡からず御寬恕を願ひたい、なほ石原氏、佐藤氏、藤原博士、田村博士の諸氏にはこの點、特にお詫びをする、ここに執筆を頂いだ諸先生へ深甚なる謝意を表すると共に御諒承を得たい、なほ都市計畫號第二輯目次は次の豫定である。

九月「都市計畫號」第二輯目次

石原憲治氏	都市計畫より土地計畫まで
田村剛氏	大成を期すべき我が都市公園
藤原九十郎氏	都市生活と國民保健
佐藤武夫氏	都市と騷音
伊藤和夫氏	都市の交通施設
吉田信武氏	都市形態の發達史
岩本眞人氏	都・人
吉田信武氏	理想都市

（順序不同）

本號執筆者紹介　（五十音順）

小川市太郎氏	法學士、東大政治科卒業、大阪商大講師、大阪都市協會理事
片岡安氏	工學博士、東大建築學科卒業、本會々長、大阪商工會議所副會頭、大阪工業會理事長
加藤善吉氏	都市計畫大阪地方委員會勤務、本會都市計畫委員會委員
新名種夫氏	工學士、京大建築學科卒業、大阪市技師、大阪ホテル臨時建築事務所建築主任
中村濱作氏	陸軍中將、第四師司令部附
松室重光氏	工學士、東大建築學科卒業、松室重光事務所主、本會都市計畫委員會委員長
丸山照六氏	工學士、東大土木學科卒業、神奈川縣都市計畫課長
宮本長治氏	工學士、東大建築學科卒業、兵庫縣營繕課長、都市計畫兵庫地方委員會技師
藥師神榮七氏	工學士、東大土木學科卒業、都市計畫奈良地方委員會技師

會　　報

役　員　會

常　務　會

時　　昭和8年7月17日午後6時——同8時30分
所　　本協會別室
出席者　理事　片岡　池田　竹腰　　主記　阪口
　　富士岡　　主計浦　清水　八木　　編輯
　　堀田
議　事　1 4 會聯合大會經費及滿洲見學補助金決定の件
　　1 7 月例會に關する件
　　1 阪和住宅博殘務整理委員並評價委員依囑に關する件
　　1 法制委員會報告の會員の各種質疑に應答に關する件
　　1 會員詮衡
報　告　1 常設　都市計畫、法制、材料、敎化、住宅、災害强度委員會報告
　　1 記念　阪和住宅博、瑞光住宅博委員會報告　大美野殘務整理委員會報告

會員動靜

入　會　者

會　員

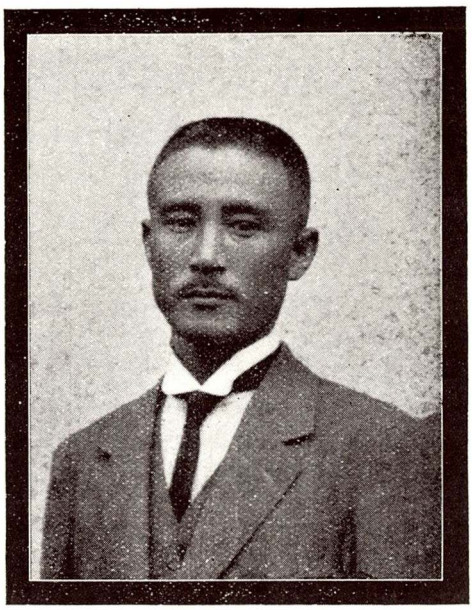
北村　三省君　旭區森小路町640(みよし組電氣工業所)

特別賛助員

木下　謹三君　西區江戸堀南通5ノ35(建築材料販賣業)
林　久　吉君　住吉區山阪町5ノ11(建築請負業)
羽生　　純君　此花區玉川町4ノ88(衛生工事施工設計)
瀨尾　永治君　天王寺區細工谷町40(みよし組電氣工業所)
野田　正天君　西ノ宮市今津曙114(英弘商會建材部)

普通賛助員

中野　英二君　府下北河内郡守口町302朝田方



會員 故 八島章氏肖照

氏は京都市の人で、關西商工學校を卒業後、河合浩藏建築事務所に勤めた、大阪國技館の新築に際し現場主任としてよくその重責を果す、後同所を辭し自ら建築設計事務所を起しこれを主宰し多數の建築を扱つた。

年齒漸く不惑を越え氏に俟つべきことの餘りに多きとき急忽として7月14日食癌道の爲め長逝さる、洵に痛惜に堪へない、行年45、こゝに肖照を掲げ謹んで哀弔の意を表す。

中村　三郎君　中華民國山東省三濟南商埠五馬路(中村工務店)
大井　武雄君　神戸市灘區日尾町2ノ38箱本方(神戸市役所)
秋田　行雄君　此花區上福島南3ノ155(專賣局)
山口　　均君　堺市綠町22(大阪市役所水道部)

退　會　者

會　員

小竹　　茂君

普通賛助員

山本　清一君　　野路井孝君

家鋪文枝嬢記念品贈呈報告

當協會職員家鋪文枝嬢永年勤務致して居りましたが、今回家事の都合で辭職いたしましたに付、其勞に對し記念品を贈與すべく有志各位の醵金を御願ひ致しました處、多大の御同情を得ました段發起者として洵に感謝に堪へません。茲に芳名を掲げ深甚の謝意を表すとともに清算御報告申上げます。

發起者

日本建築協會會員有志

五十音順

芳名	御申込數	金高
秋田喜代治	2	1.00
天沼俊一	2	1.00
淺野金藏	1	50
赤松修	1	50
青柳貞世	1	50
荒川義夫	2	1.00
荒川利一	1	50
荒田開夫	1	50
青木友一	1	50
石川禎一郎	2	1.00
泉谷千秋	2	1.00
池田宮彦	2	1.00
伊藤牧太郎	1	50
石橋昌三	1	50
今林彦太郎	2	1.00
伊藤和夫	2	1.00
石川純一郎	3	1.50
岩尾保衛	2	1.00
伊東宗太郎	2	1.00
池田實	6	3.00
井上謙吉	1	50
植竹春重	2	1.00
浦英之助	4	2.00
大原芳知	1	50
小川陽吉	3	1.50
小川安一郎	2	1.00
岡本新次郎	1	50
落藤藤吉	3	1.50
奥村重兵衛	5	2.50
小笠原銅	3	1.50
岡田孝男	2	1.00
小野茂雄	2	1.00
加藤善吉	1	50
河津喜之介	2	1.00
加藤越山	1	50
片岡安	10	5.00
片山萬治	2	1.00
籠田定憲	2	1.00
木村寛一	5	2.50
北垣熊之介	3	1.50
木子七郎	1	50
木村梅次郎	1	50
黒田茂	2	1.00
黒澤研	1	50
兒玉廣太郎	1	50
小林市太郎	1	50
小山源次郎	2	1.00
小西一良	2	1.00
小林悉	2	1.00
古宇田實	2	1.00
佐野俊三	1	50
酒井勇三郎	2	1.00
阪口芳三郎	3	1.50
作間日出生	1	50
眞田益市	1	50
清水榮二	2	1.00
篠崎彙二	4	2.00
設樂貞雄	2	1.00
篠原太郎	2	1.00
後川隆一	1	50
城武三郎	1	50
新名種夫	2	1.00
椎原兵市	1	50
芝田知重	4	2.00
鈴木末尾	2	1.00
須藤隼人	3	1.50
高橋榮治	4	2.00
武田經一	2	1.00
田中豐輔	10	5.00
谷民藏	2	1.00
高田利一郎	1	50
高松平太郎	2	1.00
瀧澤眞弓	3	1.50
武田五一	2	1.00
竹腰健造	6	3.00
谷川勝次郎	1	50
津田敏雄	2	1.00
坪井誠一	2	1.00
堤多計士	1	50
鳥井信	2	1.00
德政金吾	2	1.00
中西六郎	2	1.00
中村義雄	2	1.00
中島智喜	2	1.00
永島敬通	1	50
波江悌夫	4	2.00
永澤毅一	2	1.00
丹藤良雄	2	1.00
野田義雄	1	50
花田長市	1	50
長谷部銳吉	2	1.00
長谷川熊吉	1	50
伴野貞三	2	1.00
橋本勉	2	1.00
平塚鈴吉	2	1.00
富士岡重一	3	1.00
藤村愛資	2	1.00
藤井厚二	2	1.00
古塚正治	2	1.00
本間乙彦	2	1.00
堀田猷次郎	1	50
松井清之助	2	1.00
松浦松之助	1	50
松本禹象	2	1.00
松浦基二	1	50
松室重光	2	1.00
牧野忠	2	1.00
松本儀八	2	1.00
宮本長治	2	1.00
光安梶之助	4	2.00
三木來三	2	1.00
村上徹一	2	1.00
村野藤吾	2	1.00
森本藤吉	1	50
本野精吾	2	1.00
矢田鐵藏	1	50
山脇友三郎	6	3.00
山田芳雄	1	50
山下清太郎	1	50
矢木英夫	2	1.00
八木盛二	2	1.00
山本潔	2	1.00
山田邦夫	1	50
吉田信武	2	1.00
吉澤多重喜	1	50
和田貞治郎	2	1.00
渡部圭吾	1	50
綿貫保之	2	1.00

清算報告

收入 ¥135.00

（寄附御申込口數270 @¥50）

支出 ¥135.00

（家鋪文技嬢渡高 ¥110.00）

（往復ハガキ550枚代及印刷代並に禮狀印刷及狀袋等雜費大阪活版所拂 ¥25.00）

日本建築協會役員及委員（昭和八年）

社團法人

役員

安實造吾光郎信雄三一助二二郎治雄郎治藏三郎實郎助知男則郎吉二郎郎安良郎生夫二次尾造吉治郎信郎雄郎一雄三一二郎郎忠
會長　健金重三　良貞重之　榮盛太　榮義次代　寬太　太之　芳孝顯次　新藤一一太　一三出種榮周末健三　榮太　一義太　毅良貞重厚太次
副會長　岡田　腰政室　井藤野岡　水木　林橋村田田上川林田　甚英　原田部本藤口合盛岡　西口間名水澤木腰與平井誠榮　芳日種榮周末健三　榮太　一義太　毅良貞重厚太次
副監事　片池竹德松阪鳥丹伴富士　浦清八今高中堀秋井石今池岩浦大岡岡落川河片小阪作新清末鈴竹高高鳥中中永丹伴富藤藤堀牧　賢猷野
主事　長長長事記記記記計計計輔輯輯輯員
主事　主主主主主主主編編編編議
主事　評同同同

擔同　常務　阪口士岡　重芳三郎一

住宅博殘務整理委員會

委員長　武田長一郎
委員長　葛野壯一郎
委員　安井武雄
委員　林太郎
委員　今小路彥
委員　坪德一
委員　古村增太郎
委員　一知誠
委員　金正
委員　藤新平

住宅博評價委員會

委員　鍬次郎
委員　原熊一
委員　笠垣崎廉
委員　小川木介
委員　葛北篠須藤二郎
委員　安浦佐增一

阪和上野芝住宅博殘務整理委員會

委員長　池田實雄
委員長　安井武之助
委員　浦英之介
委員　北熊太郎
委員　佐藤新平

阪和上野芝住宅博評價委員會

委員　鍬次郎
委員　原熊一
委員　笠垣崎廉
委員　小川山武
委員　北篠須增安

一男重尾助夫二三一

見學委員會

委員　光知廉良三吉二雄郎雄
委員　重芳一來藤誠貞太良
委員　室原田辰藤
委員　保西木本藤樂口丹
委員　松大久小三森加設樋
擔當　常務

出版委員會

委員長　二郎吉夫郎弓郎治吾信治
委員　厚一藤種太眞六正藤榮
委員　井純川藤名原澤西塚野橋
委員　藤石落新篠瀧中古村南
擔當　常務　高

建築會館委員會

委員　雄吾藏夫郎吉尾造夫光吉郎
委員　武金達四米末健悌重藤三
委員　井政民賢高林井木腰江室本脇友
委員　安德谷飯大阪鈴竹波松森山

擔同　常務　修郎郎二郎八信雄

百貨店建築委員會

委員　雄吉一世則茂郎治吾吾郎三
委員　武藤誠貞顯次正藤圭彥太貞
委員　井藤井柳部田豐塚野部林野
委員　安落坪青岡黑玉古村渡今作
擔當　常務

會員委員會

委員長　實郎郎郎吉二憲郎郎郎一八治
委員　太三三久一定三五一重儀長
委員　田彥友谷勇誠岡
委員　宇林倉脇田口田井谷澤士本本
委員　古今大山池川籠酒濕中富松宮

瑞光住宅博委員會

委員長　一郎良郎郎治八藏
委員　五壯一次五正儀福
委員　田野西正
委員　葛藤谷塚本上
委員長　武小佐濕古松井

編輯後記

□炎暑酷熱の日が續く。海の青さ、雲の峰

□非常時の叫びが薄れくる時、益々日本孤立が現實に濃厚となる。世界經濟會議水泡に歸し、各國は門戸を鎖す。種々の策動が行はれる。

□惰眠いつまでか延びる。重壓を押し除けて和光の世界文化の建設に力を專らにする日はいつ來るか。

□都市計畫號第一輯。大家の玉稿山積して到頭二冊にした。第二輯は來月に續けられる。總て都市計畫委員會の努力によるもの

□委員長松室氏を先頭にして、會長を始め堂々大家が肩を並べ、殊に中村濱作氏は中將に昇進され大阪を去られる最後の文として意味深いであらう。

□各都市の特殊計畫として、横濱神戸の二海港と遊覽都市の奈良とが載せられた。尙次號には外の都市の特殊計畫を希望したい、八幡。別府。山田等興味深いものがあると思はれる。

□國際建築も少しの間休載したので今度は十頁とした、來月から益々勉强する。

□本號も豫定頁數を遙かに超過した。縮少又難い。

□建築學研究は本會から刊行されることになり更生第一號に當る69號が出た。氣鋭の士の努力の論文、內容確に誇るに足る。會員の研究發表を期待する。

□滿洲見學團も出發する。滿洲、朝鮮、臺灣と本會との四會連合大會が彼地で開かれる筈である。

（高橋榮治）

建築と社會

第16輯第8號

毎月1回1日發行　定價　1册 .50圓（郵稅2錢）　12册 6.00圓（同 24 錢）

昭和8年7月25日印刷　昭和8年8月1日發行

發行・編輯　印刷人　鷹取陽　西宮市今津町大字浦風56番地

印刷所　大阪活版所　大阪市東區內淡路町1丁目7番地

發行所　財團法人　日本建築協會　大阪市北區中之島3ノ3朝日ビル　電話長本局(23)4500番(6)　振替口座大阪39.975番

特約販賣店　柳々堂書店　大阪市西區京町堀羽子板橋北　電話土佐堀 2440番　振替口座大阪 2084番

禁轉載

本誌に掲載せるものは、一切これを無斷にて轉載し又は單行本に上梓その他の複製行爲をなすことを禁ず。

廣告掲載料金

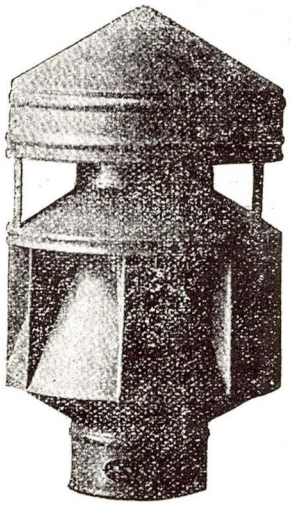
普通	1頁	1回	15.00
普通	½頁	1回	8.00
普通（前附第1頁）	1頁	1回	45.00
普通（前附第2頁）	1頁	1回	40.00
普通（後附第1及最終頁）	1頁	1回	25.00
アート（中挿）	½頁	1回	20.00
表紙2	1頁	1回	60.00
表紙3	1頁	1回	45.00
表紙4	1頁	1回	80.00
建築事務所錄	1欄	1回	1.50
（建築關係職業者案內）	1欄	1回	5.00

御注文

御注文はすべて前金で本會直接又は特約店へ振替貯金又は爲替で御拂込を願ひます郵券代用は一割增、代金引換はお斷り致します。

暑中御伺

定評アル特許宮島式排氣頭

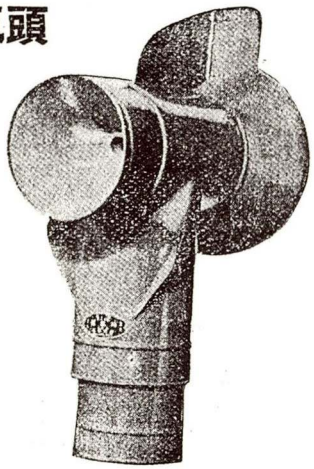


（固定形）

排氣換氣ハ
健康ノ基

排氣頭ノ
眞價ハ
排氣量ニアリ

（本機ハ吸入器ノ原理同用ノモノニ付効果確實ナリ）



（風向變換形）

特許 第一二五八二七號 第一二三一九六號 第七三三四六號 第七三三六〇號

特許 第一一一〇〇七號 第一四二七四九番 第一四二七五〇番

排氣頭販賣及取付並ニパイプ衛生工事請負

諸官省御用

カタログ進呈

宮島康夫商店

東京市赤坂區青山北町一丁目四番地（神宮外苑入口）
電話青山(36)四七二九番振替口座東京五四八七番

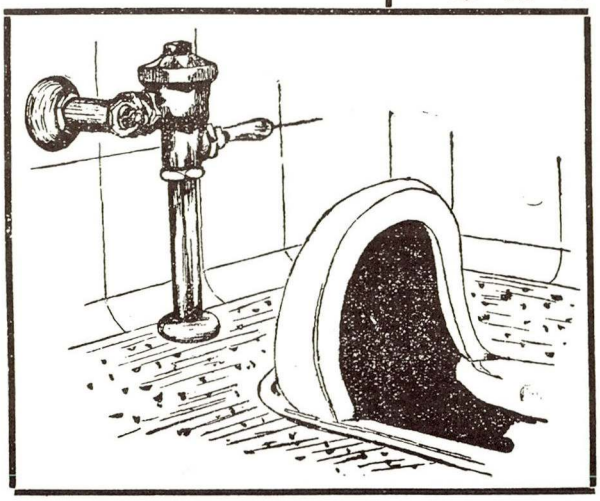
ヨネ フラッシュ バルブ

水洗便所洗滌弁

專賣特許
實用新案
商標登錄

御指定

大藏省營繕管財局
東京帝國大學營繕課
大阪府營繕課
兵庫縣營繕課
大阪市建築課
名古屋市營繕課
南滿洲鐵道株式會社
臺灣總督府營繕課



米本榮商店

大阪市北區梅田新道
太平ビルヂング四階
電話北八一八番
振替大阪四八二七番

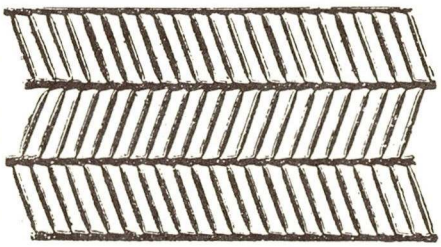
建築と社會第16輯第8號 廣告索引

ア 旭硝子株式會社……27
淺野スレート株式會社……12
淺海商店……18
イ 岩元商會建材部……18
岩城硝子製造所……32
ウ 宇野洋瓦株式會社……30
エ 榮進社……11
英進商會建材部……34
オ 岡山建材社……30
大阪窯業セメント株式會社……中挿
大阪伊丹商店……8
大野製作所……1
奥村重兵衛商店……13
押谷商店……34
大阪瓦斯株式會社……47
キ 木下謹三商店……8
桐田商會……25
ク 黒川化學工業所……6
ケ 久保商店……40
建盛商會……24
コ 工材社……26
サ 三稜社……23
佐久間パブコ工業株式會社……44
佐渡島商店……33
シ 霜寅材木店……36
須賀商會……21
ス 政正合資會社……4
セ 田中タイリング……4
タ 高松菊治郎商店……31
田中商會合資會社……7
淡陶株式會社……39
ダ ダンロップ護謨株式會社……中挿
大丸……表紙4
チ デヨイント商會……16
テ 寺井洋家具部……42
ト 東洋リノリユーウム株式會社……29
東洋陶器株式會社……37
東洋工業株式會社……38
ナ 内外土木建築材料合資會社……28
ニ 南滿鑛業株式會社……14
日本ペイント株式會社……19
日本建築紙工株式會社……23
西原衛生工業所……15
西孫南店建築金物部……17
日本エレベーター製造株式會社……35
日本パイプ製造株式會社……43
日本ドアーチエツク製作所……41
日本鋼鐵家具株式會社……32
ノ 野澤幸三郎商店……22
ヒ 日置合名會社……24
フ 藤田商會……10
福島合名會社……46
福原商店……42
マ 丸善株式會社……3
マルエス工業株式會社……5
ミ ミナト製作所……6
三井物産株式會社……9
宮島康夫商店……45
ヤ 矢橋大理石商店……10
山本窯業商店……14
ヨ 横河橋梁製作所……20
レ 米本榮商店……45
玲光社(木内眞太郎)……26

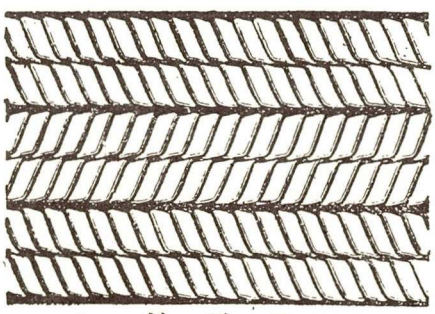
高級壁下地材料

特許 # ヤハズラス

（原名 ヘリングボーンラス）



シングル



ダブル

◇特徴

一、網目の刻み方が最も合理的でモルタルの渡り行に留意されてあるのでモルタルとの馴染良く施工が極めて容易で而かも耐久力強大であります

二、リブは平面に対して十四度五分の角度に起し特殊網目の刻み方が最も合理的でモルタルの渡り行に留意されてあるのでモルタルとの馴染良く施工が極めて容易で而かも耐久力強大であります

三、しにし状支タむにでゐ起度四には平対十對平面し五分の角度に起し特殊網目の刻み方が最も合理的でモルタルの渡り行に留意されてあるのでモルタルとの馴染良く施工が極めて容易で而かも耐久力強大であります

四、部あ生面共比るルれ経の必餘部、あ生面共比るルれ済で要裕に兩りずに收率とがた的極がを重端まる龜縮で同乾モ塗る方のが、でめな見ね接せ惧裂し縦一燥ル附のでで刻獨網ま密完をヘルモ落無るしに十對平面し五分の角度に起し特殊網目の刻み方が最も合理的でモルタルの渡り行に留意されてあるのでモルタルとの馴染良く施工が極めて容易で而かも耐久力強大であります

五、リブは單に重ね目の高さに合せて塗る必要なくモルタルを非常に節約する事が出來ます

關西一手販賣 福島合名會社大阪支店

大阪市北區堂島ビルヂング 電話北五八九〇番